

JIMGA

REPORT 2026

モノづくりを支え
命を守る、
インフラがある。

Japan Industrial and
Medical Gases Association

JIMGA REPORT 2026 CONTENTS

1.	2026年度 定時総会 会長挨拶	2
2.	2026年度 運営方針	3
3.	役員一覧	4
4.	JIMGA 組織図	7
5.	事務局一覧	8
6.	2025年度 第3回理事会・ 2026年度 第1回理事会・ 2026年度 第2回理事会	9
7.	2026年度 定時総会	15
8.	行事予定	19
9.	財務諸表	20
10.	委員会・部会の活動報告	23
11.	地域本部の活動報告	55
12.	会員企業一覧	122
13.	統計データ	133
14.	編集後記	139

2026年度 定時総会 会長挨拶

本日はお忙しいところを全国各地よりたくさんの皆さまにご参集いただきまして、誠にありがとうございます。また平素より当協会への活動に対してご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。

さて、終わりの見えないロシアによるウクライナへの侵略戦争に加えまして、突如としてアメリカとイスラエルによるイランへの攻撃が始まりました。ホルムズ海峡封鎖への懸念から原油、ナフサの調達に支障が生じまして、高压ガス業界にも少なからぬ影響を及ぼしております。またこの4月からは、容器塗装用の塗料、シンナーが急騰し不足しました。このまま海峡封鎖が続けば、日本の産業全体にも強い影響が出ることを懸念しております。事態が早期に収束することを願うばかりです。

そんな中であっても、当業界は「モノづくりを支え 命を守る、インフラがある」のキャッチフレーズのもと、必要とされるガスを必要とされる時に必要とされるところへ、安全に安定的に届ける使命を負っております。

今日は総会ですので、昨年度の事業報告と本年度の事業計画をご説明、お諮りいたします。後ほど詳しくご説明させていただきますけれども、新会費基準で会費収入が減少した昨年度は、なんとか皆さまのご尽力、ご協力で赤字にならずに済みました。ただ、今年度は会費収入がさらに1,000万円減少する2年目となります。さらなるコストダウン、効率的な運営に努めまして、これまでの諸活動を後退、停滞させることなく、当協会の運営方針にあるとおり、事故の無い安全な高压ガスの世界を希求し続けるとともに、JIMGA 設立時の理念を忘れずに、もの申す団体としての発言力の強化を実践し、さらにはカーボンニュートラルな社会への挑戦に邁進してまいります。

加えて、今年は2年に一度の理事、監事の選任で、新しい体制のもと新たなスタートを切ることになります。会員の皆さまにおかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げますとともに、本総会が実りあるものになること、そして皆さまのご健勝を祈念して、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。



上原会長挨拶

(日本産業・医療ガス協会 会長 上原 正弘)

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会

2026年度 運営方針

**モノづくりを支え
命を守る、
インフラがある。**

1. 事故の無い安全な高圧ガスの世界の希求
2. 「もの申す団体」として発言力の強化
3. カーボンニュートラルな社会への挑戦

理事



代表理事(会長)

永田 研二

ながた けんじ

日本酸素株式会社
代表取締役社長



理事(副会長)

安栖 宏隆

やすずみ ひろたか

日本エア・リキード合同会社
政策渉外シニア・エグゼクティブ・
ダイレクター



理事

黒木 幹也

くろき もとなり

高圧ガス工業株式会社
代表取締役社長



理事(副会長)

鈴木 慶彦

すずき よしひこ

株式会社鈴木商館
代表取締役社長



理事

廣田 博清

ひろた ひろずみ

岩谷瓦斯株式会社
代表取締役社長



理事

西村 浩和

にしむら ひろかず

エア・ウォーター株式会社
取締役専務執行役員



理事

天野 寿二

あまの としじ

東京ガスケミカル株式会社
代表取締役社長



理事

和田 直樹

わだ なおき

岩谷産業株式会社
常務執行役員



理事

小池 英夫

こいけ ひでお

小池酸素工業株式会社
代表取締役社長



理事

古川 史人

ふるかわ ふみと

東亜テクノガス株式会社
代表取締役社長



理事

南部 淳

なんぶ あつし

株式会社ナンブ
代表取締役社長

東海地域代表



理事

揚 鋼一郎

あげ こういちろう

大阪ガスリキッド株式会社
代表取締役社長



理事

中村 顕

なかむら あきら

宇野酸素株式会社
代表取締役社長

北陸地域代表



理事

田中 正人

たなか まさと

帝人ファーマ株式会社
専務取締役 営業統括部門長



理事

岡野 洋太郎

おかの ようたろう

株式会社神戸サンソ
代表取締役社長

近畿地域代表



理事

粕谷 智樹

かすや ともき

エア・ウォーター産業・医療ガス株式会社
代表取締役社長

北海道地域代表



理事

藤井 宗武

ふじい むねたけ

藤井商事株式会社
代表取締役社長

中国地域代表



理事

笠井 健

かさい けん

北良株式会社
代表取締役社長

東北地域代表



理事

太田 賀久

おおた よしひさ

高松帝酸株式会社
代表取締役会長

四国地域代表



理事

岩澤 昌之

いわさわ まさゆき

株式会社イワサワ
代表取締役社長

関東地域代表



理事

宮嶋 寛幸

みやじま ひろゆき

福豊帝酸株式会社
代表取締役社長

九州地域代表



専務理事

原 浩一

はら こういち

一般社団法人日本産業・医療ガス協会
専務理事



常務理事

新井 すみ代

あらい すみよ

一般社団法人日本産業・医療ガス協会
常務理事

監事



代表監事

山口 立太

やまぐち りゅうた

株式会社レゾナック・ガスプロダクツ
代表取締役社長



監事

堀内 秀敏

ほりうち ひでとし

東邦アセチレン株式会社
代表取締役社長



監事

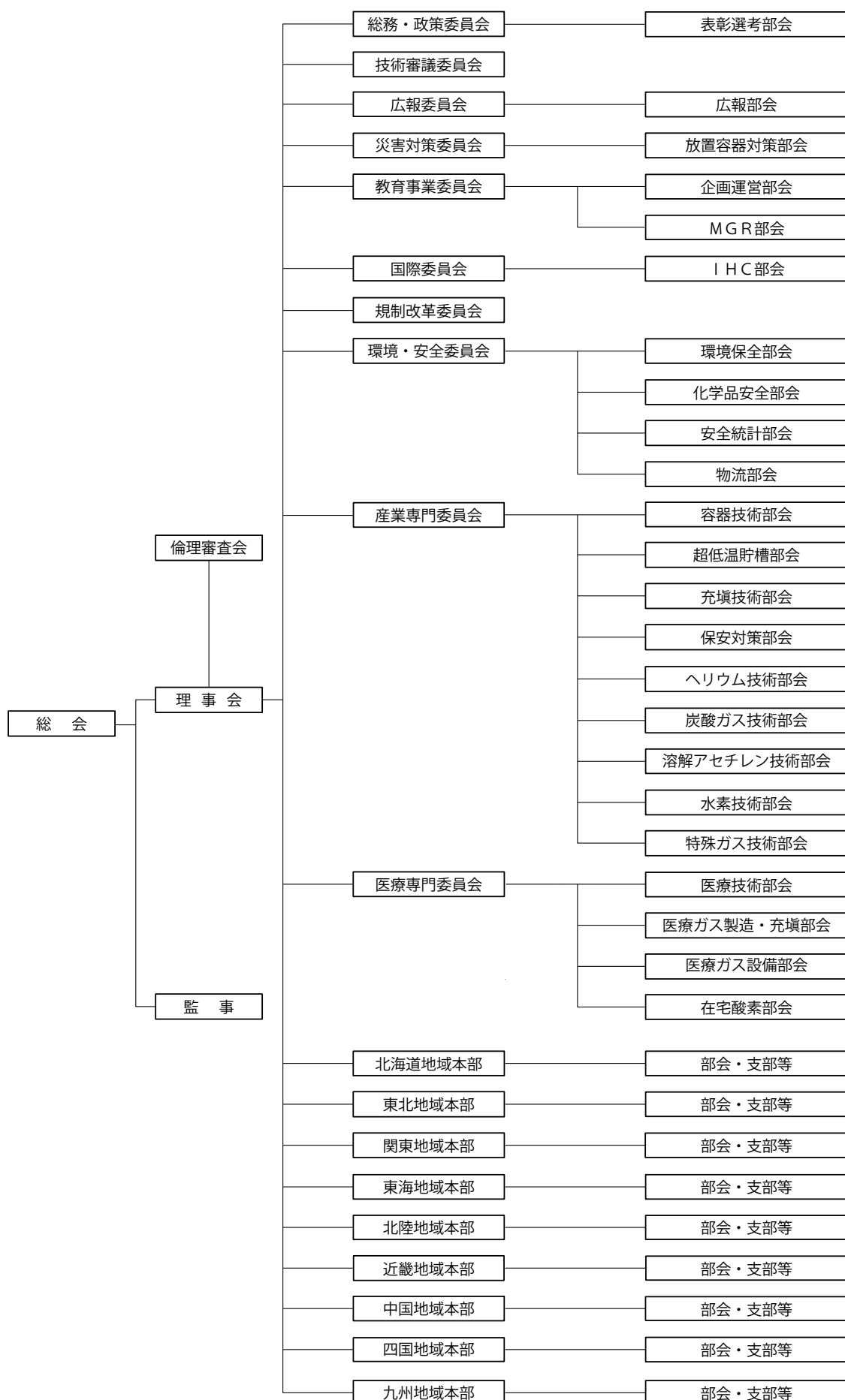
簗口 基治

みのぐち もとはる

株式会社世田谷酸素商事
代表取締役社長

あらかじめ役職の変更が明らかにされている場合は、
新役職にて記載しております。

JIMGA 組織図



事務局一覧

本部

原 浩一	専務理事	新井 すみ代	常務理事
------	------	--------	------

運営グループ

 専務理事 原 浩一	総務・政策委員会	 担当部長 市川 裕一	総務・政策委員会
--	----------	---	----------

企画・事業グループ

 常務理事 新井 すみ代	広報委員会 広報部会 教育事業委員会 企画運営部会	国際委員会 IHC 部会 医療専門委員会	 常務執行役員 田中 克幸	在宅酸素部会 表彰選考部会
 常務執行役員 佐藤 寿郎	広報委員会 広報部会 教育事業委員会 企画運営部会 表彰選考部会	MGR 部会 医療専門委員会 在宅酸素部会	 担当部長 山本 卓也	MGR 部会

技術・保安グループ

 常務執行役員 前田 和也	技術審議委員会 災害対策委員会 放置容器対策部会 国際委員会 IHC 部会 規制改革委員会 環境・安全委員会 環境安全部会 化学品安全部会 安全統計部会 物流部会	産業専門委員会 充填技術部会 保安対策部会 ヘリウム技術部会 炭酸ガス技術部会 溶解アセチレン技術部会 水素技術部会 特殊ガス技術部会 医療技術部会 医療ガス製造・充填部会 医療ガス設備部会	 常務執行役員 長沢 修二	技術審議委員会 放置容器対策部会 環境・安全委員会 化学品安全部会 容器技術部会 ヘリウム技術部会 特殊ガス技術部会 医療ガス製造・充填部会 医療ガス設備部会
 常務執行役員 山西 剛士	災害対策委員会 国際委員会 IHC 部会 規制改革委員会 物流部会	産業専門委員会 容器技術部会 超低温貯槽部会 溶解アセチレン技術部会	 常務執行役員 高平 進一	災害対策委員会 放置容器対策部会 規制改革委員会 環境・安全委員会 環境安全部会 化学品安全部会 安全統計部会 超低温貯槽部会 充填技術部会 保安対策部会 炭酸ガス技術部会 水素技術部会 医療専門委員会 医療技術部会

産業ガス＝青、医療ガス＝緑

地域本部

細坪 幸男	北海道地域本部 事務局長	横地 直樹	近畿地域本部 事務局長
新堀 英之	東北地域本部 事務局長	柴田 巖	中国地域本部 事務局長
村上 良二	関東地域本部 事務局長	新井 成和	四国地域本部 事務局長
多田 和也	東海地域本部 事務局長	都田 泰史	九州地域本部 事務局長
中村 寛徳	北陸地域本部 事務局長		

2025年度第3回理事会

日 時：2025 年 11 月 17 日（月）14：00～15：20

場 所：一般社団法人日本産業・医療ガス協会本部事務所 第1会議室

出席者：上原 正弘（大陽日酸株式会社）、鈴木 慶彦（株式会社鈴木商館）、

（順不同）※牧原 康二（日本エア・リキード合同会社）、※廣田 博清（岩谷産業株式会社）、
敬称略）※黒木 幹也（高圧ガス工業株式会社）、※上羽 尚登（岩谷瓦斯株式会社）、
※天野 寿二（東京ガスケミカル株式会社）、※小池 英夫（小池酸素工業株式会社）、
※桑原 千香（大阪ガスリキッド株式会社）、
※粕谷 智樹（エア・ウォーター産業・医療ガス株式会社）、
※岩澤 昌之（株式会社イワサワ）、※南部 淳（株式会社ナンブ）、
※中村 顕（宇野酸素株式会社）、※岡野 洋太郎（株式会社神戸サンソ）、
※藤井 宗武（藤井商事株式会社）、※宮嶋 寛幸（福豊帝酸株式会社）、
澤木 実（JIMGA）、原 浩一（JIMGA）、
※山口 立太（株式会社レゾナック・ガスプロダクツ）、
※堀内 秀敏（東邦アセチレン株式会社）、※簗口 基治（株式会社世田谷酸素商事）

以上 出席理事 18 名

以上 出席監事 3 名

三堀 清 弁護士

※はオンラインでの出席

定刻、次第に従い 2025 年度第 3 回理事会を開始した。冒頭、事務局より本会議はオンラインを併用して開催することが報告された。

1. 定数の報告と開会宣言

理事会は定款第 31 条および理事会運営規程に基づき開催され、理事会運営規程第 2 条に「理事会は、理事の過半数の出席によって成立し、理事会の決議は、出席した理事の過半数をもってこれを決する」とされているところ、本理事会は理事 23 名中 18 名と監事 3 名が出席し成立していることが宣言された。

2. 会長挨拶

開会にあたり上原正弘会長より挨拶があった。

3. 議長選出

理事会運営規程第 4 条に基づき上原会長が議長に就任した。

4. 議事録記名人の確認

定款第 32 条に基づき出席した代表理事および監事が議事録記名人となることが確認された。

5. 議題

<決議事項>

第1号議案 入会希望事業者審査の件

議長の指示により事務局から2025年10月1日付で入会を希望する3事業者について、入会資格を満たし、申請手続、書類とも適正であることが説明された。その後議長は本議案を議場およびオンライン出席者に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認された。

<報告事項>

議長の指示により事務局から以下の報告があった。

(1) 2025年度上期活動報告

(2) 2025年度上期収支計算書報告

本報告に関して上原会長より、「全般的なコストダウン努力には感謝するが、窮々とするあまり職員が萎縮して活動を手控えてしまい、会員の皆様のお話を伺う機会をなくすようなことがあってはならない。今後も会費収入は減少が見込まれているが、本末転倒なことにならぬよう幹部から行動指針を出すなどしてほしい」との意見が出され、事務局は承知した。

(3) 内部監査報告

(4) 会員の動静および今後の主要行事日程等

以上をもってすべての議案審議および報告が終了したので、本理事会は15時20分に閉会した。

2026年度第1回理事会

日 時：2026年5月27日（水）13：50～15：25

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町 カンファレンスルーム 4E

出席者：上原 正弘（日本酸素株式会社）、鈴木 慶彦（株式会社鈴木商館）、

（順不同）牧原 康二（日本エア・リキード合同会社）、※黒木 幹也（高压ガス工業株式会社）、

（敬称略）

上羽 尚登（岩谷瓦斯株式会社）、天野 寿二（東京ガスケミカル株式会社）

小池 英夫（小池酸素工業株式会社）、※古川 史人（東亜テクノガス株式会社）、

※田中 正人（帝人ファーマ株式会社）、

※粕谷 智樹（エア・ウォーター産業・医療ガス株式会社）

笠井 健（北良株式会社）、※岩澤 昌之（株式会社イワサワ）、

※南部 淳（株式会社ナンブ）、※中村 顕（宇野酸素株式会社）、

※岡野 洋太郎（株式会社神戸サンソ）、※太田 賀久（高松帝酸株式会社）、

※宮嶋 寛幸（福豊帝酸株式会社）、

澤木 実（JIMGA）、原 浩一（JIMGA）

以上 出席理事 19 名

山口 立太（株式会社レゾナック・ガスプロダクツ）

※堀内 秀敏（東邦アセチレン株式会社）、簗口 基治（株式会社世田谷酸素商事）

以上 出席監事 3 名

三堀 清 弁護士

オブザーバー：安栖 宏隆（日本エア・リキード合同会社）、松林 良祐（エア・ウォーター株式会社）

和田 直樹（岩谷産業株式会社）、揚 鋼一郎（大阪ガスリキッド株式会社）

※はオンラインでの出席

定刻、次第に従い 2026 年度第 1 回理事会を開始した。冒頭、事務局より本会議はオンラインを併用して開催することが報告された。

1. 定数の報告と開会宣言

理事会は定款第 31 条および理事会運営規程に基づき開催され、理事会運営規程第 2 条に「理事会は、理事の過半数の出席によって成立し、理事会の決議は、出席した理事の過半数をもってこれを決する」とされているところ、本理事会は理事 21 名中 19 名と監事 3 名が出席し成立していることが宣言された。

2. 会長挨拶

開会にあたり上原正弘会長より挨拶があった。

3. 議長選出

理事会運営規程第 4 条に基づき上原会長が議長に就任した。

4. 議事録記名人の確認

定款第 32 条に基づき出席した代表理事および監事が議事録記名人となることが確認された。

5. 議題

< 決議事項 >

第 1 号議案 2025 年度事業報告および収支決算案の件

第 2 号議案 2026 年度事業計画および収支予算案の件

議長より、第 1 号議案および第 2 号議案の一括審議が提案され、出席理事全員が了承した。議長の指示により事務局から 2025 年度事業報告および 2026 年度事業計画の説明があった。引き続き事務局から 2025 年度の収支決算案が説明され、代表監事より監査報告があった。その後事務局より 2026 年度の収支予算案説明があった。その後議長は両議案を議場およびオンライン出席者に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認された。

第 3 号議案 理事候補者選出の件

議長の指示により、事務局から 2026 年度定時総会終結の時をもって現理事全員が任期満了となることから、新たな理事の候補者を選出したい旨の説明があり、各候補者が提案された。その後議長は本議案を議場およびオンライン出席者に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認された。

第 4 号議案 入会希望事業者審査の件

議長の指示により事務局から 2026 年 4 月 1 日付で入会を希望する 4 事業者について、入会資格を満たし、申請手続、書類とも適正であることが説明された。その後議長は本議案を議場およびオンライン出席者に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認された。

第 5 号議案 2026 年度定時総会への付議議案の件

第 6 号議案 2026 年度定時総会招集の件

議長より、第 5 号議案および第 6 号議案の一括審議が提案され、出席理事全員が了承した。議長の指示により事務局から 2026 年度定時総会へ付議する議案、定時総会の開催予定および当日の行事が説明された。その後議長は両議案を議場およびオンライン出席者に諮ったところ全員異議なく原案どおり承認された。

< 報告事項 >

議長の指示により事務局から以下の報告があった。

(1) 2026 年 JIMGA 表彰受賞者

(2) 会員の動静および今後の主要行事日程

以上をもってすべての議案審議および報告が終了したので、本理事会は 15 時 25 分に閉会した。

2026年度第 2 回理事会

日 時：2026 年 6 月 10 日（水）15：35～15：50

場 所：経団連会館 5 階 503 号室（東京都千代田区大手町 1－3－2）

出席者：永田 研二（日本酸素株式会社）、安栖 宏隆（日本エア・リキード合同会社）、

（順不同）鈴木 慶彦（株式会社鈴木商館）、西村 浩和（エア・ウォーター株式会社）、

（敬称略）

和田 直樹（岩谷産業株式会社）、黒木 幹也（高圧ガス工業株式会社）、

廣田 博清（岩谷瓦斯株式会社）、天野 寿二（東京ガスケミカル株式会社）、

古川 史人（東亜テクノガス株式会社）、揚 鋼一郎（大阪ガスリキッド株式会社）、

田中 正人（帝人ファーマ株式会社）、

粕谷 智樹（エア・ウォーター産業・医療ガス株式会社）、

笠井 健（北良株式会社）、岩澤 昌之（株式会社イワサワ）、

南部 淳（株式会社ナンプ）、中村 顕（宇野酸素株式会社）、

岡野 洋太郎（株式会社神戸サンソ）、藤井 宗武（藤井商事株式会社）、

太田 賀久（高松帝酸株式会社）、宮嶋 寛幸（福豊帝酸株式会社）、

原 浩一（JIMGA）、新井 すみ代（JIMGA）、

以上 出席理事 22 名

山口 立太（株式会社レゾナック・ガスプロダクツ）、

堀内 秀敏（東邦アセチレン株式会社）、簗口 基治（株式会社世田谷酸素商事）

以上 出席監事 3 名

三堀 清 弁護士

定時総会に引き続き 15 時 35 分から、次第に従い 2026 年度第 2 回理事会を開催した。

1. 定数の報告と開会宣言

本理事会は定款第 31 条および理事会運営規程に基づき開催され、理事会運営規程第 2 条に「理事会は、理事の過半数の出席によって成立し、理事会の決議は、出席した理事の過半数をもってこれを決する」とされているところ、理事 23 名のうち 22 名が出席し成立していることが宣言された。

2. 議長選出

出席理事の互選により、永田理事が議長に就任した。

3. 議事録記名人の確認

定款第 32 条に基づきこの後の第 1 号議案で代表理事（会長）に選任された理事および出席監事が議事録記名人となることが確認された。

4. 議題

<決議事項>

第 1 号議案 会長および副会長選任の件

議長は代表理事（会長）として永田研二理事を、副会長として安栖宏隆理事と鈴木慶彦理事を選任する旨諮ったところ、出席理事全員異議なく承認され、本人はそれを承諾した。

第2号議案 会長に事故があるときの会長職務代行順位の件

議長は定款第24条および第29条の規定に基づき、会長に事故があるときの会長職務代行順位を以下の通りとする旨諮ったところ、出席理事全員異議なく承認した。

第1順位 副会長 安栖 宏隆

第2順位 副会長 鈴木 慶彦

第3号議案 業務を執行する理事の選任の件

議長は定款第29条5項に規定する、業務を執行する理事として、原浩一理事を専務理事、新井すみ代理事を常務理事に選任し、定款第30条に規定する常勤理事とする旨諮ったところ、出席理事全員異議なく承認され、本人はそれを承諾した。

第4号議案 理事の業務担当の件

議長より、理事の業務担当を以下の通りとする旨提案があり出席理事全員異議なく承認した。

委員会名称	担当理事
総務・政策委員会	安栖 宏隆 副会長
技術審議委員会	西村 浩和 理事
広報委員会	揚 鋼一郎 理事
災害対策委員会	古川 史人 理事
教育事業委員会	小池 英夫 理事
国際委員会	和田 直樹 理事
規制改革委員会	廣田 博清 理事
環境・安全委員会	天野 寿二 理事
産業専門委員会	黒木 幹也 理事
医療専門委員会	鈴木 慶彦 副会長 田中 正人 理事

選出地域本部	担当理事
北海道	粕谷 智樹 理事
東北	笠井 健 理事
関東	岩澤 昌之 理事
東海	南部 淳 理事
北陸	中村 颯 理事
近畿	岡野 洋太郎 理事
中国	藤井 宗武 理事
四国	太田 賀久 理事
九州	宮嶋 寛幸 理事

各地域本部選出の理事は委員会を担当せず地域と本部の連携強化、地域におけるJIMGA事業推進の役割を担う。

<報告事項>

・顧問の辞任について

事務局より、組織規程第4条第4項「顧問および参与は本人の申し出によりいつでも辞任できる」との規定により、辞任の申し出があった豊田 昌洋顧問が本日付で辞任されたことが報告された。

以上をもってすべての議案審議が終了したので、本理事会は15時50分に閉会した。

議案書はJIMGAウェブサイトの会員ページに掲載しています。

【トップページ>会報誌・本部活動報告>理事会>議案書】

または下記URLよりご覧ください。

<https://www.jimga.or.jp/report/rijikai/>

2026年度定時総会

開催日時：2026年6月10日（水）14：10～14：48

開催場所：経団連会館2階 国際会議場（東京都千代田区大手町1－3－2）

議決権総数：701個

出席議決権数：522個（委任状による出席168、議決権行使書による出席298を含む）

議長：上原正弘会長

定刻、次第に従い2026年度定時総会を開催した。

1. 定数の報告と開会宣言

本総会は定款第21条に基づき開催され、定款第23条に「総会は、定款に特別な定めのある場合のほかは、総会員の議決権の過半数以上を有する会員の出席により成立する。ただし、この場合、代表者又は指定代表者の委任状を有する代理人の出席を認める。」とされているところ、過半数の議決権を有する会員が出席しており成立していることが宣言された。

2. 会長挨拶

開会にあたり上原正弘会長より挨拶があった。（会長挨拶はp.2に掲載）

3. 議長選出

定款第24条に基づき上原正弘会長が議長に就任した。

4. 議事録記名人選出

定款第25条に基づき黒木幹也理事及び岩澤昌之理事が議事録記名人に選出された。

5. 議題

<決議事項>

第1号議案 2025年度事業報告及び収支決算案の承認を求める件

議長の指示により、事務局から2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）の事業報告および決算書類の説明を行い、山口代表監事が監査報告を行った。その後議長は本議案を議場に諮ったところ全員異議なく、続いて議決権行使書による採決結果が賛成297票、反対1票であること及び議長委任が168票であることを報告し、本議案は原案どおり承認可決された。

第2号議案 2026年度事業計画および収支予算案の承認を求める件

議長の指示により事務局から、2026年度（2026年4月1日～2027年3月31日）の運営方針、事業計画及び予算案の説明を行った。その後議長は本議案を議場に諮ったところ全員異議なく、続いて議決権行使書による採決結果が賛成297票、反対1票であること及び議長委任が168票であることを報告し、本議案は原案どおり承認可決された。

第3号議案 理事選任の件

議長の指示により事務局から、辞任された理事および辞任した理事以外の理事全員が本総会終結の時をもって任期満了により退任するので、その後任として、定款に基づき次の各位を選任したい旨の説明があった。

理事 (23 名)

永田 研二、安栖 宏隆、鈴木 慶彦、西村 浩和、和田 直樹、黒木 幹也、
廣田 博清、天野 寿二、小池 英夫、古川 史人、揚 鋼一郎、田中 正人、
粕谷 智樹、笠井 健、岩澤 昌之、南部 淳、中村 顕、岡野 洋太郎、
藤井 宗武、太田 賀久、宮嶋 寛幸、原 浩一、新井 すみ代

その後議長は本議案を議場に諮ったところ全員異議なく、続いて議決権行使書による採決結果が賛成 297 票、反対 1 票であること及び議長委任が 168 票であることを報告し、本議案は原案どおり承認可決された。

引き続き議長より、被選任者全員があらかじめ理事就任の承諾書を提出していることが報告され、理事 23 名の就任が確定した。

<報告事項>

議長の指示により事務局から、次の各項目について報告があった。

(1) 会員の動静および今後の主要行事日程

以上をもって、すべての議案審議ならびに報告事項が終了したので、本総会は 14 時 48 分に閉会した。



定時総会会場風景

議案書はJIMGAウェブサイトの会員ページに掲載しています。
【トップページ>会報誌・本部活動報告>総会>議案書】
または下記 URL よりご覧ください。
<https://www.jimga.or.jp/report/sokai/>

2026 年 JIMGA 表彰 表彰式

開催日時：2026 年 6 月 10 日（水） 定時総会後 14：50 ～ 15：20

2026 年 JIMGA 表彰受賞者は以下の通り。

2026 年 JIMGA 表彰受賞者一覧

賞区分	受賞者（敬称略）	受賞理由
安全賞	JFE コンテナ株式会社 高圧ガス容器事業本部	無事故無災害 32 年。組織的な 5S 活動を展開し、全員参加の安全活動、経験に依存しない「安全の仕組み化」への取組を行っている。
安全賞	株式会社鈴木商館 東関東支店 千葉営業所	無事故無災害 26 年。顧客設備を用いた保安点検・保安講習を実施することで、保安意識の向上、延滞容器・不明容器の発生防止に取り組んでいる。
安全賞	株式会社ジェック東理社	無事故無災害 26 年。安全パトロールでは違反発見のみならず、見られている意識づくで作業慣れを防ぎ、声掛けや連携確認によるコミュニケーションで風通しの良い職場づくりをしている。
功労賞 （業務）	吉川 勝英 帝人ファーマ株式会社 専門部長	長年、多くの委員会・部会の委員を兼務し、JIMGA 活動に貢献。特に在宅酸素部会長として患者 QOL の向上や業界の健全な発展に寄与した。
功労賞 （災害）	JIMGA 岩手県支部事務局 および 防疫対応会員 7 社（対象 8 名）※ ¹	2025 年 1 月、盛岡市と軽米町で発生した過去最大規模の鳥インフルエンザにおいて、長期にわたり緊急に連携し防疫活動を完了した。事前に県との協議で県所有備蓄を増量していたことも奏功した。
功労賞 （標準化）	医療技術部会 医療用 FRP 容器規制緩和 WG （対象 7 名）※ ²	2020 年に METI が示した一般複合容器に関する規制見直しの方向性を受け、再検査期間および充填可能期限の延長を現実のものとした。本件は業界内のトータルコスト低減に大きく貢献するものである。
功労賞 （保安教育）	高澤 正樹 株式会社千代田 専務取締役	1992 年以来、長きにわたり主に医療ガス分野の委員会委員を務め、講習会講師、安全教育資料の編集、基準の見直しなど保安や規制緩和で大きな功績をあげた。
功労賞 （保安教育）	植木 純 順天堂大学 名誉教授	JIMGA の自主保安と在宅酸素に関連する事業全般に深く関与し、指導・助言を行った。講習会講師、教材・資料監修などを通じ、業界全体の保安知識向上と事業者教育に大きく貢献した。
功労賞 （地域活動）	伊藤 洋司 中京医薬株式会社 取締役 営業部長	20 年以上にわたり東海地区部会長を務め、医療ガス保安への取組はもちろん、MGR 制度推進、コロナ禍での医療用酸素供給体制構築など地域活動をけん引し成果を上げた。
功労賞 （地域活動）	黒田 秀昭 中国アセチレン株式会社 取締役 製造部長	20 年以上にわたり、中国地区本部各種部会委員として積極的に活動。自身の知見に基づく提案や、防災訓練でも実演などを担当し、地域の保安活動に大きく貢献した。

※ 1 受賞者（敬称略）

武蔵 英仁（一般社団法人岩手県高圧ガス保安協会）

千葉 厚（東北酸素株式会社）

伊藤 文彦（第一開明株式会社）

笠井 健（北良株式会社）

渡邊 久晃（東邦岩手株式会社）

堀内 健一（岩手酸素株式会社）

立谷 保（ウエルテック株式会社）

細谷地 茂陽（株式会社細谷地）

※ 2 受賞者（敬称略）

飯島 孝文（株式会社旭製作所）

黒澤 彬元（株式会社旭製作所）

高野 俊夫（JFE コンテナ株式会社）

鈴木 克典（JFE コンテナ株式会社）

伊藤 知佳子（株式会社伊藤高圧瓦斯容器製造所）

竹内 弘次（日本酸素株式会社）

西本 敬輝（エア・ウォーター株式会社）



JIMGA表彰受賞者（代表者）

2026 年度 総会特別講演

開催日時：2026 年 6 月 10 日（水） 16：00 ～ 17：00

開催場所：経団連会館 2F 国際会議場

演 題：2040 年に向けたわが国の医療の課題と展望

演 者：国立保健医療科学院 院長 浅沼 一成 氏

要 旨：2040 年頃には団塊ジュニア世代が 65 歳以上となり、高齢者人口の割合が約 35%に達すると見込まれています。これに伴い、社会保障制度の持続性、労働力不足、経済の停滞、インフラの老朽化、地方の過疎化など、多岐にわたる社会的・経済的課題が生じると予測されています。医療分野もこうした影響を受けることが見込まれるため、現時点から将来を見据えた対応が不可欠です。本講演では、2040 年に向けたわが国の医療の課題と今後の展望についてご講演いただきました。



浅沼 一成氏

行事予定

■ 2026年度 第 3 回 理事会

開催予定日：2026 年 11 月 27 日（金）

会場：オンライン開催（JIMGA 本部会議室）

■ 2027年 賀詞交歓会

開催予定日：2027 年 1 月 14 日（木）

会場：経団連会館

■ 2027年度 第 1 回 理事会

開催予定日：2027 年 5 月

会場：オンライン開催（JIMGA 本部会議室）

■ 2027年度 定時総会

開催予定日：2027 年 6 月 9 日（水）

会場：経団連会館

財務諸表

JIMGA 部門別収支計算書 (2021 ～ 2025 年度実績 および 2026 年度予算)

勘定科目	区分	2021 年度通期実績			2022 年度通期実績		
		医療ガス	産業ガス	計	医療ガス	産業ガス	計
会員会費収入		53,546	244,970	298,516	53,847	246,289	300,136
講習会収入		43,837	1,949	45,786	49,563	1,351	50,914
書籍等販売収入		16,883	2,971	19,854	8,945	6,267	15,212
封キャップ／RF タグ収入		6,778	3,187	9,966	8,130	2,917	11,048
広告料収入		843	0	843	277	0	277
その他収入 (業務受託)		8,614	4,208	12,822	1,909	4,933	6,842
売上高合計		130,502	257,285	387,787	122,672	261,757	384,429
講習会諸経費		22,631	1,171	23,802	28,885	2,213	31,097
書籍等制作費		7,139	1,047	8,186	6,550	2,435	8,985
封キャップ／RF タグ諸経費		5,148	1,651	6,799	5,141	1,187	6,328
MGR：封キャップ／RF タグ減価償却費		62	128	190	741	0	741
その他支出 (業務受託)		5,621	3,765	9,386	0	3,386	3,386
売上原価合計		40,600	7,763	48,363	41,316	9,220	50,537
売上総損益収支		89,902	249,522	339,424	81,356	252,536	333,892
総会・賀詞交歓会費		1,816	1,677	3,493	4,524	8,916	13,440
会議・活動費		1,698	1,946	3,643	4,128	6,702	10,830
国際関係事業費		0	487	487	0	8,150	8,150
保安対策費		2,184	329	2,512	886	244	1,130
講習会諸経費 (収益外)		0	0	0	54	0	54
システム費用		730	4,144	4,874	697	3,047	3,743
販売費小計		6,427	8,582	15,009	10,288	27,059	37,347
給与・手当等		42,509	117,277	159,786	41,329	120,368	161,697
事務委託費		8,804	4,032	12,835	4,462	2,641	7,103
事務所賃借料		6,282	27,921	34,203	6,282	27,971	34,253
リース料		648	7,924	8,572	618	8,254	8,872
諸会費 (団体会費)		162	5,483	5,645	162	5,219	5,381
租税公課		△ 5,476	15,703	10,227	1,623	10,816	12,439
減価償却費		1,864	3,967	5,831	2,298	5,094	7,392
支払手数料		285	722	1,007	238	1,224	1,462
印刷費		1,106	984	2,089	1,264	1,771	3,035
通信・運搬費		1,432	2,413	3,844	932	2,929	3,862
旅費交通費		1,152	6,132	7,284	2,764	8,466	11,230
水道光熱費		453	1,867	2,321	454	2,134	2,588
広報費		7,371	2,814	10,185	3,088	3,251	6,339
交際費		209	22	231	123	471	593
消耗・備品費		214	1,345	1,559	361	1,160	1,520
図書・教育費		204	1,134	1,338	183	1,059	1,242
表彰費用		92	107	199	257	523	780
雑費		366	1,457	1,823	373	1,735	2,108
管理費小計		67,677	201,302	268,979	66,811	205,085	271,896
販売・管理費合計		74,104	209,884	283,988	77,100	232,144	309,243
営業損益収支		15,798	39,638	55,435	4,256	20,393	24,649
受取利息		2	1	3	2	2	4
雑収入		20	186	206	0	276	276
営業外収益		22	187	209	2	278	280
支払利息等		0	0	0	0	0	0
雑損失		0	156	156	2,412	185	2,597
営業外費用		0	156	156	2,412	185	2,597
営業外収支		22	31	53	△ 2,410	93	△ 2,317
経常損益収支		15,820	39,669	55,489	1,846	20,486	22,332

(単位：千円)

2023 年度通期実績			2024 年度通期実績※			2025 年度通期実績			2026 年度
医療ガス	産業ガス	計	一般事業	収益事業	計	一般事業	収益事業	計	通期予算
54,033	246,652	300,685	294,594	0	294,594	284,429	0	284,429	273,977
55,044	6,199	61,243	0	60,652	60,652	0	62,510	62,510	69,323
22,345	7,754	30,099	0	14,468	14,468	0	14,206	14,206	15,310
8,721	2,871	11,592	0	11,290	11,290	0	11,647	11,647	9,741
259	0	259	0	240	240	0	936	936	220
6,030	4,356	10,386	0	6,016	6,016	567	6,095	6,662	5,919
146,430	267,833	414,263	294,594	92,665	387,259	284,996	95,395	380,391	374,490
35,436	6,684	42,120	0	42,887	42,887	0	43,735	43,735	47,648
4,820	2,133	6,953	0	6,810	6,810	0	6,076	6,076	8,780
6,529	1,448	7,978	0	7,829	7,829	0	7,786	7,786	7,224
741	0	741	0	741	741	0	741	741	741
3,726	3,166	6,893	0	3,549	3,549	0	3,772	3,772	3,887
51,253	13,431	64,684	0	61,816	61,816	0	62,110	62,110	68,279
95,178	254,402	349,579	294,594	30,849	325,443	284,996	33,285	318,281	306,211
8,612	9,999	18,611	17,375	0	17,375	17,341	0	17,341	17,819
4,886	8,117	13,003	12,131	0	12,131	10,578	31	10,609	13,772
0	14,274	14,274	12,679	0	12,679	9,948	0	9,948	13,356
1,123	275	1,398	1,376	0	1,376	1,391	0	1,391	2,206
0	186	186	149	0	149	102	0	102	150
504	6,803	7,307	24,837	0	24,837	5,858	0	5,858	8,800
15,126	39,654	54,780	68,547	0	68,547	45,217	31	45,248	56,103
38,748	118,398	157,146	128,818	21,926	150,744	121,830	20,345	142,175	145,837
4,652	5,484	10,136	7,785	388	8,174	10,295	924	11,219	8,087
6,462	28,326	34,788	26,330	4,532	30,862	25,352	3,177	28,529	29,032
619	8,192	8,810	6,966	884	7,850	6,288	941	7,228	8,844
224	5,125	5,349	2,328	246	2,574	2,232	333	2,565	2,598
2,503	11,375	13,877	15,219	0	15,219	11,862	0	11,862	12,826
2,434	5,526	7,960	7,345	1,583	8,929	4,499	1,410	5,909	4,908
254	1,842	2,096	1,677	312	1,989	1,559	414	1,973	2,094
874	3,089	3,963	3,052	82	3,135	1,999	42	2,042	2,290
913	2,834	3,747	3,814	294	4,108	3,421	261	3,682	3,960
4,370	12,071	16,441	10,494	2,568	13,062	10,140	3,249	13,389	14,633
463	2,028	2,491	2,131	320	2,451	2,152	244	2,396	2,467
2,171	2,832	5,003	4,604	339	4,943	3,351	1,028	4,380	4,815
233	656	890	367	0	367	470	0	470	931
291	1,511	1,802	2,031	89	2,121	1,545	274	1,819	1,500
155	1,113	1,268	1,512	58	1,570	1,218	150	1,368	2,589
354	121	475	349	0	349	282	0	282	500
621	2,107	2,727	1,916	99	2,015	1,765	363	2,128	2,102
66,340	212,630	278,971	226,739	33,722	260,461	210,258	33,155	243,413	250,013
81,466	252,284	333,751	295,286	33,722	329,008	255,475	33,186	288,661	306,116
13,711	2,118	15,829	△ 692	△ 2,873	△ 3,565	29,521	99	29,620	95
2	2	4	142	0	142	576	0	576	521
0	396	396	20,120	79	20,198	95	172	268	210
2	398	400	20,261	79	20,340	672	172	844	731
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11,924	10,000	21,924	2,579	0	2,579	10,000	0	10,000	0
11,924	10,000	21,924	2,579	0	2,579	10,000	0	10,000	0
△ 11,922	△ 9,602	△ 21,524	17,682	79	17,761	△ 9,328	172	△ 9,156	731
1,789	△ 7,484	△ 5,695	16,990	△ 2,795	14,196	20,192	271	20,463	826

注) 2024 年度より医療ガス、産業ガスの各部門が統合されたため、事業別表示とした。

JIMGA 貸借対照表推移 (2021 ～ 2025 年度末)

(単位:千円)

科 目	2021 年度末	2022 年度末	2023 年度末	2024 年度末	2025 年度末
(資産の部)					
流動資産	339,397	354,626	387,876	363,016	406,966
現金・預金	328,142	342,765	364,188	354,768	384,425
売掛金	2,830	5,461	4,914	1,216	5,209
未収入金	1,702	721	597	317	561
貯蔵品	6,328	5,003	7,773	6,129	4,819
前払金	395	644	10,373	554	11,227
仮払金	-	33	33	33	726
立替金	-	-	-	-	-
固定資産	43,619	46,073	41,410	39,109	32,459
有形固定資産	4,436	3,723	3,088	11,599	10,726
建物 (付属設備)	4,029	3,481	2,959	11,502	10,661
器具・備品	407	243	129	97	65
無形固定資産	20,537	23,204	18,227	11,860	6,083
ソフトウェア	20,537	23,204	18,227	11,860	6,083
投資その他の資産	18,646	19,146	20,094	15,650	15,650
敷金	18,646	19,146	20,094	15,650	15,650
資産合計	383,015	400,699	429,286	402,125	439,425
(負債の部)					
流動負債	16,218	11,345	46,095	10,258	26,965
未払金	8,954	5,087	7,927	3,945	5,207
未払法人税等	6,512	4,923	6,516	4,923	4,923
未払消費税等	0	575	3,665	2	3,673
預り金	690	677	1,162	776	826
仮受金	63	83	6,825	614	2,337
修繕引当金	-	-	20,000	-	10,000
固定負債	19,742	20,542	22,242	17,296	18,002
退職給付引当金	19,742	20,542	22,242	17,296	18,002
負債合計	35,960	31,887	68,337	27,554	44,967
(正味財産の部)					
指定正味財産	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
基金	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
一般正味財産	266,056	287,812	279,949	293,570	313,458
正味財産合計	347,056	368,812	360,949	374,570	394,458
負債・正味財産合計	383,015	400,699	429,286	402,125	439,425

委員会・部会の活動報告

総務・政策委員会	24
表彰選考部会	25
技術審議委員会	26
広報委員会	27
災害対策委員会	28
教育事業委員会	29
企画運営部会	30
MGR部会	31
国際委員会	32
規制改革委員会	33
環境・安全委員会	34
環境保全部会	35
化学品安全部会	36
安全統計部会	37
物流部会	38
産業専門委員会	39
容器技術部会	40
超低温貯槽部会	41
充填技術部会	42
保安対策部会	43
ヘリウム技術部会	44
炭酸ガス技術部会	45
溶解アセチレン技術部会	46
水素技術部会	47
特殊ガス技術部会	48
医療専門委員会	49
医療技術部会	50
医療ガス製造・充填部会	51
医療ガス設備部会	53
在宅酸素部会	54

2026年7月1日現在の組織メンバーを記載していますが、7月1日以降の組織の新設やメンバーの交代が明らかな場合は、新設後、交代後の内容を記載しています。

総務・政策委員会

役割

JIMGA 全体を俯瞰しつつ、協会運営に関して理事会や総会に上程する議案の事前審議を行う機関である。毎年行う JIMGA 表彰では、傘下の表彰選考部会で審査した候補者の最終選考を行い、会長に上申する。委員会は、原則春と秋の 2 回開催。

メンバー

委員長	安栖 宏隆	日本エア・リキード(同)	白井 賢司	(株)レゾナック
副委員長	土田 修一	日本酸素(株)	庄田 弘	小池酸素工業(株)
	平田 恭清	高圧ガス工業(株)	永田 学	東京ガスケミカル(株)
	吉用 達哉	岩谷産業(株)	松橋 敬	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
	入江 俊和	大阪ガスリキッド(株)	事務局 原 浩一	JIMGA
	小林 輝一郎	東邦アセチレン(株)	市川 裕一	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は賛助会員の扱いについて協議を重ね、役員懇談会での意見も踏まえ、新規入会時に適切な会員種類で入会いただくこと、現賛助会員で正会員資格を持つ会員に正会員への種類変更を申し入れすることの 2 点を推進することとした。

2026 年度は組織再編、諸制度見直し後の協会運営状況を継続確認し、事務局体制も含む不具合事項への対策を立案し実施する。

表彰選考部会

役割

総務・政策委員会の下部組織として、JIMGA 表彰に関し、表彰募集要綱の策定、表彰対象者の募集、表彰候補者推薦書の取りまとめと書面審査、書面審査の結果に基づく適切な候補者の総務・政策委員会への上申を行う。

メンバー

部会長	鈴木 慶彦	(株)鈴木商館	事務局	天野 寿二	東京ガスケミカル(株)
	安栖 宏隆	日本エア・リキード(同)		小池 英夫	小池酸素工業(株)
	西村 浩和	エア・ウォーター(株)		古川 史人	東亜テクノガス(株)
	和田 直樹	岩谷産業(株)		揚 鋼一郎	大阪ガスリキッド(株)
	黒木 幹也	高圧ガス工業(株)		田中 克幸	JIMGA
	廣田 博清	岩谷瓦斯(株)		佐藤 寿郎	JIMGA

■ 主な活動

2026 年は、各委員会や地域本部から推薦のあった、7つの功労賞と3つの安全賞に対する表彰候補者の推薦書の取りまとめと書面審査を行い、総務・政策委員会へ上申した。

技術審議委員会

役割

JIMGA で作成される技術文書や基準類等を審議する機関である。本委員会で承認されたものが制定、出版される。

委員会は、原則年4回（6月、9月、12月、3月）開催予定。

メンバー

委員長	西村 浩和	エア・ウォーター(株)	平尾 浩二郎	日本酸素(株)
	天野 寿二	東京ガスケミカル(株)	西本 敬輝	エア・ウォーター(株)
	村田 則行	エア・ウォーター(株)	岡村 和也	日本エア・リキード(同)
	西村 秀隆	日本酸素(株)	森山 秀樹	岩谷産業(株)
	植村 憲茂	岩谷産業(株)	事務局 前田 和也	JIMGA
	田 亮	日本エア・リキード(同)	長沢 修二	JIMGA

■ 主な活動

No	審議文書（2026年6月）			
1	JIMGA-T-S/113/26	2025年実績 労働災害統計調査報告	文書	初版
2	JIMGA-T-S/65/26	GHSに対応した産業ガスの分類・表示・SDSガイドブック	図書	改訂
3	JIMGA-T-S/89/26	ヒヤリ・ハット事例集（水素編）	図書	改訂
No	審議文書（2026年3月）			
1	JIMGA-T-S/27/26	高圧ガスハンドブック	図書	改訂
2	JIMGA-T-S/124/26	港湾等における高圧ガス取扱に関するガイドライン	基準	初版
3	JIMGA-T-S/66/26	安全な容器弁の取り外し	基準	改訂
4	RSG_SDS-HGC-01-10 他	SDS改訂（半導体材料ガス、標準ガス）	基準	改訂
5		MGR研修テキスト 2026改訂	図書	改訂
6	JMG-HOT003	公共交通機関内における医療用酸素吸入について	基準	改訂
7	JIMGA-T-S/125/26	大学向け保安に関するオンデマンドコンテンツ（一般ガス編、特ガス編）	図書	改訂
No	審議文書（2025年12月）			
1	JIMGA-T-S/120/24	高圧ガス取扱 / 譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習（医療ガス取扱事業者向け）	図書	追補版
No	審議文書（2025年9月）			
1	JIMGA-T-S/123/25	溶解アセチレンの安全な取扱、及び容器の適切な維持管理	図書	初版
2	JMG-TEC0006	医療ガス消費者のためのヒヤリ・ハット事例集（医療機関・介護保険施設編）	図書	改訂

広報委員会

役割

JIMGA の広報活動全般を司る専門組織であり、「モノづくりを支え 命を守る、インフラがある。」をキャッチフレーズとして、社会的インフラである産業・医療ガス事業を世の中に広く知らしめることをテーマとし、会長記者会見、各種媒体への寄稿、会報誌の発行、ウェブサイトの運営といった活動を行っている。広報委員会の下部組織である広報部会は会報誌の編集等を中心に活動している。

メンバー

委員長	揚 鋼一郎	大阪ガスリキッド(株)	小林 雅人	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
副委員長	梅原 崇禎	日本酸素(株)	渡邊 達也	(株)鈴木商館
副委員長	福島 圭介	エア・ウォーター(株)	北 政年	帝人ファーマ(株)
副委員長	今井 絵美	日本エア・リキード(同)	<広報部会>	
	吉瀬 雅章	岩谷産業(株)	部会長	鎌田 暁子 日本酸素(株)
	鈴木 欣秀	(株)トリケミカル研究所		福島 圭介 エア・ウォーター(株)
	永田 学	東京ガスケミカル(株)		永田 敦子 日本エア・リキード(同)
	佐々木 敏人	高圧ガス工業(株)		生島 利彦 岩谷産業(株)
	西口 大	小池酸素工業(株)	事務局	新井 すみ代 JIMGA
	神田 政則	日本液炭(株)		佐藤 寿郎 JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、会長記者会見や各紙取材対応等、報道機関各紙に対し発信を行った。

JIMGA 会員向け会報誌として偶数月に JIMGAnews の配信、会報「医療 plus」を年 10 回発行した。また、JIMGA REPORT では、委員会活動、地域本部活動を紹介している。

ウェブサイトでは、年間約 120 件の「お知らせ」を掲載し、会員向け情報をお伝えした。また、会員以外の医療機関等にも JIMGA 発行図書をご案内することで、医療ガスの安全に係る情報の提供と浸透を図っている。

2026 年度は、引き続き以下の活動計画のもと広報活動を実施する。

- ・わかりやすい広報による、業界および JIMGA の社会的認知度向上の実現を目指す。
- ・適切な情報を適切な時期に発信する広報を実現する。

具体的な活動としては、以下を実施する。

- ・記者会見、各紙取材での情報発信
- ・JIMGA 会報誌の発行、特集記事等の企画
- ・JIMGA REPORT の発行
- ・ウェブサイト掲載内容の充実

災害対策委員会

役割

自然災害による高圧ガス容器の流出防止対策や二次災害の対策に加え、高圧ガス取扱事業者が災害時でも社会的インフラとしての産業ガス・医療ガスの供給責任を果たせるよう環境整備することを目的として、活動する機関である。

メンバー

委員長	古川 史人	東亜テクノガス(株)	事務局	長谷川 正泰	小池酸素工業(株)
	大岡 寛典	日本酸素(株)		岡村 和也	日本エア・リキード(同)
	山本 明成	岩谷瓦斯(株)		古海 敏恵	日本酸素(株)
	中田 尚宏	エア・ウォーター(株)			
	古賀 孝之	高圧ガス工業(株)		前田 和也	JIMGA
	今村 智之	東京ガスケミカル(株)		高平 進一	JIMGA
	野村 和伯	エア・ウォーター(株)		山西 剛士	JIMGA

■ 主な活動

- 自然災害発生時等における高圧ガス容器の事故防止対策、および法改正動向への対応
 - 保安セミナー等での周知や意見交換を推進、広域災害等に備えた課題整理と具体的検証などを行った。
- 放置容器撲滅
 - 放置容器の安全処理事例の収集：地域本部にて協力者への情報提供依頼を行うと共に、事務局にて報告様式を準備中。
 - 容器管理指針：各都道府県の一覧整理等を進めると共に、基本的指針案の検証等を実施した。
- BCP 対策（自然災害、感染症／健康被害、その他）
- 既存情報の機能化および課題整理と解決を推進する WG の運営
 - 広域災害と甚大災害（首都圏、東南海）に対する対応
 - 会員／地域本部／本部の情報共有／連携の在り方
 - 機能している事項と課題を整理、解決策の検討
- 外部機関との連携

< 放置容器対策部会 >

- 高圧ガス容器全国一斉特別回収の実施
- 放置容器、不明容器を発生させないための対策
 - 「溶解アセチレンの安全な取扱及び容器の適切な維持管理」を作成し、酸素－アセチレンの使用者、取扱者および販売事業者向け保安教育資料（動画）として、2025 年 10 月からウェブサイトにて公開している。
 - 行政、全溶連と連携の上、容器の適切な維持管理について検証を進めていく。
 - 2025 年 7 月、経済産業省（高圧ガス小委員会）で、「高圧ガスの適切な廃棄等について」、「高圧ガス容器の適切な管理について」が注意喚起され、本取り組みにも反映した。



高圧ガス容器特別回収月間
2026年版ポスター

教育事業委員会

役割

JIMGA における教育関連事業および収益事業を統括する機関である。本委員会にて事業方針を定め、下部組織である MGR 部会と企画運営部会が、委員会決定事項に沿って業務を執行する体制としている。

メンバー

<教育事業委員会>

委員長	小池 英夫	小池酸素工業(株)
副委員長	光村 公介	エア・ウォーター(株)
副委員長	古海 敏恵	日本酸素(株)
	石垣 恭平	日本エア・リキード(同)
	吉用 達哉	岩谷産業(株)
	北 政年	帝人ファーマ(株)

<企画運営部会>

部会長	森田 和博	高圧ガス工業(株)/(株)スミコエアー
-----	-------	---------------------

<MGR部会>

部会長	川井 幸輔	岩谷産業(株)
-----	-------	---------

事務局	新井 すみ代	JIMGA
	佐藤 寿郎	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度の収益事業、教育事業として以下の講習会、セミナーを開催した。

<収益事業>

- ・ MGR 講習会
- ・ HOT 保守点検従事者研修講習会

<教育事業>

- ・ 定時総会セミナー（「ベースボーラシップ® から学ぶ人材育成」
(一財) アフリカ野球・ソフト振興機構 代表理事 友成晋也氏)
- ・ 高圧ガス保安セミナー
- ・ 医療ガス安全講習
- ・ 炭酸ガス保安講習
- ・ 高圧ガスの取扱／譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習（対面／ウェブ／オンデマンド開催）
- ・ 東京科学大向け講習（オンデマンド）

2026 年度も会員の皆様が安全・安心・安定的に事業を継続できる環境作りのために教育事業の拡充による保安強化への貢献を目指し、会員およびガスユーザー向けの教育事業、講習会や教育教材の充実、オンデマンド教育の活用、ウェブサイトでのガスユーザー向け教材の改訂など、他の委員会や部会と協力しながら教育事業を推進する。

教育事業委員会
企画運営部会

役割

教育事業委員会で決定した活動方針を実行する執行機関である。JIMGA の教育事業および収益事業を推進する。

(MGR、在宅酸素療法関連を除く)

メンバー

部会長	森田 和博	高圧ガス工業(株)	事務局	今野 浩司	(株)千代田
	大沼 倫晃	エア・ウォーター(株)		高野 英一	(株)小池メディカル
	押部 哲治	(株)レゾナック・ガスプロダクツ			
	勝亦 朋之	(株)鈴木商館		新井 すみ代	JIMGA
	石川 圭吾	(株)巴商会		佐藤 寿郎	JIMGA

■ 主な活動

収益事業として JIMGA 会員に向けた多くの講習会・セミナーを開催している。

また、JIMGA 運営方針の一つである「事故の無い安全な高圧ガスの世界の希求」に向け、JIMGA 会員のみならず、高圧ガス消費者に向けての啓発活動にも取り組んでいる。

2024 年度から開始した「高圧ガス取扱／譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習」は 2025 年度も継続開催し、オンデマンドでの提供で多くの会員と、高圧ガスをご利用いただいているガス消費者にも受講いただいている。

また、JIMGA の持つ高圧ガスに係る情報を広くガス消費者までお届けすることを目的とし、医療機関等に向けても発行図書のご案内をした。ヒヤリ・ハット事例集などは、医療ガスに係る院内教育にもご利用頂いている。

2026 年度も、教育事業・収益事業について、会員および産業ガス・医療ガス業界の利益と JIMGA の団体収益とが両立した業界団体として実施すべき事業について立案・検討する。



「e-ラーニング教材によるオンデマンド方式」

「高圧ガス取扱／譲渡提供等における 化学物質管理者の専門講習」 開催のご案内

第2回開催

2026年1月

お申し込みは
12/1開始！

2026年4月より、労働安全衛生法による化学物質の管理対象に、高圧ガス（酸素、窒素、アルゴン）、水素、プロパン、アセチレン、二酸化炭素等が追加されます。
化学物質管理を推進する必要がある化学物質の取引・事業拡大は譲渡提供等を対象として、オンデマンドによる専門講習を開催します。

受講期間	2026年1月6日～2月28日
申込期間	2025年12月1日～12月17日
対 象	化学物質管理責任者または必要となる化学物質の取引・事業拡大、譲渡提供等を行う企業・団体の関係者（※）
講習内容 (全6時間)	1. 高圧ガスの概要 2. 高圧ガス取扱・譲渡提供等に必要となる事項 3. 関係法令（化学物質安全管理法・高圧ガス規制法等） 4. 化学物質・高圧ガスの危険性・有害性、取引・搬送等 5. 化学物質・高圧ガスの危険性・有害性の評価 6. 化学物質・高圧ガスの危険性・有害性の評価結果に基づいた措置、その他が必要となる措置 7. 化学物質・高圧ガスの取引・事業拡大に関する発生抑制の対応
受講料	一般価格：16,500円（税込） 会員登録：11,000円（税込）
主 催	一般社団法人 日本産業・医療ガス協会（JIMGA）

（※）高圧ガス取引の取扱いに関する法令が改正されたことにより、高圧ガスの取引・事業拡大、譲渡提供等を行う企業・団体の関係者（※）

JIMGA
♂

<https://www.jimga.or.jp/>

申込は12/1開始！
お申し込みください



問い合わせ：産業産業・医療ガス協会 03-6465-86210



一般社団法人
日本産業・医療ガス協会

2025.12.1

講習会の案内



教育事業委員会 MGR部会

役割

MGR 部会は、MGR 研修テキストの定期的な改訂や、導入時集合講習と更新時集合講習における講師担当と教材の改訂等により MGR に対して、その資質の向上と維持、最新情報の提供等を担っている部会である。

MGR : Medical Gases Representative (医療ガス情報担当者)

メンバー

部会長	川井 幸輔	岩谷産業(株)	本間 鉄兵太	日本エア・リキード(同)
副部会長	加藤 俊康	エア・ウォーター・メディカル(株)	アドバイザー 長島 浩	東京慈恵会医科大学
	江場 大二	(株)エバ		
	中村 耕治	日本酸素(株)	事務局 山本 卓也	JIMGA
	北 政年	帝人ファーマ(株)	佐藤 寿郎	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、MGR をこれから目指す方対象の「導入時集合講習」を東京会場で7月17日、18日の両日に開催し115名が修了した。MGR 認定者の方対象の「更新時集合講習」は、1月20日から2月20日までの期間に全国9会場で開催し(全10回)745名が修了した。認定試験は、12月7日に全国5会場で実施し、107名が合格した。

2026 年度の講習会と認定試験の日程と会場は下記のとおりである。また、MGR 研修テキスト 2026 年版(vol.1・vol.2)を改訂した。

■ 2026年度の集合講習・認定試験日程

7月23日(木)・7月24日(金)	第20回導入時集合講習 会場：東京
12月6日(日)	第20回MGR認定試験 会場：札幌、仙台、東京、大阪、福岡
1月28日(木)～3月5日(金)	第17回更新時集合講習 会場：札幌、仙台、東京(2回)、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡



国際委員会

役割

海外の産業・医療ガス関連団体と良好な関係を構築し、安全性の向上および業務の効率化に資する技術情報の共有を推進している。特に、IOMA（酸素製造者協会）の世界標準活動に対し、積極的に寄与し、国際統合化された技術情報を迅速かつ的確に会員へ提供する役割を担っている。特に IOMA の方針に基づく IHC（国際統合化会議）活動に注力しており、AIGA（アジア）、CGA（アメリカ）、EIGA（ヨーロッパ）の各協会と連携し、安全維持と業務効率化に貢献する国際的な基準文書の作成を推進している。

これらの取り組みにより、海外の産業・医療ガス分野における効率的な手法や運用の情報を収集し、国内の法規制改革へ反映させている。また、国内法規を考慮した JIMGA 基準の整備も進めており、国際と国内の技術情報の橋渡し役として、会員企業の発展に貢献している。

メンバー

委員長	和田 直樹	岩谷産業(株)		齋藤 啓成	岩谷産業(株)
副委員長	田 亮	日本エア・リキード(同)		堤 陽介	日本高圧ガス容器バルブ工業会
副委員長	道志 年章	エア・ウォーター(株)			
IHC部会長	瓦林 督弘	日本酸素(株)	事務局	山西 剛士	JIMGA
	佐藤 純哉	大阪ガスリキッド(株)		前田 和也	JIMGA
	宮原 史郎	東京ガスケミカル(株)		新井 すみ代	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度活動

- 1) 国際会議への参加
 - ・ 第 57 回 IHC（2025 年 8 月 19 日～ 20 日）アメリカ
 - ・ 第 58 回 IHC（2026 年 3 月 24 日～ 25 日）日本
 - ・ IOMA-GC ニューヨーク会議（2025 年 4 月 25 日）（オンライン参加）
 - ・ IOMA 総会（2025 年 10 月 18 日～ 22 日）フランス
- 2) 国際統合化基準活動
 - ・ 「セレン化水素の安全な取扱指針」の国際基準案を IHC に提出し、JWG（合同作業部会）にて改訂内容を協議（継続中）
 - ・ 国内向け IHC 文書を 5 件発行

2026 年活動予定

- 1) 国際会議への参加
 - ・ 第 59 回 IHC 会議（2026 年 8 月 25 日～ 26 日）ドイツ
 - ・ 第 58 回 IHC 会議（2027 年 2 月予定）中国
 - ・ IOMA-GC ロンドン会議（2026 年 4 月 25 日）
 - ・ IOMA 総会（2026 年 10 月 8 日～ 11 日）ニュージーランド
- 2) 国際統合化基準活動
 - ・ 現在 IHC にて取り組み中のテーマが完成次第、日本国内の国際統合化文書および JIMGA 基準として発行する。

規制改革委員会

役割

産業・医療ガスビジネスにおいて、法規制改革を推進する活動を実施している。JIMGA 会員から提案された法規制改革提案に対して、実行計画を立案し、関係省庁と折衝を行い、法規制改革を実現する役割を担う。

メンバー

委員長	廣田 博清	岩谷瓦斯(株)		森 宏太郎	岩谷産業(株)
副委員長	田 亮	日本エア・リキード(同)		日比 勝己	高千穂商事(株)
副委員長	道志 年章	エア・ウォーター(株)	オブザーバ	長沼 充祥	高圧ガス保安協会
リーダー	小野 昌和	日本エア・リキード(同)		長島 柊平	高圧ガス保安協会
	一瀬 孝行	岩谷瓦斯(株)		藤井 亮	高圧ガス保安協会
	桐井 徹	エア・ウォーター(株)			
	西浦 崇司	日本酸素(株)	事務局	高平 進一	JIMGA
	長島 利幸	(株)レゾナック・ガスプロダクツ		山西 剛士	JIMGA
	宮内 英樹	(株)巴商会		前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、年間 4 回の委員会を開催すると共に、規制改革要望の発掘・募集、既存案件の進捗管理、関係省庁との折衝を中心に主に以下の活動を実施した。

- ・ 2026 年度に向けて、ASU / ローリ輸送、炭酸、水素、アセチレン、医療ガス、充填、容器の 7 つの WG を設置し、分野横断的な検討体制を整備
- ・ 省庁との関係強化のための定期訪問
- ・ 充填所見学会の実施
- ・ ウェブサイトに設置した「規制緩和ポスト」での成果の周知

経済産業省関連

- ・ 差圧液面計取替
- ・ 貯槽規制
- ・ ISO コンテナの水圧代替検査
- ・ PH₃ 充填量アップ
- ・ 減圧による製造行為の非該当化（製造に該当しないよう緩和）
- ・ CE 入れ替え申請の緩和
- ・ 火気距離緩和、安全弁保安検査期間の見直しなど、多岐にわたる案件について構造検証およびヒヤリングの実施

厚生労働省関連

- ・ 食品衛生管理者の選任緩和
- ・ 圧力容器の二重規制緩和に向けた提案書作成

2026 年度は、「規制緩和ポスト」からの提案推進を強化し、既存案件の加速と WG 活動の本格化を図る。重点テーマとして、人材不足の克服、新技術の迅速な社会実装、参入多様化に伴う自律的保安の確立を掲げ、WG で課題整理と対応方針の検討を進める。

経済産業省関連では、差圧液面計取替、貯槽規制、安全弁保安検査期間見直し、ASU 保安検査年数緩和など進捗案件を中心に制度整理を継続し、PH₃ 充填量アップ、減圧行為の非該当化、CE 入れ替え申請緩和、火気距離緩和などの継続案件についても協議を進める。厚生労働省関連では、食品衛生管理者の選任緩和と圧力容器二重規制緩和の交渉を継続する。

環境・安全委員会

役割

産業ガス・医療ガスのライフサイクル（開発・製造から使用・消費・リサイクル・廃棄に至るまで）において、環境・健康・安全を確保し、その取り組みを継続的に改善することによって、人々の生活の質の向上と持続可能な社会の実現に貢献することにより社会からの信頼の向上に努め、広範な課題を議論する組織および実行する機関である。

メンバー

委員長	天野 寿二	東京ガスケミカル(株)	事務局	松上 哲也	東京ガスケミカル(株)
	西村 秀隆	日本酸素(株)		大沼 倫晃	エア・ウォーター(株)
	倉田 克哉	岩谷産業(株)		安齋 知之	岩谷産業(株)
	村田 則行	エア・ウォーター(株)		高平 進一	JIMGA
	石田 吉宏	日本エア・リキード(同)		長沢 修二	JIMGA
	石川 隆一	日本酸素(株)		前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

2024 年度から、従来の環境保全部会と化学品安全部会に関する取り組みだけでなく、新たに加わった安全統計部会と物流部会における取り組みの確認を進め、本委員会の役割である環境・健康・安全の視点から各種課題の適切な対応を中心に取り組み状況の確認を推進している。

2025 年度は、高圧ガス供給に関するエネルギーに対する取り組みを検証すると共に、化学品の自主的取り組みと品質管理の共通化、高圧ガス取り扱いの自主保安強化と従事者の安全確保および効率かつ安定した供給体制の確保に向けた対応を中心に取り組んだ。

環境・安全委員会 環境保全部会

役割

省エネルギーに対する取り組み結果・世間動向および今後の取り組みを検証し、また行政動向のフォローの一環で FIT 賦課金減免制度関連の情報収集と会員への周知等を行う。

メンバー

部会長	石川 隆一	日本酸素(株)
	垣見 康浩	エア・ウォーター(株)
	山本 幸一郎	日本エア・リキード(同)
	魚留 康弘	近畿炭酸(株)
	西 加奈子	東京ガスケミカル(株)
	山本 明成	岩谷瓦斯(株)
	山崎 宗紀	日本酸素東関東(株)

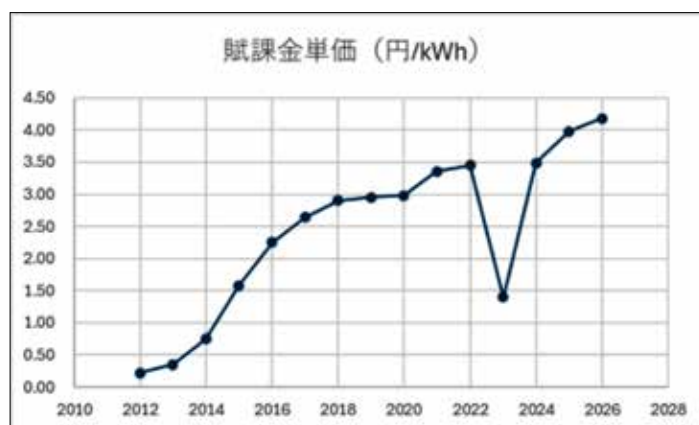
<省エネフォローアップ小委員会>

委員長	石川 隆一	日本酸素(株)
	山本 幸一郎	日本エア・リキード(同)
	本田 尚輝	日本酸素(株)
	藤原 滉介	岩谷産業(株)
	永田 浩史	エア・ウォーター(株)
事務局	高平 進一	JIMGA
	前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、省エネルギーに対する取り組みとして、経団連カーボンニュートラル行動計画フォローアップ調査 2024 年度のエネルギー使用量等を取りまとめ日化協への報告を行い、また FIT 賦課金減免制度見直し対応状況および関連情報の収集・分析を行った。更に、省エネ法によるベンチマーク制度の導入による定期報告の確認を行い、非化石エネルギーへの転換と業種毎の目標設定を含めた改正省エネ法の検討WGへ参加して動向調査等を行った。

2026 年度は、継続して調査・分析を行うと共に、エネルギー原単位およびコストの推移と検証を中心に行って今後の取り組み方針の再検討を行う予定である。更に、改正省エネ法に関する取り組み状況（定期報告、省エネ補助金制度等）や適用検討を実施する。



FIT 賦課金単価の推移

環境・安全委員会 化学品安全部会

役割

高圧ガスに対する JIS・SDS 等の改定と高圧ガス取扱事業所で取り扱う化学品の関連法令への対応状況、品質基準の統一化、及びリスクアセスメント情報の提供を中心に行っている。

改定・承認された最新版の SDS とラベル等は、JIMGA ウェブサイトに掲載している。

メンバー

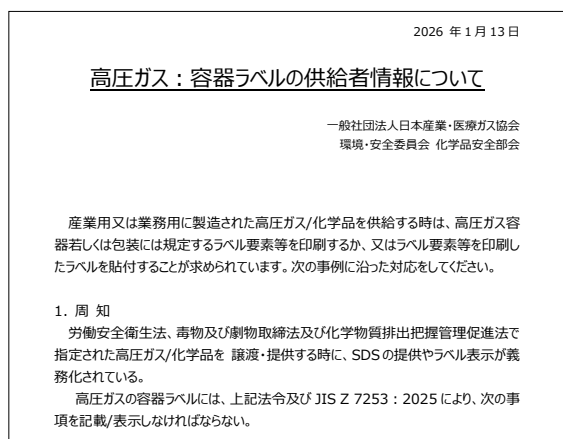
部会長	松上 哲也	東京ガスケミカル(株)	笠井 有咲	岩谷産業(株)
	垣見 康浩	エア・ウォーター(株)	澁谷 暢美	日本エア・リキード(同)
	五十子 智	知多炭酸(株)	事務局 長沢 修二	JIMGA
	藤田 大輔	日本酸素(株)	前田 和也	JIMGA
	塚本 真司	(株)レゾナック	高平 進一	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、労働安全衛生法の関連法令改正における対応を中心に下記のテーマについて検討した。

- ・労働安全衛生法の関連法令改正への対応、講習会開催（保安対策部会と連携）
- ・SDS とラベルの見直し
- ・食品添加物／既存添加物の品質規格の作成（暫定成分規格として検討）
- ・化学物質管理強調月間における対応と推進
- ・JIS K 1101：2017（酸素）および JIS K 1105：2017（アルゴン）の見直し検証

2026 年度は、労働安全衛生法の関連法令改正への対応、SDS、容器ラベルおよびイエローカードに関するガイドブックの改訂（JIS 改正含む）、ならびに、SDS と容器ラベルの改訂、食品添加物／既存添加物の品質規格作成、および化学物質管理強調月間への対応を中心に取り組んでいる。



高圧ガス：容器ラベルの供給者情報に関する周知文書



GHSに対応した産業ガスの分類・表示・SDSガイドブック

環境・安全委員会 安全統計部会

役割

各種事故災害の統計分析・再発防止全般を担当する部会である。毎年、会員事業所における『労働災害統計調査報告書』と高圧ガス事故データベースから特定のテーマを定めて産業ガスに関する事故分析を行い『安全ニュース』を発行している。これらは、JIMGA ウェブサイトに掲載しており、会員を中心に事故災害の再発防止対策として活用されている。

メンバー

部会長 大沼 倫晃 エア・ウォーター(株)
 山田 敏弘 高圧ガス保安協会
 生出 翔 日本酸素(株)
 目黒 俊宏 東京炭酸(株)

事務局 澁谷 暢美 日本エア・リキード(同)
 前田 和也 JIMGA
 高平 進一 JIMGA
 平塚 典子 JIMGA

■ 主な活動

2026年度は、会員282社より報告をいただいた労働災害報告内容を分析し、会員各社へ再発防止に活用いただけるよう、2025年実績の労働災害統計調査報告を7月にJIMGA ウェブサイトに掲載している。

また、産業ガスに関する事故分析では、「高圧ガス容器取扱」における労働災害をテーマとし、充填技術部会と連携して、「高圧ガス容器取扱」における労働災害事例（詳細、対策）等について傾向分析を行っている。その結果は、事故防止対策を含めてJIMGA ウェブサイト (<https://www.jimga.or.jp/business/rousai/>) に掲載している。

更に、再発防止活動としてJIMGA ウェブサイトに掲載すると共に各地域本部保安セミナーでの発表を通じて情報の共有化と安全に係る教育活動の支援を実施している。

また、近年の事故傾向、および事業者のリスクの観点から、荷主、ローリ運行事業者および従事者が定期的に模擬的な実作業に関連する安全教育を実施できる教材の検討を進めている。



※2025年重篤災害が複数発生

2025年実績の労働災害統計調査報告

環境・安全委員会
物流部会

役割

高圧ガスの運搬は、トラックによるボンベ運搬から、特殊車両によるローダー運搬、そしてタンクローリによる液化ガスの運搬がある。これらの物流における環境・安全に係る検討を行う部会である。

高圧ガスの事故をみると移動時の事故が継続して発生している。また、発生場所も、製造事業所内や公共道路から客先構内と多岐にわたる。これら高圧ガス事故の原因解析を行い、事故対策を立案し従事者の労働災害を含め事故ゼロを目指す。

また、カーボンニュートラルの実現に向け、高圧ガスの運搬における CO₂ 削減に貢献するべく活動を継続する。

メンバー

部会長	安齋 知之	岩谷産業(株)	事務局	高橋 將智	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)
	本郷 暁洋	エア・ウォーター(株)		星野 仁志	日本液炭(株)
	堀内 一城	(株)レゾナック・ガスプロダクツ		佐藤 淳二	東京ガスケミカル(株)
	橋口 学	日本酸素(株)		山西 剛士	JIMGA
	城本 登士	日本エア・リキード(同)		前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

- ・物流 2024 年問題への対応や新たに施行された物流効率化法（物効法）について情報共有を行い、物流の安定供給の維持改善に努める。
- ・全日本建設交運一般労働組合の調査およびそれに基づく要請について情報共有を行い、改善活動を促進する。
- ・例年、下記の定期調査を実施している。
 - ーローリからの CO₂ 排出量集計
 - ーエアセパレーションプラント定修予定表作成と部会参加各社での情報共有



産業専門委員会

役割

産業専門委員会では、9つの部会を下部組織に置く委員会である。年2回開催（5月、11月）し、各部会の長が、担当する部会の活動計画、活動実績を報告し、情報の共有と方向性の確認を行う。

メンバー

委員長	黒木 幹也	高圧ガス工業(株)		横谷 和貴	岩谷産業(株)
	西村 秀隆	日本酸素(株)	事務局	前田 和也	JIMGA
	安栖 宏隆	日本エア・リキード(同)		山西 剛士	JIMGA

<産業専門委員会 部会長>

容器技術部会	柿木 一大	日本酸素(株)
超低温貯槽部会	西岡 達郎	日本エア・リキード(同)
充填技術部会	大沼 倫晃	エア・ウォーター(株)
保安対策部会	倉田 克哉	岩谷産業(株)
ヘリウム技術部会	高橋 優介	日本酸素(株)
炭酸ガス技術部会	足立 一明	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)
溶解アセチレン技術部会	西川 隆浩	高圧ガス工業(株)
水素技術部会	廣澤 徳幸	岩谷瓦斯(株)
特殊ガス技術部会	山田 雅昭	住友精化(株)

■ 主な活動

各部会において、産業ガス（高圧ガス）の製造、貯蔵、移動、消費、販売に関わる、技術上や保安上の課題や問題点に取り組み、様々な技術基準や指針等を作成している。



産業専門委員会
容器技術部会

役割

高圧ガス容器技術に関わる国内関連法案の改訂を把握し、加えて ISO/TC58/SC4「ガス容器」に参画することによって国際的な動向を認識し、それらの技術情報を確実に会員へ周知する。また、必要に応じ JIMGA 技術基準の制定を行う。容器技術に関しては、JIMGA の立場を代表する専門家会議として意見を述べる役割を担う。

メンバー

部会長	柿木 一大	日本酸素(株)	東海林 拓	高圧ガス容器バルブ工業会
	原 利彦	エア・リキード工業ガス(株)		((株)ハマイ)
	三戸 勇一	(株)巴商会	伊藤 裕介	高圧ガス保安協会
	岡野 利哉	岩谷産業(株)	事務局	山西 剛士 JIMGA
	濱口 隆裕	エア・ウォーター(株)		長沢 修二 JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、以下の活動を行った。

- (1) ISO/TC58/SC4「ガス容器」関連活動
- ・ 4 件の規格への投票案件の検討・投票を実施：ISO/19016「高圧ガス容器 - 複合構造 - 定期検査とテストのためのアコースティック・エミッション試験」、ISO/10286「ガス容器の用語」、ISO/23088「溶接鋼圧力ドラムの定期検査及び試験 -1000L までの容量」、ISO/23802「恒久的にフレームに設置された複合容器の定期検査及び試験」
 - ・ ISO/TC58/SC4 年次総会（従来 2 月頃開催だが 2026 年 5 月 21 日（中国・大連）に延期）に出席し以下を実施予定
 - 規格定期見直しの実施状況と来年度の見直し実施予定の報告
 - 各 WG の活動報告、関連 ISO 委員会および関連団体からの報告
 - SC4 および TC58 全体の活動に関する議論
 - ・ 国内の ISO 活動として、国内審議委員会（2025 年 8 月 22 日）への参加、投票案件報告
- (2) その他の活動
- ・ JIMGA-T-S/66/10「安全な容器弁の取外し指針」改訂作業
 - ・ 部会員の知見拡大・知識向上を目的として、高圧昭和ボンベ(株)土浦工場への見学研修会を実施。

2026 年度の活動予定

- ・ ISO/TC58/SC4 活動への継続参画
- ・ 容器に関する事故事例等を分析し、会員企業への高圧ガス容器関連の啓発活動の推進
- ・ 部会員向け見学研修会の継続実施



産業専門委員会 超低温貯槽部会

役割

超低温貯槽技術に関し、JIMGA の立場を代表する専門家会議として意見を述べる役割を担う部会である。超低温貯槽技術に関わる国内関連法案の改訂を把握し、加えて ISO/TC220「超低温貯槽」に参画することによって国際的な動向を認識し、それらの技術情報を確実に会員へ周知する。また、必要に応じ JIMGA 技術基準の制定を行う。

メンバー

部会長	西岡 達郎	日本エア・リキード(同)	前川 普治	高圧ガス容器バルブ工業会
	細谷 公憲	エア・ウォーター・エンジニアリング(株)		((株)ネリキ)
	平山 晃生	日本酸素(株)	伊藤 裕介	高圧ガス保安協会
	豆田 武士	岩谷産業(株)		
	石川 敦司	超低温機器協会	事務局	山西 剛士 JIMGA
		(日本化学機械製造(株))		高平 進一 JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は以下の活動を行った。

(1) ISO/TC220 関連

- ・ ISO 24490 (第 3 版)「極低温容器 - 極低温用途の遠心ポンプ」の FDIS に関する投票案件の検討および投票
- ・ ISO/TC220 年次総会 (2025 年 6 月 26 日、フランス (AFNOR : フランス規格協会)) へ参加し以下を実施
 - 新版「ISO の倫理および行動の規範」の確認
 - ISO/TC220 活動状況の確認
 - 戦略的事業計画のレビュー
 - 現在検討中テーマの進捗確認、オンライン上で効率的かつ共同で規格開発を進めるためのプラットフォームとなる OSD (Online Standards Development) 導入に関する現状を確認
- ・ これらの情報に関して JIMGAnews での報告および周知

(2) その他の活動

- ・ JIMGA-KHK S 基準「CE の保安検査基準」基準案のレビューを実施
- ・ 関東地域本部への支援として「可搬式超低温容器の取り扱い基準」講習会講師を担当
- ・ 部会員の知見拡大を目的に、東京ガス袖ヶ浦 LNG 基地の見学研修会を実施

2026 年度の予定

- ・ ISO/TC220 のレビューおよび投票活動の継続
- ・ ISO/TC220 の年次総会 (2026 年 5 月 20 日～21 日、フランス・パリ) への参加
- ・ JIMGA 基準「超低温貯槽の安全指針—単独荷下ろし—」の検討
- ・ 各地域本部からの要請に基づく講師派遣、見学研修会等の実施



産業専門委員会
充填技術部会

役割

高圧ガス充填事業所における技術基準の検討や安全対策等を担当する部会である。近年は、充填所貯蔵所の法的基準／リスク対策と必要項目の整理および中長期的課題に向けた対策の検証を中心に活動している。

メンバー

部会長	大沼 倫晃	エア・ウォーター(株)	出村 憲二	名古屋日酸(株)
	高橋 優介	日本酸素(株)	川原 哲也	エア・ウォーター東日本(株)
	一瀬 孝行	岩谷瓦斯(株)	佐藤 忠史	日本酸素(株)
	松井 良太	エア・リキード工業ガス(株)	赤松 隆	中国酸素(株)
	横山 則美	エア・ウォーター北海道(株)	濱口 健二	土佐酸素(株)
	伊藤 一郎	東邦アセチレン(株)	長家 茂	福岡酸素(株)
	吉田 智徳	相模アセチレン(株)	小林 統	日本液炭(株)
	能町 康彦	北酸高圧瓦斯(株)	事務局 前田 和也	JIMGA
	浜本 聖隆	宇野酸素(株)	高平 進一	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度の活動

2024 年度より、法的な技術上の基準だけでなく、自然災害対策を含めた指針を業界標準として、今後の理想的な充填所や貯蔵所における法的基準やリスク対策と必要項目を整理した「充填所／貯蔵所の新設／更新に関する指針」を、地域本部主催の保安セミナー等で周知情報共有を行っている。更に事例の増強等を進めると共に、安全統計部会と連携して容器の取り扱いにおける労働災害防止対策について検証を進めてきた。一方、刻印の読取精度に関して最近の AI 等の活用事例を、また最近の搬送システム、自動化システムの活用事例を調査継続してきた。

2026 年度の活動予定

高圧ガス充填所や貯蔵所の技術課題等の抽出と整理を進め、各項目について最新の技術動向／事例を調査の上、提言内容の取りまとめを行う。

- ・ 容器取扱いにおける労働災害防止対策：従事者の安全確保を中心に再検証
- ・ 最新の技術動向／事例の調査結果より、今後の充填所の在り方について取りまとめる
 - ① 人の確保、省力化／保安体制の確保
 - ② 容器の工程間移動
 - ③ 充填前、充填中、充填後の各種確認作業



産業専門委員会 保安対策部会

役割

産業専門委員会の下部組織として、保安全般にわたる課題（問題）に対応する全方向対応の部会である。JIMGA 発刊の「高圧ガスハンドブック」を担当し、法改正等対応のため4回の改訂を行った。本書は2006年に初版が発行され、広く関係省庁から民間企業まで使われている。

その他、これまでに発刊した「高圧ガス販売事業所自己診断指針」、「高圧ガスローリ乗務員保安指針」、「リスクアセスメント実施例（充填工場）」の改訂を適宜実施する。

メンバー

部会長	倉田 克哉	岩谷産業(株)	長島 利幸	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
	岡村 和也	日本エア・リキード(同)		
	大沼 倫晃	エア・ウォーター(株)	事務局	高平 進一 JIMGA
	瀬古 明子	日本酸素(株)		前田 和也 JIMGA

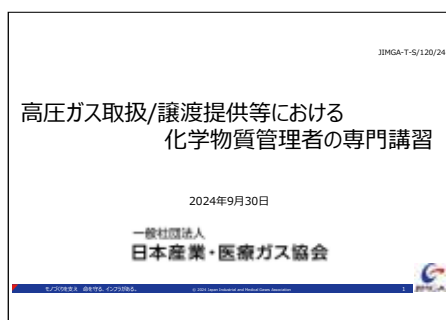
■ 主な活動

2025年度は、以下の活動を行った。

- ・ 化学物質に係るリスクアセスメント制度の改正を踏まえ、化学物質管理者講習資料の作成支援やリスクアセスメント事例集の活用を進めた。
- ・ 酸素、窒素、アルゴン等の一般ガスの法対応準備を行い、化学品安全部会と連携して高圧ガスの化学物質としての取扱いを検討した。
- ・ 「高圧ガスハンドブック」（第5次改訂版）の作業を進め、技術審議委員会へ提出した。

2026年度は、以下の活動を行う。

- ・ 一般ガスの法対応の周知を進めつつ、化学物質としての高圧ガス取り扱いの在り方の検証
- ・ 高圧ガスハンドブック第5次改訂版の発行・販売開始
- ・ リスクアセスメントに関する資料の新規検討
- ・ 規制改革委員会の中長期WGに参画し、人材不足、新技術、自律的保安の観点から保安の専門的見地を提供
- ・ 地域本部保安セミナーへの講師派遣を継続
- ・ 年間計画に沿った部会活動の実施



化学物質管理者の専門講習テキスト



高圧ガスハンドブック第5次改訂版(完成イメージ)



産業専門委員会
ヘリウム技術部会

役割

日本国内のヘリウムは、全量輸入に頼っており、日本国内の需給バランスは、世界のヘリウムソースの動向と地政学的な影響を大きく受けている。ヘリウムはアメリカ、カタール等から液化ヘリウムとして海上輸送により日本に輸入されている。

ヘリウム輸入、供給から消費に至るまでの、保安全般の課題や問題に取り組むとともに、世界のヘリウムソースの動向を注視、海上輸送における規制や事故等の諸問題に対処、国内需給の安定に取り組んでいる部会である。

メンバー

部会長	高橋 優介	日本酸素(株)	江尻 伸一郎	(株)ジャパンヘリウムセンター
副部会長	平野 正博	エア・リキード工業ガス(株)	島崎 洋一	東京ガスケミカル(株)
副部会長	塚本 真司	(株)レゾナック	平井 明広	(株)巴商会
	豆田 武士	岩谷産業(株)	奥山 勇巳	(株)鈴木商館
	内之宮 慧史	日本ヘリウム(株)	事務局 長沢 修二	JIMGA
	戸田 謙人	日本ヘリウム(株)	前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度はヘリウム輸入における海上輸送上の状況を確認し、情報の共有を行った。

過去にヘリウム技術部会にて発行した取り扱い指針や安全に関する指針の見直しを行い、「液化ヘリウムデュワー容器の安全確認に関する指針」の更新を行った。

2026 年度はホルムズ海峡情勢によるヘリウム輸入への影響や海外市場の動向を注視し、情報共有するとともに、危険物積載輸送に関する各種規制について情報収集する。

また、JIS 改訂に伴うヘリウム関連 SDS の更新と JIMGA ウェブサイトに公開しているヘリウムコンテンツの見直しに取り組み、資料の最新化を図る。



JIMGAウェブサイト「ヘリウムの作られ方」より



財務省貿易統計データより



産業専門委員会 炭酸ガス技術部会

役割

液化炭酸ガスの製造に係る技術責任者・担当で運営している部会である。主に、液化炭酸ガスを安全に取り扱うために、関係法令の遵守、液化炭酸ガスの性質の理解、設備の構造や取り扱いの理解、保安管理体制と責任の明確化および関係者の知識・技能の向上に貢献するよう活動している。

メンバー

部会長	足立 一明	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)	西川 隆浩	高圧ガス工業(株)
	長島 利幸	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	芳村 健治	日本液炭(株)
	小林 統	日本液炭(株)	上原 武	上毛天然瓦斯工業(株)
	笠井 有咲	岩谷産業(株)	布施 俊英	大洋化学工業(株)
	五十子 智	知多炭酸(株)	成岡 宏人	東亜テクノガス(株)
	目黒 俊宏	東京炭酸(株)	石倉 威文	東京ガスケミカル(株)
	和佐 孝博	近畿炭酸(株)	田中 伸一	福岡酸素(株)
	三原 好広	UBE(株)		
	前田 孝介	大阪ガスリキッド(株)	事務局 前田 和也	JIMGA
	翁長 健	(株)おきさん	高平 進一	JIMGA
	石本 範章	共同炭酸(株)		

■ 主な活動

2025 年度は、炭酸ガス保安講習会の準備を中心に下記のテーマについて取り組んだ。

- ・炭酸ガス保安講習：オンデマンド講習開催（2025 年 10 月、2026 年 3 月～4 月）
- ・食品衛生管理者の規制緩和：既存添加物／品質規格策定（暫定成分規格）の検証に併せて関係機関等と協議継続
- ・定期調査
 - ― 一定修計画と実績
 - ― 生産拠点リストとマップ
- ・経済産業省、高圧ガス保安協会の各種委員会に出席し、CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）等に関連する技術基準策定に委員等として参加した。

2026 年度は、3 年毎に定期開催している炭酸ガス保安講習会（次回：2027 年度）に向けて準備を進めると共に、社会的有用かつ効率的で安定した CO₂ 原料ガスの確保等を目的とした 原料ガス WG の活動を推進し、関係者や関係機関と連携し、早期に目的が達成できるように取り組む。更に、人口構造の変化や GX 等の観点から今後の CO₂ サプライチェーンの再検証や課題解決に取り組む。



産業専門委員会

溶解アセチレン技術部会

役割

アセチレンの製造に係る技術責任者／担当で運営している。主に、アセチレンを安全に取り扱うために、関係法令の遵守、アセチレンの性質の理解、設備の構造や取り扱いの理解、保安管理体制と責任の明確化および関係者の知識・技能の向上に貢献するよう活動している。

メンバー

部会長	西川 隆浩	高圧ガス工業(株)	長谷川 正泰	小池酸素工業(株)
	吉田 和規	東邦アセチレン(株)	櫻井 啓司	大日本アガ(株)
	石坂 文昭	関東アセチレン工業(株)	中西 清三	東海アセチレン(株)
	大下 幹人	岩谷瓦斯(株)		
	新谷 和也	日本酸素G&W(株)	事務局	前田 和也 JIMGA
	吉田 智徳	相模アセチレン(株)		山西 剛士 JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、下記テーマを中心に取り組んだ。

- ・ 非アスベスト化の進捗状況調査（隔年）の実施
- ・ 労安法関連（化学物質規制）改正に伴う対応
- ・ ISO/TC58 国内審議委員会へ委員派遣
- ・ KHK より依頼を受けて、多孔質物性能試験委員会へ委員を継続して派遣
- ・ 教育資料（動画）の作成
 - 「溶解アセチレンの安全な取扱及び容器の適切な維持管理」（保安教育資料）を 2025 年 9 月開催の技術審議委員会にて承認を得る。
 - 消費事業者および販売事業者に視聴していただけるよう、2025 年 10 月よりウェブサイト「動画資料のページ」にて計 8 動画を順次公開するとともに広報活動を開始した。

2026 年度は、継続案件以外に下記事項に取り組む

- ・ 溶接および溶断に関する保安教材の整備（他のガス部会と連携）
- ・ 規制改革委員会と連携の上、次の観点から保安の確保と作業効率改善を目指す
 - 人口構造の変化
 - GX（グリーン・トランスフォーメーション）等の技術向上
 - 自律的保安の確保／確立



産業専門委員会 水素技術部会

役割

水素に関する技術上の諸問題を協議し、製造、輸送および消費について保安対策の充実を図ることや、関係官庁および関係団体との折衝、連絡ならびに意見具申などを行っている。

また、これまでに発行した「水素ガスハンドブック」、「水素ガス集結容器集合配管管理基準」、「水素ガス移動基準」、SDS 等の改訂を適宜実施する。

メンバー

部会長	廣澤 徳幸	岩谷瓦斯(株)	藤村 正明	東曹ダイスイ(株)
	鈴木 秀行	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	加藤 淳	東邦アセチレン(株)
	小林 篤	日本酸素(株)	榎本 陽平	新潟水素(株)
	中村 久夫	尼崎水素販売(株)	尾浜 宏之	日本エア・リキード(同)
	橋川 正則	伊藤忠工業ガス(株)	田中 毅	福岡酸素(株)
	幡司 寛治	岩谷産業(株)	宮原 治	北酸高圧瓦斯(株)
	相澤 武広	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)	澤田 庸介	丸由工材(株)
	谷奥 正彦	日鉄ケミカル&マテリアル(株)	安久井 満	(株)渡商会
	大山 裕之	(株)鈴木商館		
	成岡 宏人	東亜テクノガス(株)	事務局 高平 進一	JIMGA
	鈴木 健司	東京ガスケミカル(株)	前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、以下の活動を行った。

- ・「ヒヤリハット事例集（水素編）」の改訂を進め、2026 年 6 月の技術審議委員会上程を目標に内容を整理
- ・高圧ガス保安協会が経済産業省から委託を受け設置する水素法技術委員会へ委員を派遣し、圧縮水素貯蔵量規制や充填設備の保安管理体制の検討に参画
- ・ISO/TC197「水素に関する安全性」について、HySUT（水素供給利用技術協会）へオブザーバーとして参画し IHC（国際整合化会議）との連携を図った。
- ・技術部会や研修会を通じて会員企業の技術力向上を図った。

2026 年度は、以下の活動を行う。

- ・「ヒヤリハット事例集（水素編）」改訂版の技術審議委員会への上程を目指す。
- ・規制改革委員会と合同で 2040 年に向けた施策検討 WG にて人口構造の変化、GX、自律的保安の観点から課題抽出を行う。
- ・水素法技術委員会への参画や ISO/TC197 への参加を継続し、国際動向の把握と情報共有を進める。
- ・技術部会・研修会を年間計画に沿って実施し、技術力・安全知識の向上を図る。



産業専門委員会
特殊ガス技術部会

役割

特殊ガスに関する技術上の諸問題を協議し、製造、輸送および消費についての保安対策、関係官庁および関係団体との連絡、折衝ならびに意見具申などを行う部会である。

KHK が設置する「ISO/TC58 国内審議委員会」に委員を派遣し、高圧ガス容器および容器用弁に関する規格等の調査研究に協力している。その他 IHC 国際整合化文書の JIMGA 基準化活動や規制改革案件について関係するワーキンググループへの協力、保安講習会への講師派遣、発行資料やコンテンツの更新作業を行っている。

メンバー

部会長	山田 雅昭	住友精化(株)	小澤 信夫	日本酸素JFP(株)
半材ガス分科会長	澁澤 裕二	高千穂化学工業(株)	久保田 敏志	セントラル硝子(株)
標準ガス分科会長	吉見 武史	日本酸素JFP(株)	北村 龍介	高千穂化学工業(株)
	倉本 学	エア・リキード工業ガス(株)	山中 卓也	(株)レゾナック
	福原 尚登	日本エア・リキード(株)	鈴木 英	(株)トリケミカル研究所
	花本 貴彦	東亜合成(株)	川瀬 裕也	日本化学工業(株)
	奥山 高德	高圧ガス工業(株)	大野 達也	三井化学(株)
	池田 剛	高圧ガス工業(株)	上原 伸二	(一財)化学物質評価研究機構
	佐藤 寛之	関東電化工業(株)	事務局 長沢 修二	JIMGA
	市毛 健一	エア・ウォーター・エレクトロニクス(株)	山西 剛士	JIMGA
	西口 英明	住友精化(株)	前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

- 2025 年度は、以下の活動を行った。
- ・ 化学物質排出把握管理促進法（化管法）、労働安全衛生法、毒物および劇物取締法改正に対応する SDS の更新、理工系大学向け教育コンテンツ情報の最新化を行った。
 - ・ 規制改革案件「ホスフィンの充填率 UP」では充填率を増やした場合の安全性を確認するための検証実験実施のための体制作り、関係省庁との折衝を行った。
 - ・ 特別充填容器の再輸入の問題について調査した。

- 2026 年度は、以下の活動を行う。
- ・ 規制改革案件「ホスフィンの充填率 UP」のための実証実験を計画し、法改正に着手する。
 - ・ 特別充填容器の再輸入について実務上の問題の検証に着手する。
 - ・ JIS 改訂に伴う SDS 改訂に取り組む。



理工系大学向け教育コンテンツより



SDS モノシラン 2026年4月改訂版

医療専門委員会

役割

医療専門委員会は、現在4つの専門部会（医療技術部会、医療ガス製造・充填部会、医療ガス設備部会、在宅酸素部会）を下部組織に置き、医療ガス全般の諸課題（他の委員会管掌案件を除く）に関して統括対処するとともに、各部会の支援活動を継続していく組織である。各部会から上申された案件や、行政、関係学会等への対応といった対外的案件を審議し方針を決定する。

メンバー

委員長	鈴木 慶彦	鈴木商館(株)	須賀 雅弘	(株)サイサン
担当理事	田中 正人	帝人ファーマ(株)	北 政年	帝人ファーマ(株)
副委員長	古海 敏恵	日本酸素(株)	二本木 正志	(株)イワサワ
副委員長	瓦井 浩之	光酸素(株)	松岡 喜義	日本メガケア(株)
	福富 大介	(株)千代田	事務局 佐藤 寿郎	JIMGA
	藤谷 真穂	日本エア・リキード(同)	高平 進一	JIMGA
	杉田 裕之	エア・ウォーター(株)	新井 すみ代	JIMGA

<医療専門委員会 部会長>

医療技術部会	西本 敬輝	エア・ウォーター(株)
医療ガス製造・充填部会	竹内 弘次	日本酸素(株)
医療ガス設備部会	野崎 景仁	(株)セントラルユニ
在宅酸素部会	北 政年	帝人ファーマ(株)

■ 主な活動

1月、8月を除き毎月開催されている。各部会から提起された案件や行政、関係学会等との対外的案件を審議し方針を決定する。

2025年度は、以下のテーマを中心に活動した。

- ・医療ガス安全講習会（安全推進・事故防止を目的とした講習会。通称「草の根講習会」）開催支援（全国17会場）
- ・「医療用ガス&設備の自然災害対策の手引き」および「医療ガス・供給機器の取扱いについて」をもとに医療ガス安全講習会用の資料を作成し、標準化を図った。
- ・「ヒヤリ・ハット事例集（医療機関・介護施設編）」の改訂作業を支援した。
- ・医療用酸素のFRP容器：使用期限に関し、特別認可で15年を20年に延長できるよう経産省、高圧ガス保安協会に働きかけるとともに、会員企業の2社の特認取得を支援した。
- ・日本薬局方十九改正対応資料を厚労省に提示した。
- ・例年にならない「医療用酸素に関するアンケート」ならびに「在宅酸素療法機器加算に関するアンケート」を実施し、市場価格・サービス内容が診療報酬に正しく反映されているか調査を実施した。

2026年度は、引き続き以下のテーマを中心に活動する。

- ・教育事業委員会とともに医療ガス安全講習会の開催支援（全国20会場）
- ・事故防止を目的とした医療ガスの安全な取り扱い等に関する医療機関向けの啓発活動（日本医療ガス学会等の学術団体と協力）
- ・MGRの公的地位向上を目指し、地域本部と連携して都道府県への働きかけを継続

■ 2026年度活動スケジュール

7月、8月 「医療用酸素に関するアンケート」実施

6～3月 医療ガス安全講習会（通称：草の根講習会）開催（全国20会場）



医療専門委員会
医療技術部会

役割

医療ガスの技術全般を担当する部会である。本部会の役割は、以下のとおりである。

- (1) 医療ガス関連機器・設備等の取り扱い上、生産・流通・消費等に関する保守・技術の専門的な諸事項を扱う
- (2) 国内の関係基準等に関する主官庁（厚生労働省）との調整や建議、内容により医療専門委員会よりの依頼事項に関連する渉外事項を扱う
- (3) 医療関連の基準・図書等の技術的見地から内容審議および承認を行う
- (4) 国内外情報の収集分析ならびに各種講習会等への支援および医療事故防止の普及・指導を行う

メンバー

部会長	西本 敬輝	エア・ウォーター(株)	田邊 皓司	帝人ファーマ(株)
副部会長	岡村 和也	日本エア・リキード(同)	今野 浩司	(株)千代田
	岡本 剛	イワサワ(株)	間仲 真平	日本液炭(株)
	平尾 浩二郎	日本酸素(株)	安部 直敏	日本メガケア(株)
	吉川 周也	エア・ウォーター防災(株)		
	鈴木 義博	(株)小池メディカル	事務局 高平 進一	JIMGA
	西元 和隆	(株)セントラルユニ	前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、以下のテーマを中心に活動した。

- ・ 事故情報の収集と分析：事故情報の収集範囲を医療機関以外（老健・介護施設等）へ拡大し、外部機関との情報共有の仕組みを検討した。
- ・ 他団体との連携：容器検査所との連携強化を進め、全国高圧ガス容器検査協会の手順書改訂にも協力した。
- ・ 発行図書：「ヒヤリ・ハット集」改訂に向けた WG を設置し、新技術や最新事例を反映した。
- ・ 法令対応：日本薬局方十九改正への対応として、懸念事項の整理と行政指導内容の確認を行い、食添（二酸化炭素・亜酸化窒素）・外原規（窒素）の規格統一に向けた検討を進めた。
- ・ 化学物質管理：新たに化学物質として対象となった高圧ガスについて医療機関へ周知した。

医療用酸素の FRP 容器：使用期限に関し、特別認可で 15 年を 20 年に延長できるよう経産省、高圧ガス保安協会に働きかけ、会員企業の特認取得を支援した。

2026 年度も前年度と同様のテーマを中心に活動する。

- ・ 事故情報の収集と分析：事故情報収集を継続し運用体制を構築する。
- ・ 他団体との連携：全国高圧ガス検査協会の手順書改訂を支援する。
- ・ 発行図書：技術基準類・図書類の改訂は予定していないが、日本薬局方十九改正への対応として製造・充填部会と合同 WG を立ち上げ、会員企業への確実な周知と標準ガスの追補改訂を進める。
- ・ 法令対応：食添・外原規の規格統一検討を継続し、薬機法改正に伴う「安定供給体制確保のための手順書（医療用ガス版）」の検討も行う。

上記の他、規制改革委員会傘下の医療ガス WG に参画し、将来の医療ガスの在り方の技術面からの支援、医療関連文書改訂時の確認作業、EC サイトの継続監視、必要に応じて日本医療ガス学会等への協力を実施する。



医療専門委員会

医療ガス製造・充填部会

役割

酸素製造、亜酸化窒素、滅菌ガス、酸素充填、酸素容器・バルブの5分科会で構成し、役割は以下のとおりである。

- (1) 医療ガス製造・充填に関する専門的な安全指導等の諸事項
- (2) 医薬品・医療機器法および高圧ガス保安法等に関する主官庁との調整や建議、渉外等
- (3) 医薬品の品質基準を満たす各種医療用ガスの製造、安定供給のための基準類制定、改訂作業
- (4) 国内外情報の収集分析、各種講習会等への支援、医療事故防止の普及・指導

医薬品医療機器等法・高圧ガス保安法等に則り、安全かつ医薬品としての品質基準を満たした各種医療用ガスの製造や医療機関への安定供給のための基準類の制定ならびに啓発活動などを行う。

メンバー

部会長 竹内 弘次 日本酸素(株)

副部会長 森山 秀樹 岩谷産業

◇酸素製造分科会

分科会長 若山 義信 カンサン(株)

長谷川 正泰 小池酸素工業(株)

柿崎 幸一 (株)レゾナック・ガスプロダクツ

西 加奈子 東京ガスケミカル(株)

田中 一視 東邦アセチレン(株)

岡村 和也 日本エア・リキード(同)

西本 敬輝 エア・ウォーター(株)

◇亜酸化窒素分科会

分科会長 鈴木 義博 (株)小池メディカル

合田 教次 住友精化(株)

浪貝 光貴 日産化学(株)

◇滅菌ガス分科会

分科会長 坂本 貴史 日本液炭(株)

後関 議彰 (株)レゾナック・ガスプロダクツ

大森 実 (株)ステリテック

木村 哲朗 (株)巴商会

福原 洋行 (株)巴商会

菰田 敬幸 福岡酸素(株)

橋本 英貴 福岡酸素(株)

◇酸素充填分科会

分科会長 福世 国敏 (株)サイサン

市村 利三 市村酸素(株)

中田 尚宏 エア・ウォーター(株)

古賀 孝之 高圧ガス工業(株)

鈴木 宏之 (株)鈴木商館

米内 冠 日本酸素(株)

境 直忠 東邦アセチレン(株)

北原 英明 立川酸素(株)

瓦井 宏之 光酸素(株)

◇酸素容器・バルブ分科会

分科会長 飯島 孝文 (株)旭製作所

津久井 洋 (株)関東高圧容器製作所

吉田 隆 日本酸素(株)

谷口 誠 (株)ハマイ

事務局 長沢 修二 JIMGA

前田 和也 JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、以下のテーマを中心に活動した。

- ・ 過去文書の見直し、充填に係る基準をまとめた充填基準集の作成をした。
- ・ 滅菌ガスに関しては、自主計画が3年を迎えるにあたり、各社と協議の上、目標数値の再検討を行うとともに環境省研究会での発表をした。
- ・ 医療関連法規への対応として、日本薬局方第十九改正については厚労省薬事審議会への対応および関係規定（食添、外原規）の改正を検討した。FRP 容器使用期限延長に伴い、「使用期限表示の明確化」や「出荷可能な使用年数」表示ルールなどを定めた指針の検討をした。

2026 年度は、以下の活動を行う。

- ・ 改訂予定文書・基準類の更新事項の確認
- ・ 滅菌ガスの出荷量調査、大気排出抑制の自主計画の見直し、目標数値の再検討、環境省研究会での発表（予定）
- ・ 医療関連法規への継続対応として、システム適合性試験、標準ガスの適否、日局規格試験についての周知、標準ガスの追補の検討



医療専門委員会 医療ガス設備部会

役割

医療ガス設備の技術全般を担当する機関として、以下の役割を担う。

- (1) 医療ガス・配管・装置等の取り扱い上専門的な安全指導等の諸事項を扱う
- (2) 国内の関係基準等に関する主管庁との調整や建議、内容により医療専門委員会よりの依頼事項に関連する渉外事項を扱う
- (3) 医療ガス設備関連の書籍等改訂作業
- (4) 国内外情報の収集分析ならびに各種講習会等への支援および医療事故防止の普及・指導を行う

メンバー

部会長	野崎 景仁	(株)セントラルユニ
	吉川 周也	エア・ウォーター防災(株)
	矢野 健太郎	エア・ウォーター(株)
	小松 友彦	小松精機(株)
	西元 和隆	(株)セントラルユニ

	伊藤 学	日本酸素メディカルエンジ(株)
	吉田 隆	日本酸素(株)
	長島 健	(株)小池メディカル
事務局	長沢 修二	JIMGA
	前田 和也	JIMGA

■ 主な活動

2025 年度は、以下のテーマを中心に活動した。

- ・ 公共建築工事標準書（令和 7 年度）改訂への協力
- ・ 災害対策機能化WG に参画し、医療設備面から見た災害対策の検討、医療安全管理に関する冊子の作成・発行の検討
- ・ JIS T 7101 改定に係る情報の収集

2026 年度については、以下のテーマを中心に進める。

- ・ 昨年度検討した医療安全管理に関する冊子の発行
- ・ 医療機器センター主催の医療ガス安全管理者講習会への協力
- ・ 災害対策機能化 WG への継続的な参画



医療ガス設備 点検整備記録帳作成指針
2025年10月改訂版



医療専門委員会 在宅酸素部会

役割

酸素濃縮器分科会・液化酸素容器分科会・在宅サービス分科会の3分科会で構成されており、2003年9月に安全な在宅酸素療法（以下、HOTという）の実現をテーマに設立された。HOT患者は、2019年の15万人台から増加傾向で、2025年には20万人を超えた。

当部会にはHOTに携わる国内の機器メーカーとサービス事業者が加盟しており、安全の確保、業界基準の制定、行政への要望等の幅広い活動を行っている。

メンバー

部会長	北 政年	帝人ファーマ(株)	◇液化酸素分科会		
◇酸素濃縮器分科会			分科会長	近藤 奈央	日本酸素(株)
分科会長	北 政年	帝人ファーマ(株)	◇在宅サービス分科会		
	近藤 奈央	日本酸素(株)	分科会長	伊藤 光彦	日本メガケア(株)
	大内 輝彦	エア・ウォーター(株)		北 政年	帝人ファーマ(株)
	明山 耕太郎	ダイキン工業(株)		近藤 奈央	日本酸素(株)
	久末 泰史	(株)小池メディカル		後藤 達弘	OxyCare Japan(株)
	五味 昌浩	(株)フィリップス・ジャパン		辻 洋介	(株)星医療酸器
	高窪 昌幸	山陽電子工業(株)			
	力安 佑樹	フクダ電子(株)	事務局	田中 克幸	JIMGA
	増田 広樹	日本ルフト(株)		佐藤 寿郎	JIMGA

■ 主な活動

HOTにおける火気の取り扱いやHOT患者の火災事故情報を収集分析し、厚生労働省と共同で注意喚起を行ってきた。https://www.jimga.or.jp/files/page/hot/oyakudachi/HHN_jiko.pdf

2023年3月に発行した改訂版「緊急・災害対応体制の整備に関する手引書」JMG-HOT0003は、厚生労働省に認められ同省にも採用された。

2025年度は以下のテーマを中心に活動を行った。

- ・在宅酸素事業者向けの知識向上や最新情報の提供に取り組んだ。
 - 一在宅酸素事業者向けに定期勉強会の実施
 - 一医療関連サービス振興会の認定を受けた保守点検業務サービスマーク認定に係る講習会の実施
- ・HOT患者や医療従事者のニーズに寄り添ったサービス提供の推進に取り組んだ。
 - 一日本呼吸器学会等の関係学会や日本呼吸器障害者情報センター等の患者団体と連携
- ・JIMGAの取り組みと災害対策の周知活動を実施した。
 - 一関係学会や地域学術集会を通じた活動
 - 一火災予防キャンペーンの企画・実施
 - 一関係省庁と火災事故対策の啓発を実施
- ・発行物：HOT患者向けの公共交通機関利用ガイド「公共交通機関内における医療用酸素吸入について」を刷新し、ウェブサイトに掲載した。

2026年度については、前年度の活動の継続と以下の活動を行う。

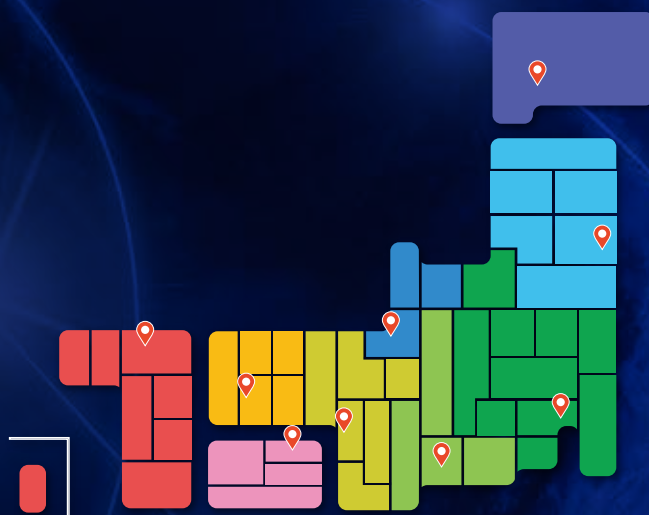
- ・災害対策WGの立ち上げおよび活動の開始



公共交通機関内における医療用酸素吸入について
令和8年4月改訂版

地域本部の活動報告

北海道地域本部	56
東北地域本部	62
関東地域本部	70
東海地域本部	79
北陸地域本部	87
近畿地域本部	92
中国地域本部	98
四国地域本部	108
九州地域本部	114



2026年7月1日現在の組織メンバーを記載していますが、7月1日以降の組織の新設やメンバーの交代が明らかな場合は、新設後、交代後の内容を記載しています。

北海道地域本部



1 役員一覧



地域本部長

遠藤 仁

エア・ウォーター産業・医療ガス(株)
代表取締役社長

■副地域本部長

田村 憲一 日本酸素北海道(株)
代表取締役社長

■幹事

斎藤 憲一 エア・ウォーター産業・医療ガス(株)
取締役医療事業部長

綿引 秀幸 函館酸素(株)
代表取締役社長

本間 鉄兵太 日本エア・リキード(同)
北日本支社長

藤田 直司 東邦アセチレン(株) 札幌営業所 所長 兼
東邦北海道(株) 代表取締役社長

遠藤 雅人 エア・ウォーター(株)
産業事業本部 産業ガス事業部 事業推進部
エアガスグループ 北海道リーダー

■会計監事

代表会計監事 鈴木 良順 フクダライフテック北海道(株)
代表取締役常務

井上 亮 日本酸素北海道(株)
取締役統括部長 製造・技術管掌

2 主な活動

2026年度は、近年相次ぐ自然災害や社会環境の変化を踏まえ、産業・医療ガスの安定供給と安全確保の重要性が一層高まる中、地域社会や医療現場を支える責務を改めて認識し、災害時においても持続可能な供給体制の強化に取り組みます。

特に、本州と陸続きでない北海道において、今後、半導体製造に必要な産業用ガスの海上輸送需要の増加が見込まれることを踏まえ、「港湾における高圧ガス取扱に関するガイドライン」に基づき、苫小牧港における高圧ガス取扱保安・安全管理基準の原案作成および安全管理組織の設置に向けた準備を重点的に進めています。

あわせて、港湾における関係者間の連携強化、役割分担の明確化、緊急時対応力の向上を図り、より実効性のある保安体制の構築を目指します。

また、自然災害への備えとして、輸送手段や緊急時対応の多様化・高度化を進めるとともに、法令改正や制度変更に対応した教育・講習の充実を図り、会員企業および関係者の安全意識と実務対応力の向上を支援します。

これらの取り組みを通じて、会員企業、医療現場、港湾関係者との連携を深め、地域社会を力強く支えるとともに、安定したガス供給と高い保安水準を両立する持続可能な体制の確立を目指します。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
4月21日～ 5月25日	第1回化学物質管理者講習	オンデマンド開催	労安法関連法規改正に伴い新たな化学物質規制に対応（会員・非会員対象）
5月18日	定時幹事会、定時総会	ANAクラウンプラザ札幌	事業報告、収支報告、予算（案）審議
5月20日	「医療ガス安全講習」講師研修会	オンライン開催	講師対象者の研修会
6月11日	北海道高圧ガス容器管理委員会定期理事会・定期総会	エア・ウォーターの森	事業報告、収支報告、予算（案）審議
6月30日	道南支部医療ガス安全講習	室蘭市民会館	医療ガスを取り扱う医療従事者向け研修会
7月1日～ 7月31日	第2回化学物質管理者講習	オンデマンド開催	労安法関連法規改正に伴い新たな化学物質規制に対応（会員・非会員対象）
7月22日	道東支部医療ガス安全講習	釧路生涯学習センター	医療ガスを取り扱う医療従事者向け研修会
9月1日	北海道 防災総合訓練	留萌振興局管内	災害対策本部・支部が連携し輸送訓練（陸・空・海）、HOT患者通報訓練実施
9月	定例報告会	オンライン開催	地域本部の活動報告・意見交換
9月	第3回化学物質管理者講習	オンデマンド開催	労安法関連法規改正に伴い新たな化学物質規制に対応（会員・非会員対象）
10月1日～ 10月31日	高圧ガス容器全国一斉特別回収運動	北海道内全域	放置容器撲滅・停滞容器発生防止、保安確保
11月11日	医療ガス安全講習	札幌市 かでの2.7	医療ガスを取り扱う医療従事者向け研修会
11月	保安セミナー	札幌市	会員事業者対象とした保安講習会
11月	秋季幹事会	オンライン開催	活動報告、収支報告
12月6日	2026年度MGR認定試験	札幌市 かでの2.7	MGR（医療ガス情報担当者）認定試験
2月	北海道地域本部 防災訓練	北海道全域	災害対策本部・支部間の初動対応訓練
2月	定例報告会	オンライン開催	地域本部の活動報告・意見交換
3月5日	2026年度MGR更新時集合講習	札幌市 かでの2.7	MGR資格認定者の更新時講習

北海道地域本部事務局長 細坪 幸男



北海道地域本部 災害対策部会

役割

地域の防災・医療機関や関連団体との協力体制を構築し、災害時の医療ガス供給体制の整備と連携強化を行います。また、事故・災害発生時に迅速な対応を可能とするためのマニュアルの整備と普及を進めるとともに、ビジネス継続計画に関する情報提供や、放置容器・停滞容器の発生を防止し保安確保と効率的運用を推進します。

メンバー

部会長	斎藤 憲一	エア・ウォーター産業・医療ガス(株)	楨原 利幸	フクダライフテック北海道(株)
委員	小林 大蔵	日本酸素北海道(株)	藤本 等	帝人ヘルスケア(株)
	綿引 秀幸	函館酸素(株)	押切 智	日本エア・リキード(同)
	高田 巧	エア・ウォーター産業・医療ガス(株)	遠藤 雅人	エア・ウォーター(株)
	三浦 基	東邦北海道(株)	三浦 克仁	高圧ガス工業(株)
	鈴木 秀一	(株)サンケミ	羽賀 潤一	エア・ウォーター・ライフソリューション(株)

■ 主な活動

- (1) 災害時における応急対策の策定と実行
 - ・災害時に迅速対応するための計画策定と手順確立
 - ・防災訓練や演習の実施とその成果の評価
 - ・災害時の連絡体制や情報共有体制の構築
- (2) 産業ガス・医療ガス供給安定化施策
 - ・供給ラインの整備と機能維持に向けた施策の検討と実施
 - ・サプライチェーンの強化とリスクマネジメントの改善
 - ・災害時の備蓄や配送ルート of 最適化と確保
- (3) BCP 対策の情報提供
 - ・従業員や関係者への BCP の重要性に関する啓発活動
 - ・BCP 講習会・セミナー等の学びの提供
- (4) 放置容器撲滅・停滞容器発生防止による保安確保と効率運用推進
 - ・放置容器の特定と回収活動の実施
 - ・停滞容器の原因調査、改善策提案
 - ・容器保安基準遵守、効率的運用促進

■ 2026年度活動スケジュール

9月1日	北海道防災総合訓練	留萌振興局管内 (旭川駐屯地、留萌市、増毛漁港、 雄冬漁港)	①自衛隊と連携しヘリによる空輸訓練 ②海保と連携し巡視艇による海上輸送訓練 ③在宅酸素療法患者に対する安否確認
9月11日	地域防災協議会 防災訓練視察	帯広市北愛国交流広場	高圧ガスの輸送途上における災害事故を想定した訓練の視察
10月	高圧ガス容器全国一斉特別回収運動	北海道全域	長期停滞・放置・不明容器の回収推進
2月	北海道地域本部防災訓練	北海道全域	e-mail、SNSを活用し災害対策本部・会員 各社間の災害発生時初動対応訓練

■ 2025年度活動事例 北海道防災総合訓練



①医療用酸素ガスを丘珠駐屯地ヘリポート
へ輸送



②丘珠→倶知安駐屯地まで空輸された酸素
ボンベの受け入れ準備



③倶知安駐屯地→共和町避難所へ酸素ボンベ
陸送



④倶知安駐屯地→島牧村避難所へ酸素ボンベ
陸送

北海道地域本部 教育事業部会

役割

地域の安全教育イベントの開催、定期的な安全講習会やトレーニングプログラムの実施、および医療ガスの取り扱いにおける専門家の育成プログラムの充実を図ります。また、環境保全と事故防止対策の推進を行います。

メンバー

部会長	高田 巧	エア・ウォーター産業・医療ガス(株)
委員	井上 亮	日本酸素北海道(株)
	綿引 秀幸	函館酸素(株)
	三浦 良	エア・ウォーター産業・医療ガス(株)
	三浦 基	東邦北海道(株)
	鈴木 秀一	(株)サンケミ

楨原 利幸	フクダライフテック北海道(株)
藤本 等	帝人ヘルスケア(株)
本間 鉄兵太	日本エア・リキード(同)
遠藤 雅人	エア・ウォーター(株)
三浦 克仁	高圧ガス工業(株)
羽賀 潤一	エア・ウォーター・ライフソリューション(株)

■ 主な活動

- (1) 産業・医療ガスに関する専門教育および安全教育
 - ・新入社員や従業員向けにガス取り扱いの専門知識や関連機器の安全な操作手順に関する教育プログラムの提供
 - ・医療従事者向けに、医療ガスの適切な取り扱いと安全確保に関する講習会を開催
- (2) 安全教育資料の作成・提供
 - ・ガスの安全な取り扱いや災害時対応方法に関する資料やマニュアルを作成・配布
 - ・オンラインセミナーを活用し、安全教育資料の普及と利用促進を図る
- (3) 環境保全・事故防止対策の推進
 - ・ガス排出や廃棄物処理に関する環境保全活動の啓発・実践
 - ・安全機器や防護具の適切な使用方法について指導・普及活動を実施

■ 2026年度活動スケジュール

4月～	化学物質管理者講習	オンデマンド開催	労安法関連法規改正に伴う新たな化学物質規制対応
5・6月	医療ガス安全講習講師養成研修	オンライン開催	講師対象者の研修／予行演習
5・6・11月	医療ガス安全講習開催	道南・道東・道央支部開催	医療従事者向け講習
11月	保安セミナー開催	札幌市	会員事業者を対象とした保安講習会
12月	MGR認定試験	札幌市 かでの2.7	MGR（医療ガス情報担当者）認定試験
3月	MGR更新時集合講習	札幌市 かでの2.7	MGR資格認定者の更新時講習

■ 2025年度 医療ガス安全講習会活動事例



①道央支部長開会挨拶



②道東支部受講風景



③酸素容器と調整器取り扱い説明



④LN₂による液体空気の製造

北海道地域本部 規制改革部会

役割

規制改革案の企画立案を推進するとともに、産業ガス・医療ガスの規制改革に関する会員情報を収集し、調査・検討を実施します。

メンバー

部会長	田村 憲一	日本酸素北海道(株)	綿引 秀幸	函館酸素(株)
委員	高田 巧	エア・ウォーター産業・医療ガス(株)	本間 鉄兵太	日本エア・リキード(同)
	真田 一実	(株)サンケミ	三浦 基	東邦北海道(株)
	楨原 利幸	フクダライフテック北海道(株)	遠藤 雅人	エア・ウォーター(株)
	藤本 等	帝人ヘルスケア(株)	三浦 克仁	高圧ガス工業(株)

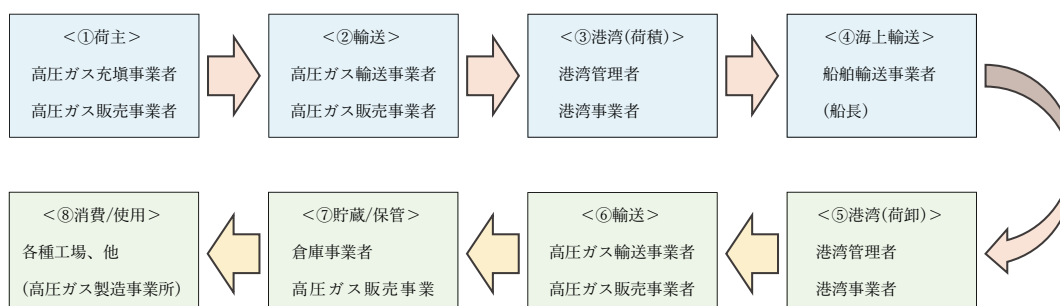
■ 主な活動

- 法規制改革・緩和の提案活動
 - 産業ガス・医療ガス関連法規制への改善提案
 - 改革・緩和案の具体的内容や必要性を調査・分析
- 港湾地域における高圧ガス取扱体制整備・運用に向けた支援
 - 規制緩和に向けたガイドライン立案および提案書作成
 - 実施に向けたステークホルダー協議・交渉
 - 規制改革・緩和に関する情報収集・調査

■ 2026年度活動スケジュール

5月19日	第1回原案作成部会	北海道地域本部事務局	取扱基準及び協議会組織設立ミーティング
6月12日	官公庁との意見交換	北海道庁	「港湾における高圧ガス取扱に関するガイドライン」確定版報告
6月18日	第2回原案作成部会	北海道地域本部事務局	地域との調整上の問題提起／ガス事業者と港湾関係者の役割
7月27日	第3回原案作成部会	苫小牧	取扱基準（案）、安全管理組織（案）協議
8月初旬	温度上昇防止対策検証	苫小牧東港コンテナヤード	港湾留置コンテナの温度上昇推移を確認
10月以降	官公庁との意見交換	北海道庁	安全管理組織、取扱基準、温度上昇推移エビデンス検証

■ 海上輸送における高圧ガス / コンテナ取り扱いの流れ



東北地域本部



1 役員一覧



地域本部長

井上 伸一

日本酸素(株)
理事 東北支社長

■副地域本部長

笠井 健 北良(株) 代表取締役社長

中村 盛明 エア・ウォーター東日本(株)
東北支社長

大上 譲二 東邦アセチレン(株)
代表取締役専務執行役員

■幹事

(青森県支部長) 葛西 信二	(株)東酸 取締役会長	(福島県支部長) 渡辺 明宏	(株)郡山酸素商会 専務取締役
(秋田県支部長) 相場 栄利	(株)相場商店 代表取締役社長	本間 鉄兵太	日本エア・リキード(同) 北日本支社長
(岩手県支部長) 笠井 健	北良(株) 代表取締役社長	伊藤 文彦	第一開明(株) 代表取締役社長
(宮城県支部長) 荒川 元一	(株)荒川七衛商店 代表取締役社長	立谷 保	高圧ガス工業(株) 執行役員東北地区長
(山形県支部長) 島津 康	山形酸素(株) 代表取締役社長	多田 明彦	岩谷産業(株) 仙台支店長

■会計監事

伊藤 武彦	カガク興商(株) 代表取締役社長	長明 恵	日本液炭(株) 東北支社長
熊谷 孝嘉	岩手工業(株) 代表取締役社長		

■地域代表理事

笠井 健 北良(株)
代表取締役社長

2 主な活動

1) 諸活動の推進

前年度は新会費制度での出発年度となりましたが、JIMGAの価値を再度確認いただいた上で会員数119の地域本部として新たなスタートを切りました。これもひとえに幹事会社をはじめとした会員の皆さまのお陰であり、感謝申し上げます。講習会については、技術保安セミナー、医療ガス安全講習会（岩手県、山形県、秋田県）を開催して好評を得ることができました。また部会活動も、第2年次となった草の根講習会WGをはじめ、技術保安部会、炭酸ガス技術WGも予定どおり開催し、特に技術保安部会では新しい化学物質管理者制度の知識共有に役立ちました。

今年度も前年度に引き続き講習会、セミナー等の安定的運営が目標となります。高圧ガス保安セミナー、医療ガス安全講習会（宮城県、福島県、青森県）を開催し、計画がなかった題材でも、ニーズが出た際には迅速な対応を心掛けて、2026年度の活動を推進します。また部会活動においても更なる充実を期して前年同様の機動力で推進したいと思います。

2) 保安対策の推進

高圧ガス保安法・薬機法をはじめ、関連法規や協会自主基準などの周知、迅速な情報提供・事故情報の共有等をととして安全の確保を目標に活動していきます。化学物質管理者の選任にかかる法改正対応については本部と連携し、ユーザーニーズに応えるべく活動していきます。

昨年東京都内で起きたアセチレン容器爆発事故を踏まえ、放置容器・所有者不明容器の返却や処分が重要なテーマとなっています。事故直後は放置容器通報も活発になりましたが、1年が経過して低迷している感がありますので、10月の高圧ガス容器回収強化月間を活用した新たな仕掛け作りを模索します。また通報に対する真摯な対応はもちろんのことですが、放置容器を出さない体制づくりとして諸講習会で各県の容器管理指針の伝達等を行い、容器所有者への有期返還を要望していきます。東北高圧ガス容器管理委員会やその各県支部、東北六県高圧ガス保安協議会と連携、情報交換をすることで、横断的に不明容器、放置容器を出さ

ない体制を模索し、啓発を含めた活動をしていきます。

対面での医療ガス安全講習会は、本年度、宮城、福島、青森の3県の開催となります。昨年度から始めた災害対策の講義を本年度も継続し、医療ガス、在宅医療機器との3部構成で開催します。

3) 地域本部部会活動

本部の各部会と連携し、地域本部会員および消費者の知識習得や保安管理技術向上のため活動します。

技術保安部会で保安・災害対策・規制緩和を一手に担う形態に変更しましたが、組織のスリム化のメリットを最大限生かせるよう運営します。また本年度は久しく実施していなかった工場見学会などを企画し、活動します。また、2024年元日の能登半島地震や、東北地方太平洋側で比較的規模の大きな地震が相次いでいることから、継続して災害対策をテーマに活動します。2011年の東日本大震災で得た教訓に加え、本部発信の諸情報を活用して推進します。

2024年に、草の根講習会（医療ガス安全講習会）講師によるWGを発足しました。将来的にはWGにて東北版の講習会資料作成等を目指し活動を行います。

4) 関係官庁・団体との連携強化と災害対策の推進

各県の高圧ガス担当部署・薬事担当部署や経済産業省 関東東北産業保安監督部よりご指導いただき、また高圧ガス保安協会・全溶連・東北六県高圧ガス保安協議会・各県保安団体との連携を密にして、事故防止・災害対策を推進します。医療ガスに関しては各県支部にて、当該県と災害時の支援協定を締結しています。

鳥インフルエンザ対応につき、資機材の保有等で行政との具体的な調整を進めます。また固定の会社頼みである運搬、容器供給などを行政と協議の上で役割分担等を適正化し、負担の分散を実現できるよう行動します。

MGR資格所有者の医療ガス販売主任者認定につき、行政へ働きかけ、資格の有用性向上に努めます。

宮城県と福島県では毎年1回、地震発生を想定した医療用酸素ガスを中心とする緊急支援訓練（FAXによる連絡体制訓練）を実施しています。当該訓練ではひと

りでも多くの人命をつなぐため、早く、効率的な供給体制の構築を心がけています。また訓練の所要時間や内容は県業務課へ報告しています。今年度は本件を他県の行事に広げる活動も必要と考えています。

災害時に有効な「緊急通行車両届出制度」については、地域本部構成員登録増とともに、新たなPRを展開し、会員の皆様からの要請に基づき車両登録をしています。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
5月8日	JIMGA東北合同幹事会	ホテルメトロポリタン仙台	
5月19日	JIMGA東北合同定時総会	ホテルメトロポリタン仙台	
11月16日	JIMGA会長懇談会	ホテルメトロポリタン仙台	
1月	正副本部長会議	未定	

東北地域本部事務局長 新堀 英之



東北地域本部 支部

役割

東北地域本部では東北 6 県に支部を配置し、薬機法や高圧ガス保安法の周知、MGR 制度の認知活動および各県における資格保有者の事業所販売主任者認定、また災害時の医療ガス供給体制維持・保安教育活動などのテーマについて各それぞれの支部で取り組んでいます。

メンバー

青森県支部長	葛西 信二	(株)東酸	宮城県支部長	荒川 元一	(株)荒川七衛商店
秋田県支部長	相場 栄利	(株)相場商店	山形県支部長	島津 康	山形酸素(株)
岩手県支部長	笠井 健	北良(株)	福島県支部長	渡辺 明宏	(株)郡山酸素商会

■ 主な活動

医療ガス安全講習会（草の根講習会）を各県で隔年開催しています。2025 年度は、岩手県、山形県、秋田県にて、JIMGA 発行の「医療用ガス&設備の自然災害対策の手引き」を基にした災害対策関連講義を新たに加えて開催しました。岩手県会場では、支部の発案で遠隔地消費者にご参加いただくため、盛岡市の会場からオンラインでの配信を試みました。講習会会場では、MGR 制度のパンフレットを配布して PR 活動を継続しています。また、JIMGA 等で作成した医療ガス安全教材動画の視聴も広く呼びかけています。

2026 年度は福島県、宮城県、青森県の 3 県にて講習会を開催いたします。

東北地域本部では、草の根講習会 WG を 2024 年に立ち上げました。2026 年 3 月には全県の選任講師にご参集いただき、2026 年度開催に向けた学習会を行いました。草の根講習会は JIMGA 地域本部活動の重要な柱の一つと捉えており、東北地域本部では今後も注力していきます。

2025 年度医療ガス安全講習会（草の根講習会）

- ・岩手県医療ガス安全講習会：参加人数 31 名（盛岡市内）8 月 27 日
- ・山形県医療ガス安全講習会：参加人数 52 名（山形市内）9 月 24 日
- ・秋田県医療ガス安全講習会：参加人数 30 名（秋田市内）10 月 16 日

■ 2026年度活動スケジュール

6月25日	宮城県支部医療ガス安全講習会	仙都会館
7月24日	福島県支部医療ガス安全講習会	ふくしま医療機器開発支援センター
9月7日	青森県支部医療ガス安全講習会	青森県観光物産館アスパム



岩手県支部医療ガス安全講習会
医療ガス講義パート
(2025年8月27日)



山形県支部医療ガス安全講習会
実機説明パート
(2025年9月24日)



秋田県支部医療ガス安全講習会
在宅酸素講義パート
(2025年10月16日)

東北地域本部 技術保安部会

役割

保安教育企画全般と技術検討を担当する部会です。「高圧ガス保安セミナー」における保安教育の企画を行い、年に一度の講習会を開催しています。部会のテーマとして、保安、災害対策、規制緩和を包括して扱い、地域本部の重要部会として機能します。

また、高圧ガス保安セミナーではJIMGA 講習テーマに加えて地域独自のテーマも設定しています。講習内容の検討会では受講者の目線でテーマ選定を行い、理解度をより深めるべく現物展示なども行っています。

メンバー

部会長	近江 利行	日本酸素(株)	飛沢 証	(株)いわき共同ガスセンター
	玉井 義明	太平熔材(株)	大鹿 弘明	日本液炭(株)
	笠井 秀一	仙台アセチレン(株)	工藤 智久	北日本アセチレン(株)
	今西 俊文	山形液酸(株)	村上 晃也	岩手工業(株)
	藤川 健二	(株)福島共同ガスセンター	藤田 敦	(株)東酸
	吉村 雄介	エア・ウォーター東日本(株)	我妻 翔	東邦アセチレン(株)

■ 主な活動

2025年7月7日にJIMGA 東北事務所にて2025年度第1回部会を、2026年2月17日にはTKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口にて第2回部会を開催しました。部会では、都内のアセチレン爆発事故を受けた放置不明容器の処理実情の共有や、翌年度に控えた化学物質管理の法改正等への対応の整理を行いました。また下記科目で2025年度技術保安セミナーを2月17日に開催しました。

- 1) 安全統計資料ヒヤリハット・事故事例から学ぶ (50分)
- 2) 医療ガス・供給機器の取扱いについて (50分)
- 3) 高圧ガス事故事例解説 (50分)

※ 28 名の方々に参加いただきました。

■ 2026年度活動スケジュール

- 11月 2026年度第1回技術保安部会（工場見学会）
- 2月 2026年度第2回技術保安部会（技術保安セミナーと同日開催）



2025年度第2回技術保安部会開催
(2026年2月17日)

東北地域本部

技術保安部会 草の根講習会WG

役割

JIMGA 機能別組織への再編時に新たに設立した部会です。医療ガス安全講習会（草の根講習会）はお陰をもちまして地域の医療現場に浸透し、各県の開催時にはほぼ定員を満たす程ご参加いただいています。

これまで、各県の草の根講習講師陣はお互いに顔を合わせることなく活動してきましたが、情報交換や相互の研鑽を目的とした場が必要と考え、2024年に草の根講習WGを発足しました。2025年度は3月17日に2026年度講習開催内容の確認等を目的にWGを開始し、前年（発足初年度）は開催予定県の講師のみの参集でしたが、全メンバーに声掛けして参集いただきました、開催形式や内容等まだまだ思考余地がありますが、WG発展のために事務局も知恵を出して支援を行う決意です。

メンバー

委員所属会社 北良(株)
(株)相場商店
山形酸素(株)
日本酸素(株)

エア・ウォーター東日本(株)
東邦アセチレン(株)
(株)小池メディカル

■ 主な活動

2026年3月17日、JIMGA 東北事務所において2025年度「草の根講習会ワーキンググループ (WG)」を開催しました。2年目となる今回は東北各県の講師への参加を呼びかけて実施しました。事務局にて集約した、直近数年間の草の根講習会参加者アンケートを、参加者から高く評価された点や改善要望について共有しました。その上で、2026年度に講習会開催を予定している宮城県、福島県、青森県の担当講師の皆様には、講習資料の見直しや内容の充実について協力をお願いしました。

また、講師からは講習資料作成に関する情報や参考資料が不足しているとの意見も寄せられたことから、必要な情報や支援内容について意見交換を行い、JIMGA 本部の協力も得ながら資料提供や情報共有を進めていくことを確認しました。

さらに、当日はJIMGA 本部の医療ガス担当者も参加し、2026年度講習会において取り上げるべき内容や重点事項について意見交換を行いました。活発な議論を通じて今後の講習会運営の方向性を共有し、WGを終了しました。

■ 2026年度活動スケジュール

3月 2026年度草の根講習会WG

JIMGA東北事務所

東北地域本部

技術保安部会 炭酸ガス技術WG

役割

産業ガスのなかでも独特な物性を持ち、かつ広く使用されている炭酸ガスの事故防止を目的に活動しています。3年に1度の保安講習会を開催しています。供給メーカーで構成する部会として、多方面に渡る法規制等に関する知識の吸収を活動目標として運営しています。

メンバー

WG長	大鹿 弘明	日本液炭(株)	名取 大輔	高圧ガス工業(株)
委員	馬場 剛	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)	大宮 正也	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
	土方 和憲	岩谷産業(株)		

■ 主な活動

2025年度は、2025年11月27日にJIMGA東北事務所にて炭酸ガス技術WGを開催しました。内容は下記の通りです。

(1) 第21回炭酸ガス保安講習会テーマ（2027年度開催に向け）

用途別（溶接や食添など）の切口での講義はどうかななどの意見あり。オーソドックスな内容も重要。

(2) 鳥インフルエンザ対応報告

東北地区の最新の鳥インフルエンザ対応を紹介し、知見を共有。

（殺処分委託とコンテナハウスについて）

(3) 情報交換

本部より炭酸ガス規制緩和に関して紹介があった。

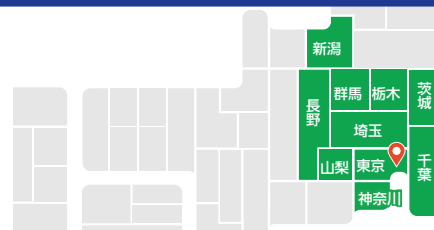
■ 2026年度活動スケジュール

11月

2026年度炭酸ガス技術WG

JIMGA東北事務所

関東地域本部



1 役員一覧



地域本部長

岩澤 昌之

(株)イワサワ
代表取締役社長

■副地域本部長

堀口 吉彦	カンサン(株) 代表取締役専務	武 浩一	日本酸素(株) 執行役員 関東支社長
松岡 喜義	日本メガケア(株) 代表取締役社長	安部 悟	高圧ガス工業(株) 執行役員 関東地区長

■幹事

荒 隆一郎	(株)カネコ商会 代表取締役社長	河内 信明	日東物産(株) 代表取締役
石川 英紀	ユニオンメディカル(株) 代表取締役	小林 雅人	(株)レゾナック・ガスプロダクツ 経営企画部
市村 博	市村酸素(株) 代表取締役会長	笹島 一恭	小池酸素工業(株) 関東支社 支社長
稲松 優	(株)鈴木商館 営業本部 部長	武石 浩一	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株) 炭酸事業部 部長
岡本 峰春	岩谷産業(株) 常務執行役員 首都圏支社長	野口 博一	岡谷酸素(株) 代表取締役社長
河西 紀男	(株)渡商会 代表取締役社長 兼 CEO	長谷川 真	日本酸素東関東(株) 代表取締役社長
河上 浩	(株)千代田 代表取締役社長	廣澤 徳幸	岩谷瓦斯(株) 生産本部 関東エリア担当 上級理事
川本 知彦	(株)サイサン 代表取締役社長	星 幸男	(株)星医療酸器 代表取締役社長
瓦井 浩之	光酸素(株) 代表取締役社長	村山 高	(株)小池メディカル 取締役 営業管理部長・ASEAN推進室長
菅野 裕	日本エア・リキード(同) 京浜支社長	目崎 洋平	帝人ヘルスケア(株) 業務推進部 部長
黒澤 知広	日本液炭(株) 執行役員 関東支社長	柳川 隆則	(株)宝山産業 代表取締役社長

■会計監事

代表	簗口 基治	(株)世田谷酸素商事 代表取締役
	西田 猛志	エア・ウォーター東日本(株) 取締役産業事業部長 兼 関東支社長

2 主な活動

JIMGA定款第3条および4条に定める目的および事業を受け、地域における環境・安全・保安・技術に関して、JIMGA本部と連携し、地域本部の会員・消費者の方々に対する周知徹底と教育・広報・情報の収集を行うことを最重要課題として活動しています。

JIMGA本部と協力しながら、会員の構成員事業所や、高圧ガス取扱者ならびに医療機関や医療関連施設なども含む高圧ガス消費者などを対象として、各種講習会やセミナーを開催し、高圧ガスに関連する知識習熟や保安意識の向上および自主保安の拡充ならびに事故発生防止に努めています。また、都や県など自治体の防災訓練や東京都との緊急通信訓練などに、各支部を中

心として参加し、災害発生時に対応できるよう備えます。同時に、支部を窓口とするJIMGA内の連絡体制の整備と、支部・地域本部・JIMGA本部の役割分担の明確化と認識を共有し、大規模災害時に機能できる体制の構築と、自治体との連携強化に努めます。

また、法改正による新たな対応が必要となる場合、セミナー等を準備することで、構成員事業所の法令順守ならびに保安活動をサポートできるよう努めてまいります。さらに、MGRを医療ガス販売管理者資格要件として認めてもらうための働きかけや、広域災害時の対応整備、放置容器等の対応共有による安全確保などにも取り組みます。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
4月21日	第1回幹事会	芝パークホテル	定時地域総会への上程議案確認と決議
5月22日	関東地域本部 定時地域総会	芝パークホテル	議案審議、採決
7月16日	医療ガス安全講習会（東京都23区）	板橋区立文化会館	医療従事者を中心とする医療ガス取扱者向け
7月23日～24日	MGR導入時集合講習	AP浜松町	医療ガス販売事業所従事者向け
7月29日	高圧ガス保安セミナー	東京都立産業貿易センター浜松町館	地域構成員向けセミナーの開催
9月16日	医療ガス安全講習会（東京都多摩地区）	立川市女性総合センター	医療従事者を中心とする医療ガス取扱者向け
10月21日	医療ガス安全講習会（新潟県）	新潟ユニゾンプラザ	医療従事者を中心とする医療ガス取扱者向け
10月22日	第2回幹事会・会長懇談会	芝パークホテル	上期事業実績および下期事業予定報告
11月18日	医療ガス安全講習会（群馬県）	群馬県公社総合ビル	医療従事者を中心とする医療ガス取扱者向け
12月6日	MGR認定試験	AP浜松町	全国一斉実施
2027年1月20日	関東地域本部 新年賀詞交歓会	芝パークホテル	関東地域 構成員事業所の交流
1月22日	MGR更新時集合講習（関東①）	AP浜松町	MGR資格保有者向け
2月10日	MGR更新時集合講習（関東②）	AP浜松町	MGR資格保有者向け
3月3日	初級保安講習会	東京都立産業貿易センター浜松町館	地域構成員事業所（一般高圧ガス取扱事業者）従事者向け



令和8年 新年賀詞交歓会

関東地域本部事務局長 村上 良二



関東地域本部 支部

役割

1都9県に11支部を配し、コロナ禍中断前までは4年毎であった「医療ガス安全講習会」の開催を3年毎に短縮し、医療ガス消費現場での事故防止のための草の根活動を強化します。

各都県と締結している「災害時協定」に基づきマニュアル整備を行い、自治体窓口との定期的な情報共有活動や、防災訓練への参加などにより、災害時対応に備えた体制を整備していきます。また、大規模・広域な災害に備えるための体制と役割分担などについて、地域本部やJIMGA災害対策委員会等との連携強化を図るための活動にも取り組んでいきます。

メンバー

新潟県支部長	荒 隆一郎	(株)カネコ商会
栃木県支部長	瓦井 浩之	光酸素(株)
群馬県支部長	堀口 吉彦	カンサン(株)
長野県支部長	野口 博一	岡谷酸素(株)
茨城県支部長	長谷川 真	日本酸素東関東(株)
埼玉県支部長	川本 知彦	(株)サイサン

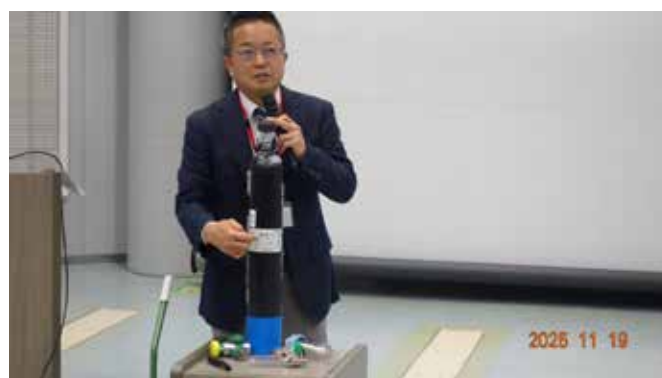
山梨県支部長	河内 信明	日東物産(株)
千葉県支部長	松岡 喜義	日本メガケア(株)
東京都23区支部長	松岡 喜義	日本メガケア(株)
東京都多摩地区支部長	市村 博	市村酸素(株)
神奈川県支部長	岩澤 昌之	(株)イワサワ

■ 主な活動

- (1) 医療ガス安全講習会（草の根講習会）：各支部3年毎に、医療従事者を中心とする医療ガス取扱者への医療ガス安全管理通知の周知、医療ガス基礎知識および取り扱い注意事項や保安意識の向上を目的とし、開催・運営します。
- (2) 各都県との災害時協定に基づく体制やマニュアル等を整備します。
- (3) 各都県および市町村合同など、自治体での防災訓練へ参加し災害時に備えます。
- (4) 緊急通行車両確認証明書と標章の交付等は、各都県により対応が異なります。東京都への申請は、JIMGA関東地域本部が窓口となり行っています。
- (5) 地域本部を通じJIMGA災害対策委員などと連携を取れる体制を維持します。



医療ガス安全講習会（神奈川県）2025年



医療ガス安全講習会（長野県）2025年

関東地域本部

技術保安部会 エア・ガス技術G

役割

会員、委員の技術知識向上のため、会議、研修会、見学会等を行い、研鑽を深めます。また、本部の規制改革委員会の活動と連携の取れる体制を維持します。

構成員事業所の若手従事者や日頃高圧ガスに触れる機会の少ない管理関係の方々などを対象とした「初級保安講習会」を毎年開催し、高圧ガスに関する基礎的な知識や取り扱い注意事項の習得と保安意識の向上の場を提供しています。

メンバー

グループ長 森 洋之介	岩谷産業(株)
副グループ長 吉岡 正弘	エア・ウォーター東日本(株)
荻上 仁	日本酸素(株)
島崎 洋一	東京ガスケミカル(株)
膳瀬 雄司	日本エア・リキード(同)

塚田 幹太	日本酸素東関東(株)
長谷川 正泰	小池酸素工業(株)
松尾 真道	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
宮嶋 章	カンサン(株)

■ 主な活動

2009年度から「初級保安講習会」の開催を始め、独自に作成・ブラッシュアップした資料をもとに、構成員事業所の従事者を対象に開催しています。2025年度の受講者数は100名を超え、新入社員・ベテラン社員・工場関係者・事務職等のあらゆる部門・階層の方々に

高圧ガスの基礎知識・保安の基礎・事事故例をメインとした、わかりやすい内容の講習を心掛けています。また、法改正にも対応した最新の情報を提供しています。



初級保安講習会（2026年2月）

関東地域本部

技術保安部会 溶解アセチレン技術G

役割

本部の溶解アセチレン技術部会と連携し、構成員事業所へ技術・保安に関する情報を提供することで、構成員事業所の技術向上に努めます。また、会議、研修会、見学会等を行い、メンバーの研鑽を深めています。さらに、本部の規制改革委員会の活動と連携の取れる体制を維持します。

メンバー

グループ長 萬 英司	高圧ガス工業(株)
副グループ長 長谷川 正泰	小池酸素工業(株)
安部 剛史	日本酸素(株)
石坂 英一	関東アセチレン工業(株)
井上 敏廣	東京高圧山崎(株)
今井 克彦	東日本イワタニガス(株)

勝亦 朋之	(株)鈴木商館
川上 庄志	栃木共同アセチレン(株)
河原 大宙	岩谷産業(株)
川人 政男	東日本高圧(株)
松本 淳	田邊工業(株)
吉田 智徳	相模アセチレン(株)

■ 主な活動

本部の産業専門委員会と連携し、毎年、会員のニーズに合った題材で「高圧ガス保安セミナー」を開催し、構成員事業所の技術向上と保安意識の向上を図ります。



高圧ガス保安セミナー（2025年7月）

関東地域本部

技術保安部会 炭酸ガス技術G

役割

本部の炭酸ガス技術部会と連携し、構成員事業所へ技術・保安に関する情報を提供し、構成員事業所の技術向上に努めます。また、会議・研修会・見学会等を行いメンバーの研鑽を深めています。さらに、本部の規制改革委員会の活動と連携の取れる体制を維持します。

メンバー

グループ長 菊池 幹夫	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)	三浦 高史	高圧ガス工業(株)
副グループ長 永沢 良	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	柳澤 十	上毛天然瓦斯工業(株)
河原 大宙	岩谷産業(株)	柳本 稔	東京ガスケミカル(株)
鈴木 貴志	日本液炭(株)		

■ 主な活動

本部の産業専門委員会の協力を得て、炭酸ガス保安講習会※を3年毎に開催します。

※炭酸ガス保安講習会は、炭酸ガスの専門団体が1970年に第1回を行い、以後3年に1回を目安に開催、現在までに20回を数える歴史ある講習会です。2025年度から、対面開催しない年はオンデマンド講習が行われています。

関東地域本部

技術保安部会 水素技術G

役割

本部の水素技術部会と連携して、構成員事業所へ技術・保安に関する情報を提供することで、構成員事業所の技術知識向上に努めます。また、会議、研修会、見学会を行いメンバーの研鑽を深めています。さらに、本部の規制改革委員会の活動と連携の取れる体制を維持します。

メンバー

グループ長	岩田 保夫	岩谷瓦斯(株)	荻上 仁	日本酸素(株)
副グループ長	松尾 真道	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	澤田 庸介	丸由工材(株)
	相澤 武広	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)	清水 正樹	(株)渡商会
	榎本 陽平	新潟水素(株)	竹下 賢	エア・ウォーター東日本(株)
	大山 裕之	(株)鈴木商館	森 洋之介	岩谷産業(株)

関東地域本部 充填保安部会

役割

本部の産業専門委員会と連携し、技術・保安に関する情報を部会メンバーで共有しています。公共の安全を守るための自己責任による自主保安体制の確立により、構成員事業所一丸となって事故発生防止に努めています。

本部の災害対策委員会の活動と連携の取れる体制を維持し、本部の放置容器対策部会と連携して、容器管理指針の活用および周知徹底により、放置容器、不明容器、長期停滞容器の撲滅を目指します。

メンバー

部会長	青木 政弘	岡谷酸素(株)	小島 伸一	北関東東洋(株)
副部会長	市村 博	市村酸素(株)	酒井 隆光	東京酸素(株)
副部会長	稲松 優	(株)鈴木商館	島田 隆昭	(株)シマキュウ
副部会長	柳川 隆則	(株)宝山産業	清水 正樹	(株)渡商会
	相川 浩二	日東物産(株)	田邊 英	田邊工業(株)
	麻原 偉之	東京高圧山崎(株)	松田 昌浩	KGKサービス(株)
	安部 悟	東洋高圧ガス(株)	永井 道生	(株)ザ・トーカイ
	荒 隆一郎	(株)カネコ商会	長谷川 繁則	城南共同酸素(株)
	荒井 誠樹	カンサン(株)	星野 雅道	(株)サイサン
	新井 孝幸	川口総合ガスセンター(株)	松谷 厚雄	関東酸素工業(株)
	有岡 雅紀	相模アセチレン(株)	宮原 英嘉	宮原酸素(株)
	石川 邦彦	日本酸素東関東(株)	村田 義光	(株)市川総合ガスセンター
	伊藤 勉	東日本イワタニガス(株)	茂垣 行雄	(株)星医療酸器
	今井 智仁	東海溶材(株)	八尋 雄三	東横化学(株)
	大竹 勇伸	埼玉日酸(株)	万木 啓司	城東日酸(株)
	緒方 大樹	伊藤忠工業ガス(株)	吉田 昌平	ヨシダ高圧(株)
	鴨川 俊次	東邦酸素工業(株)	和知 紀秀	北関東日酸(株)
	瓦井 浩之	光酸素(株)		

■ 主な活動

- ・ 容器管理指針の活用と周知徹底
- ・ 放置容器、不明容器、長期停滞容器の撲滅
- ・ 事故情報等の共有

関東地域本部

充填保安部会 地区代表者会

役割

充填保安部会で議論する議題などについて、地域意見を集約し検討するなど、充填保安部会の諮問機関としての機能を持ち、地区ごとの関連団体との連携で、放置容器、不明容器、長期停滞容器等の回収を促進します。

メンバー

会長	青木 政弘	岡谷酸素(株)	有岡 雅紀	相模アセチレン(株)
副会長	長谷川 繁則	城南共同酸素(株)	市村 博	市村酸素(株)
副会長	柳川 隆則	(株)宝山産業	稲松 優	(株)鈴木商館
副会長	和知 紀秀	北関東日酸(株)	今井 智仁	東海溶材(株)
	相川 浩二	日東物産(株)	鴨川 俊次	東邦酸素工業(株)
	安部 悟	東洋高压ガス(株)	松田 昌浩	KGKサービス(株)
	荒 隆一郎	(株)カネコ商会	宮原 英嘉	宮原酸素(株)
	荒井 誠樹	カンサン(株)	万木 啓司	城東日酸(株)

■ 主な活動

- ・ 容器管理指針の活用と周知徹底
- ・ 放置容器、不明容器、長期停滞容器の撲滅
- ・ 事故情報等の共有

東海地域本部



1 役員一覧



地域本部長

坪井 真

日本エア・リキード合同会社
中部支社長

■副地域本部長

南部 淳 (株)ナンブ
代表取締役社長

白鳥 重夫 静岡酸素(株)
代表取締役社長

飯田 哲郎 名古屋酸素(株)
代表取締役社長

伊藤 篤志 (株)大合商会
代表取締役社長

川瀬 孝治 中京医療(株)
代表取締役

鴻巣 実 エア・ウォーター東日本(株)
中部支社 支社長

福田 澄生 岩谷瓦斯(株)
理事

光安 祐司 日本液炭(株)
執行役員 中部支社長

■幹事

江場 大二 (株)エバ
代表取締役社長

日野 敏宏 エア・ウォーター防災(株)
中部支社長

山本 直也 小池酸素工業(株)
名古屋支店長

仲田 敏道 沼津酸素工業(株)
代表取締役社長

玉木 義裕 (株)大玉溶材
代表取締役

江場 友美 名古屋日酸(株)
代表取締役社長

古川 史人 東亜テクノガス(株)
代表取締役社長

高山 昭彦 高圧ガス工業(株)
執行役員 東海地区長

浦野 秀信 日本酸素G&W(株)
名古屋支店長

中谷 真介 (株)レゾナック・ガスプロダクツ
中部支店 支店長

坪井 亮 エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)
大阪営業所 課長

鋤柄 雄紀 大日本アガ(株)
代表取締役社長

桐山 良成 イビデンケミカル(株)
環境開発事業部 事業部長

横谷 和貴 岩谷産業(株)
専務執行役員 中部支社長

竹腰 大介 三興産商(株)
代表取締役社長

杉浦 康之 杉浦高圧(株)
代表取締役

松下 慶多 東海溶材(株)
代表取締役社長

■会計監事

代表監事 中村 悟郎 日本酸素(株)
理事 中部支社長

鈴木 敏之 豊田ガスセンター(株)
代表取締役社長

2 主な活動

東海地域本部は、会員の皆様が納得していただけるような運営をしていきます。各セミナーについても、地域の会員の皆様に協力していただいております。本部とも協力してJIMGA活動に役立てていきます。



2026年 定時総会

さらには関係官庁および各種団体との連携強化を図り、事故防止・災害対策を共に考えていきます。

2026年度活動については、JIMGA本部の課題や地域本部の課題を共有・連携しながら、規制改革部会、災害対策部会、教育事業部会、技術部会、医療専門部会を通じて、次の6つについて大きな課題として取り組み、事故撲滅に努めます。

- ・ 事故防止と法令遵守の周知徹底
- ・ 供給および消費上の安全対策の推進
- ・ 保安講習会等の開催
- ・ 災害時対策の強化
- ・ 容器管理体制の強化
- ・ JIMGA本部との連携

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
4月14日	会計監査	JIMGA東海地域本部	会計監査
4月23日	幹事会	ウインクあいち	定時総会内容、会計報告等
5月12日	東海地域本部 定時総会	ANAクラウンプラザホテル	事業報告、役員選任等
5月22日	新人向け保安セミナー	ウインクあいち	高圧ガス基礎知識、AEDの使い方等
6月19日	岐阜医療支部会	ワークプラザ岐阜	活動報告・計画および災害対策等
6月22日	愛知医療支部会	ウインクあいち	活動報告・計画および災害対策等
7月7日	エアガス技術グループ会議	ウインクあいち	本部・支部活動報告およびセミナー説明
7月7日	充填・容器回収委員会	ウインクあいち	本部・支部活動報告
7月8日	三重医療支部会	プラザ洞津	活動報告・計画および災害対策等
7月24日	静岡医療支部会	静岡県産業経済会館	活動報告・計画および災害対策等
8月19日～26日	災害時メーリングシステムテスト	会員会社	災害時の安否確認状況をテストメールにて実施
11月25日	三重県医療ガス安全講習会	メッセウイングみえ	医療ガス関連講習会
12月16日	JIMGA東海・北陸セミナー	ウインクあいち	防災・保安関連講習会
12月20日	令和8年度愛知県・知立市総合防災訓練	知立市役所、知立中学校、来迎寺小学校等	愛知県総合防災訓練
2月17日	MGR更新時集合講習	ウインクあいち	MGR資格保有者向け制度・法令関連講習会

東海地域本部事務局長 多田 和也



東海地域本部 支部

役割

東海4県に医療ガス関連を中心とした支部を設置し、関係官庁・団体との連携強化によって、医療ガスの安全・安心への取り組みを行っています。また、医療ガス安全講習会等も主催しています。

メンバー

愛知支部長 加藤 伸昭 名古屋酸素(株)

岐阜支部長 伊藤 篤志 (株)大合商会

三重支部長 伊藤 洋司 中京医療(株)

静岡支部長 白鳥 重夫 静岡酸素(株)

■ 主な活動

- ・各地区の支部会で、災害時対策として緊急通行車両標章を管理
- ・災害時備蓄品について、消耗品の期限管理と入れ替えの実施（2026年度：岐阜県）
- ・各地区の防災訓練への参加（2026年度：愛知県・知立市総合防災訓練）
- ・医療ガス安全講習会の開催（2026年度：三重県）
- ・MGR更新時集合講習の定期実施



岐阜県医療ガス安全講習会（2025年度）

東海地域本部 災害時対策委員会

役割

災害時対策委員会は、各支部の医療関係の責任者が中心となり、災害時訓練の参加等、災害に特化した運営を行います。

メンバー

委員長 原田 敬市郎 (株)原田商店
森 章 (株)エバ
伊藤 篤志 (株)大合商会
白鳥 重夫 静岡酸素(株)
宮野 聖 日本酸素(株)
伊藤 洋司 中京医療(株)

山口 脩平 エア・ウォーター東日本(株)
加藤 伸昭 名古屋酸素(株)
内田 大成 (株)ナンブ
出村 憲二 名古屋日酸(株)
敷妙 茂之 日本エア・リキード(同)

■ 主な活動

- ・ 東海地区の災害時に備えた備蓄品の保管およびその管理
- ・ 災害時の医療ガス安定供給についての検討
- ・ 緊急通行車両標章の管理、申請、変更手続き
- ・ 災害時メーリングシステム（携帯電話）のテスト
- ・ 各県における災害時医療ガス供給情報伝達訓練への参加
- ・ 防災訓練への参加（令和8年度愛知県・知立市総合防災訓練：12月20日）



令和7年度愛知県・田原市総合防災訓練

東海地域本部

災害対策部会 充填・容器回収委員会

役割

2024年に充填ガスGと容器回収Gが合併し充填・容器回収委員会となりました。充填の安全性技術に特化した会員と、容器を所有する会員で構成され、「容器の早期回収」・「放置容器の回収」・「不明容器の回収」をテーマとして、災害対策部会の運営を行っています。

メンバー

委員長	高垣 満正	ケミカルジャパン(株)	今井 信治	日本エア・リキード(同)
	新川 秀則	岩谷瓦斯(株)	橋本 浩志	豊田ガスセンター(株)
	宮原 光彦	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	原田 慎也	日本酸素(株)
	青山 真理	(株)ジーシー東海	小島 孝昌	大日本アガ(株)
	坂下 公朗	杉浦高圧(株)	田村 司	日本液炭(株)
	浦野 秀信	日本酸素G&W(株)	中村 勝裕	サーラエナジー(株)
	宮坂 浩之	知多高圧ガス(株)	巻田 佳幸	岐阜エア・ウォーター(株)
	小村 直哉	中京産商(株)	増田 仁人	共同高圧ガス工業(株)
	川原 哲也	エア・ウォーター東日本(株)	塚本 浩二	高圧ガス工業(株)
	竹内 貴仁	東亜テクノガス(株)	天木 清広	東海総合ガスセンター(株)
	白濱 領一	東海ガスユナイテッド(株)	山本 直也	小池酸素工業(株)
	戸山 隆広	名古屋ガスセンター(株)	岡部 佳久	春日井ガスセンター(株)
	森川 祐樹	名古屋酸素(株)	原田 敬生	(株)原田商店
	出村 憲二	名古屋日酸(株)		

■ 主な活動

- ・ 容器管理および所在確認
- ・ 高圧ガス容器事故事例の収集
- ・ 不明容器の根絶
- ・ 高圧ガス容器特別回収月間の実施
- ・ 高圧ガス関連の保安、技術、安全、安心に関する教育活動
- ・ 東海高圧ガス容器管理委員会との連携

東海地域本部 技術部会 エアガス技術G

役割

高圧ガス関連の事故防止、高圧ガス関連業者からの要望の集約および発信を行います。

メンバー

グループ長 佐々木 哲也	エア・ウォーター東日本(株)	藤本 孝弘	東亜テクノガス(株)
中村 達哉	岩谷産業(株)	奥村 崇	日本エア・リキード(同)
石井 浩	日本酸素(株)		

■ 主な活動

- ・ 高圧ガス関連の研修会による情報収集
- ・ 定例会議、幹事会による情報の共有
- ・ セミナー、研修会の開催
- ・ 法令改正時の対応および地域会員への啓発活動

東海地域本部 技術部会 アセチレン技術G

役割

アセチレンガス使用時の「安心・安全に」を原点に、非アスベスト容器化を促進しています。

メンバー

グループ長 福田 澄生	岩谷瓦斯(株)	湊 洋治	高圧ガス工業(株)
深沢 一晃	日本酸素(株)	川原 哲也	エア・ウォーター東日本(株)
櫻井 啓司	大日本アガ(株)	浦野 秀信	日本酸素G&W(株)
橋本 行雄	東海アセチレン(株)		

■ 主な活動

- ・ 不明容器の根絶、長期停滞容器の回収活動
- ・ 38年経過容器に対する「充填しない」「販売しない」「廃棄する」の啓発
- ・ アセチレンガスの安全な取り扱いの啓発

東海地域本部 技術部会 炭酸ガス技術G

役割

炭酸ガスに関する技術や、安全な取り扱いをテーマとした活動を行います。

メンバー

グループ長 田村 司	日本液炭(株)	布施 俊英	大洋化学工業(株)
宮原 光彦	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	吉戸 源嘉	知多炭酸(株)
中村 達哉	岩谷産業(株)	八巻 聡	東亜テクノガス(株)
坪井 亮	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)		

■ 主な活動

- ・炭酸ガス関連に対する事故防止対策
- ・炭酸ガス関連の情報収集および共有化
- ・東海地域の炭酸ガス販売数量の把握
- ・炭酸ガス保安講習会の開催（1回／3年）

東海地域本部 技術部会 水素ガス技術G

役割

水素の保安、技術をテーマとした活動を北陸地域本部も交えて行っています。

メンバー

グループ長 藤本 孝弘	東亜テクノガス(株)	高松 賢司	エア・ウォーター東日本(株)
黒田 義之	岩谷瓦斯(株)	江夏 雄一郎	日本酸素(株)
中村 達哉	岩谷産業(株)	奥村 崇	日本エア・リキード(同)
宮原 光彦	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	田中 叙充	北酸高圧瓦斯(株)

■ 主な活動

- ・水素ガス関連の事故防止対策
- ・水素ガスの普及に向けた情報収集および地域への配信
- ・研修会による情報収集
- ・東海地域の水素ガス販売数量の把握

東海地域本部 企画部会 保安教育G

役割

高圧ガスの保安に関するセミナーや講習会の企画・運営など、関係行政機関とも連携を取りながら教育活動を行います。

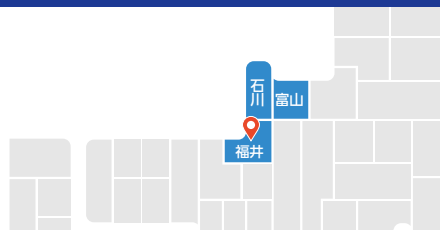
メンバー

グループ長 高松 賢司	エア・ウォーター東日本(株)	岩白 裕一	中部液酸(株)
川見 隆	岩谷産業(株)	成岡 宏人	東亜テクノガス(株)
増田 仁人	共同高圧ガス(株)	加藤 伸昭	名古屋酸素(株)
萩原 賢二	高圧ガス工業(株)	奥村 崇	日本エア・リキード(同)
宮原 光彦	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	田村 司	日本液炭(株)
坂下 公朗	杉浦高圧(株)	出村 憲二	名古屋日酸(株)
石井 浩	日本酸素(株)		

■ 主な活動

- ・ 高圧ガス関連の事故防止対策
- ・ 保安、技術の向上
- ・ 新人向け保安セミナーの開催
- ・ 高圧ガス関連の保安、技術、安全、安心に対する教育活動
- ・ セミナー講師の育成

北陸地域本部



1 役員一覧



地域本部長

中村 顕

宇野酸素(株)
代表取締役社長

■副地域本部長

宮原 治 北酸高圧瓦斯(株)
代表取締役社長

■幹事

丹羽 宏彰 北越アセチレン(株)
代表取締役社長

酒井 智俊 サカキ産業(株)
代表取締役社長

上村 明 (株)上村産業
代表取締役社長

坪井 真 日本エア・リキード(同)
北陸支社長

水田 健司 エア・ウォーター東日本(株)
中部支社 北陸支店長

井村 昌弘 日本液炭(株)
中部支社 富山営業所長

犬飼 茂樹 宇野酸素(株)
メディカル事業部長

■会計監事

平山 雄一 日本酸素(株)
中部支社 北陸支店長

2 主な活動

JIMGA北陸地域本部は、「高圧ガス消費者保安講習会」、「保安セミナー（高圧ガス容器の保安管理）」、「JIMGA東海・北陸セミナー」等の講習会の開催をはじめ、地域に根ざした活動を通じて、地域社会への貢献と会員各社への自主保安活動の支援、高圧ガスに係る保安活動の啓発に努めてきました。また、県が主催する防災訓練やDMAT実動訓練等にも積極的に参加し、関係機関との連携強化を図ります。

なお、放置容器や長期滞留容器の撲滅についても、JIMGA本部および北陸高圧ガス溶材組合と連携し活動

を行うことで、地域全体の保安レベルの向上に取り組めます。

2026年度も、これまでと同様の活動を計画しており、地域への貢献と会員各社のお役に立てるよう努めます。

また、2026年度は北陸地域本部における役員の任期満了に伴う改選期であり、地域本部における運営体制を見直し、幹事会員を増員しました。新体制のもと、会員各社の皆様にとってこれまで以上に有意義なコンテンツを提供できるような地域本部にしていきたいと考えています。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
4月22日	北陸地域本部幹事会	ホテル日航金沢	総会事前幹事会
5月27日	北陸地域本部定時総会	ANAクラウンプラザホテル金沢	
10月18日	石川県防災総合訓練	石川県小松市、他	
10月	北陸地域本部幹事会	未定	
11月20日	高圧ガス消費者保安講習会	石川県地場産業振興センター	
11月	会員研修会	未定	
12月16日	JIMGA東海・北陸セミナー	ウイंकあいち	
1月13日	2027年賀詞交歓会	ANAクラウンプラザホテル金沢	
2月25日	MGR更新時集合講習	石川県地場産業振興センター	



北陸地域本部 定時総会



定時総会 本部長挨拶

北陸地域本部事務局長 中村 寛徳



北陸地域本部 企画部会

役割

北陸地域本部の企画全般を担当します。下部組織として教育事業 WG、災害対策 WG、規制改革 WG を設置し、地域と本部の連携強化を図ります。

メンバー

部会長 中村 顕 宇野酸素(株) | 委員 北陸地域本部 全33会員

■ 主な活動

全員参加型で活動しており、北陸地域本部の全33会員が所属しています。

北陸高圧ガス溶材組合と連携し、以下に取り組めます。

- (1) 高圧ガス消費者保安講習会の開催
- (2) 会員研修会の企画
- (3) 放置容器の撲滅
- (4) 長期停滞容器の撲滅

■ 2026年度活動スケジュール

11月20日	高圧ガス消費者保安講習会	石川県地場産業振興センター
11月	会員研修会	未定
12月16日	JIMGA東海・北陸セミナー	ウイंकあいち



高圧ガス消費者保安講習会（2025年度）



会員研修会（2025年度）

北陸地域本部 技術・保安部会

役割

安全・技術・保安等に関する調査と、これらの会員への情報提供活動を行います。実務作業は企画部会で実施しています。

メンバー

部会長	宮原 治	北酸高圧瓦斯(株)	堀川 徹	直江津アセチレン(株)
	中村 顕	宇野酸素(株)	中谷 真也	新潟高圧ガス(株)
	佐藤 亮	岩谷産業(株)	丹羽 宏彰	北越アセチレン(株)
	水田 健司	エア・ウォーター東日本(株)	中村 顕	三国液酸(株)
	坪井 真	日本エア・リキード(同)	亀尾 敏孝	北陸エア・ケミカルズ(株)
	平山 雄一	日本酸素(株)	蜷川 敏明	東亜テクノガス(株)
	松下 聖司	岩谷瓦斯(株)	遠山 繁生	北陸液酸工業(株)
	井村 昌弘	日本液炭(株)	吉田 一成	上毛天然瓦斯工業(株)
	加藤 浩志	(株)レゾナック・ガスプロダクツ	三木 哲央	(株)千代田精機

■ 主な活動

全員参加型で活動しております。活動内容は企画部会と同じ内容です。

北陸高圧ガス溶材組合と連携し、以下に取り組みます。

- (1) 高圧ガス消費者保安講習会の開催
- (2) 会員研修会の企画
- (3) 放置容器の撲滅
- (4) 長期停滞容器の撲滅

■ 2026年度活動スケジュール

11月20日	高圧ガス消費者保安講習会	石川県地場産業振興センター
11月	会員研修会	未定
12月16日	JIMGA東海・北陸セミナー	ウインクあいち



保安セミナー
(北陸高圧ガス溶材組合との共同開催) (2025年度)



保安セミナー (2025年度) 資料

北陸地域本部 医療専門部会

役割

北陸地域本部 医療専門部会は、北陸 3 県に支部を設置し、それぞれの地域特性に応じた保安活動や教育研修活動を展開しています。

メンバー

部会長 中村 顕 宇野酸素(株)

<福井県支部>

支部長 中村 顕 宇野酸素(株)
大久保 貴生 (株)エバ
松枝 宏幸 (株)エバホームケアサービス
市村 英幸 (株)ミタス
亀尾 敏孝 北陸エア・ケミカルズ(株)
水口 正行 北陸イワタニガス(株)

<石川県支部>

支部長 犬飼 茂樹 宇野酸素(株)
佐藤 亮 岩谷産業(株)
松下 聖司 岩谷瓦斯(株)
上村 明 (株)上村産業
中川 貴之 フクダライフテック北信越(株)
加藤 拓二 北陸液化産業(株)

<富山県支部>

支部長 酒井 智俊 サカイ産業(株)
新谷 幸則 イワタニ北陸ガスセンター(株)
有光 航 宇野酸素(株)
林 直人 昭和酸素(株)
水田 健司 エア・ウォーター東日本(株)
蛭川 敏明 東亜テクノガス(株)
坪井 真 日本エア・リキード(同)
平山 雄一 日本酸素(株)
西 浩起 北酸(株)
宮原 治 北酸高圧瓦斯(株)
能森 幸男 東洋工器(株)
宮守 孝則 北陸イワタニガス(株)
遠山 繁生 北陸液酸工業(株)

2026年度活動スケジュール

10月18日 石川県防災総合訓練

石川県小松市、他

2月25日 MGR更新時集合講習

石川県地場産業振興センター



MGR更新時集合講習（2025年度）



石川県防災総合訓練（2025年度）

近畿地域本部



1 役員一覧



地域本部長

岡野 洋太郎

(株)神戸サンソ
代表取締役社長

■副地域本部長

(教育研修部会長) 佐藤 康彦	岩谷産業(株) 部長	(京滋支部支部長) 白井 幸夫	(株)Kist 代表取締役 社長
(奈良県支部長) 大井 常義	(株)大和サンソ 代表取締役 会長	(和歌山県支部長) 橋口 源和	エア・ウォーター西日本(株) 和歌山支店長
(大阪府支部長) 馬場 俊和	(株)馬場酸素 代表取締役	(兵庫県支部長) 高浜 主税	高浜酸素(株) 専務取締役

■幹事

千葉 賢治	日本酸素(株) 関西支社長	田中 雅人	大阪ガスリキッド(株) 常務取締役
飯田 宏	岩谷産業(株) 常務執行役員 近畿支社長	藤井 文雄	協和ガス(株) 代表取締役 社長
川中 尚	エア・ウォーター西日本(株) 常務執行役員 近畿支社長	馬場 崇明	(株)ババ 代表取締役
脇坂 和伸	日本エア・リキード(同) 近畿支社長	林 栄	浪速酸素(株) 執行役員
(規制改革部会長) 那須 隆	高圧ガス工業(株) 近畿地区 統括工場長	青木 重人	大丸エナウイン(株) 取締役専務執行役員
(災害対策部会長) 清水 和広	(株)キンキ酸器 北大阪支店長	木村 崇	(株)セントラルユニ 営業統括本部 大阪支社長
森山 慶一	日本酸素メディカルサイト(株) 代表取締役 社長	吉川 健一	エア・ウォーター防災(株) 医療事業部 西部営業部長

■会計監事

吉井 英世	小池酸素工業(株) 大阪支店長	西口 耕平	関西医療(株) ガスメディカル事業部 次長補佐
-------	--------------------	-------	----------------------------

2 主な活動

2025年度は、JIMGA近畿地域本部定時総会の運営合理化、適正化のため、開催方法について役員、弁護士等とも相談の上、検討、見直しを行いました。規制改革部会・教育研修部会・災害対策部会の3部会による活動も行いました。医療ガス安全講習会を3か所で開催し、高圧ガス保安セミナー等の講習会も開催し多くの方に参加いただきました。また、関係機関と協力し放置容器の撲滅活動も継続し、放置容器の回収実績としては、全国一斉特別回収運動期間内の回収容器も含め

て1,877本の容器回収を行いました。

2026年度は、2025年度に検討した定時総会の開催方法について、定時総会にて討議し、報告会へ変更することに決定しました。今後具体的な開催方法について詳細を検討します。また、教育研修部会を中心に医療ガス安全講習会・高圧ガス保安セミナー等を開催できるように準備を進めます。放置容器回収事例集を関係者の経験を元に作成し、回収時における作業者の安全対策の改善を推進していく予定です。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
4月22日	第1回幹事会	大阪科学技術センター	総会議案書事前承認
5月20日	近畿地域本部定時総会	グランヴィア大阪	議案書審議・採決
9月頃	教育研修部会	大阪科学技術センター	
11月以降	医療ガス安全講習会	未定	近畿地域3か所で開催予定
12月頃	規制改革部会・災害対策部会		
12月6日	MGR認定試験	TKP大阪本町	
1月6日	近畿地域本部賀詞交歓会	スイスホテル南海大阪	
2月5日	MGR更新時集合講習	大阪科学技術センター	
2月頃	高圧ガス保安セミナー	未定	

近畿地域本部事務局長 横地 直樹



近畿地域本部 支部

役割

各府県単位での関係行政機関との連携。各支部単位で開催される講習会（医療ガス安全講習会）などの計画および実施。

メンバー

大阪府支部長 馬場 俊和 (株)馬場酸素
兵庫県支部長 高浜 主税 高浜酸素(株)
京滋支部長 白井 幸夫 (株)Kist

奈良県支部長 大井 常義 (株)大和サンソ
和歌山県支部長 橋口 源和 エア・ウォーター西日本(株)

■ 主な活動

- ・各府県単位で開催される防災訓練での医療ガス供給訓練への参加
- ・各支部単位で開催される医療ガス安全講習会（草の根講習会）の開催計画および実施
- ・災害時における緊急通行車両の事前届出車両状況の管理
- ・近畿地域本部災害時対策運営要綱の更新
- ・各府県関係行政機関との連携

■ 2026年度活動スケジュール

9月頃	草の根講習会 合同会議
11月～	草の根講習会開催準備および開催 対面講習会に向けての準備 対面講習会で開催する場合は、大阪・奈良・京滋会場、兵庫会場、和歌山会場の3か所での開催を計画
1月	災害時防災訓練



2025年度 医療ガス安全講習会 兵庫会場



2025年度 兵庫県 災害時における医療機関向け医療ガス等の供給に関する防災訓練

近畿地域本部 規制改革部会

役割

産業・医療ガス関連の法令・規制等に関する会員からの要望を抽出し、社会情勢・社会ニーズを確認しながら、関係省庁である経済産業省・厚生労働省と本部の規制改革委員会が交渉するための支援を進めます。

メンバー

部会長	那須 隆	高圧ガス工業(株)	田中 雅人	大阪ガスリキッド(株)
副部会長	村上 孝一	高圧ガス工業(株)	境 順子	(株)マスコール
副部会長	輪島 茂光	日東高圧化学工業(株)	高浜 主税	高浜酸素(株)
副部会長	橋本 敬介	ネクスト・ワン(株)	和佐 孝博	近畿炭酸(株)
	稲葉 修	岩谷瓦斯(株)	三宅 秀典	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
	永田 裕信	大阪車輛工業(株)	中村 久夫	尼崎水素販売(株)
	中森 健	(株)ニッコーコーポレーション	新谷 和也	日本酸素G&W(株)
	村山 和洋	KGKサービス(株)		

■ 主な活動

- ・ 規制改革部会の開催
 - ①活動報告
 - ②法令改正、地域動向等の情報共有
 - ③保安セミナーのテーマ、開催要領等の企画と開催

■ 2026年度活動スケジュール

12月予定	規制改革部会	大阪科学技術センター
2月頃	高圧ガス保安セミナー	

近畿地域本部 災害対策部会

役割

災害時の医療ガス安定供給のための体制作り、訓練の実施。津波・水害時などの高圧ガス容器流出防止のために最新の流域治水関連法・ハザードマップを確認し、事前対策内容の検証・実施を本部の災害対策委員会と協力し進めます。

メンバー

部会長	清水 和広	(株)キンキ酸器	白崎 秀之	(株)関西ガスファースト
副部会長	秋山 真	(株)大阪パッケージセンター	小林 範明	近畿酸素(株)
副部会長	辰巳 友亮	タツミ産業(株)	竹内 光男	新宮酸素(株)
副部会長	森脇 勝久	森脇産業(株)	坂本 義明	大丸エナウィン(株)
	馬場 俊和	(株)馬場酸素	佐竹 秀人	藤田酸素(株)
	白井 幸夫	(株)Kist	伏山 英男	(株)伏山酸素商会
	大井 常義	(株)大和サンソ	名倉 茂雄	大和溶材(株)
	高浜 主税	高浜酸素(株)	姫尾 和彦	京都帝酸(株)
	橋口 源和	エア・ウォーター西日本(株)	林 稔	浪速酸素(株)
	藤井 文雄	協和ガス(株)	小川 健太郎	(株)オキシテック
	小堀 孝司	イビデンケミカル(株)	村山 和洋	KGKサービス(株)

■ 主な活動

- ・ 災害対策部会の開催
 - ①活動報告
 - ②DMAT講習会報告、近畿災害対策訓練の検討
 - ③災害対策マニュアル改定の検討

■ 2026年度活動スケジュール

未定	近畿災害対策訓練	
12月予定	災害対策部会	大阪科学技術センター

近畿地域本部 教育研修部会

役割

地域本部主催で開催している「高圧ガス保安セミナー」と「医療ガス保安講習会」(草の根講習会)を中心に、会員および顧客に満足いただける講習会にするためのテーマ選定・資料作成、開催準備を中心とした活動を本部の教育事業委員会と協力して進めます。

メンバー

部会長	佐藤 康彦	岩谷産業(株)	高浜 主税	高浜酸素(株)
副部会長	奥村 崇	日本エア・リキード(同)	橋口 源和	エア・ウォーター西日本(株)
副部会長	大岡 久晃	(株)大岡酸素商会	田端 弘司	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)
副部会長	池田 正治	日本液炭(株)	高橋 寛	滋賀カーバイド(株)
	馬場 俊和	(株)馬場酸素	田淵 勝義	エア・ウォーター西日本(株)
	白井 幸夫	(株)Kist	佐藤 忠史	日本酸素(株)
	大井 常義	(株)大和サンソ		

■ 主な活動

・教育研修部会の開催

- ①活動報告
- ②医療ガス保安講習会、保安セミナーの実施テーマ、開催要領についての検討
- ③法令改正、地域動向などの情報共有

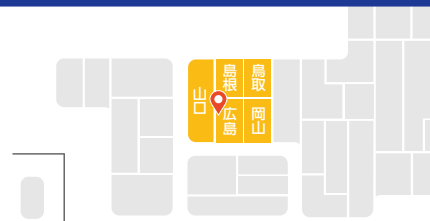
■ 2026年度活動スケジュール

9月予定	教育研修部会	大阪科学技術センター
2月頃	高圧ガス保安セミナー	



2025年度 医療ガス保安講習会

中国地域本部



1 役員一覧



地域本部長

松永 秀一

日本エア・リキード(同)
中四国支社長

■副地域本部長

兼 本部長代理	佐々木 丈志	日本酸素(株) 中四国支社長	並河 元	山陰酸素工業(株) 代表取締役社長
兼 本部理事	藤井 宗武	藤井商事(株) 代表取締役社長	有路 文貴	岩谷産業(株) 上級理事 中国支社長
兼 本部理事代理	平山 一喜	(株)平山商店 代表取締役社長	川崎 起樹	高圧ガス工業(株) 中・四国地区長
	楠元 俊道	エア・ウォーター西日本(株) 取締役 中・四国支社長		

■幹事

有路 文貴	岩谷産業(株) 上級理事 中国支社長	中村 孔保	(株)中村酸素 代表取締役社長
楠元 俊道	エア・ウォーター西日本(株) 取締役 中・四国支社長	小林 通匡	ニッキフッコー(株) 代表取締役社長
川崎 起樹	高圧ガス工業(株) 中・四国地区長	松永 秀一	日本エア・リキード(同) 中四国支社長
並河 元	山陰酸素工業(株) 代表取締役社長	水口 宏之	日本液炭(株) 中四国支社長
山本 敬史	大和酸素(株) 代表取締役社長	佐々木 丈志	日本酸素(株) 中四国支社長
國廣 憲	中国アセチレン(株) 取締役会長	平山 一喜	(株)平山商店 代表取締役社長
磯田 光功	中国酸素(株) 代表取締役社長	藤井 宗武	藤井商事(株) 代表取締役社長

■会計監事

大下 幹人	岩谷瓦斯(株) 広島工場 理事	岡田 吉昭	広島日酸(株) 取締役工場長
-------	--------------------	-------	-------------------

2 主な活動

中国地域本部「令和8年度定時総会」決議の「令和8年度事業計画」は以下のとおりです。

産業・医療ガスの製造、輸送、販売、消費等に関して、それらの改善・合理化の推進、技術の向上、および安全・保安の確保に努め、本部と連携を取りながら次の事業を遂行します。

1) 本部評議員会、事務局長会議、等へ積極的に参加する。

2) 従来から取り組んできた講習会活動を継続する。

3) 高圧ガス保安大会や、高圧ガス保安活動促進週間の協賛諸行事へ積極的に参加する。

4) 本部指示のもと、関連法規の周知徹底ならびに法令上の諸問題について地域監督官庁と話し合いを進める。

5) 災害時協定に基づく医療ガス等、供給に向けて「支部会」を開催する。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
5月11日	定時総会	ホテル広島ガーデンパレス (広島市)	「議案書」の審議と決議
6月30日	広島支部会	RCC文化センター (広島市)	<各支部会員向け> ・今年度開催の「医療ガス安全講習会」、「高圧ガス保安法令講習会」について ・災害時協定書に基づく、医療ガス等供給について確認 ・各県危機管理課、業務課からのお知らせ ・その他
7月3日	山口支部会	KDDI維新ホール (山口市)	
7月6日	山陰支部会	タウンプラザしまね (松江市)	
7月8日	岡山支部会	岡山国際交流センター (岡山市)	
9月17日	医療ガス安全講習会 (広島会場)	RCC文化センター (広島市)	医療機関の医療ガス取扱者、販売従事者向け医療ガス安全啓発
10月9日	高圧ガス保安法令講習会	KDDI維新ホール (山口市)	「高圧ガス保安活動推進週間」一連保安啓発行事
11月11日	令和8年度 中国地域高圧ガス保安大会	ANAクラウンプラザホテル広島 (広島市)	中国地域の高圧ガス保安大会
11月17日	医療ガス安全講習会 (山陰会場)	米子商工会議所 (米子市)	医療機関の医療ガス取扱者、販売従事者向け医療ガス安全啓発
11月25日	広島県高圧ガス保安大会	JMSアステールプラザ (広島市)	広島県の高圧ガス保安大会
1月13日	令和9年 中国地区高圧ガス関連団体合同新春互礼会	ANAクラウンプラザホテル広島 (広島市)	中国地区の高圧ガス関連団体が共催する合同の新春互礼会
1月中頃	災害時医薬品等供給／連絡訓練	岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県	災害時医療ガス供給／連絡訓練
2月4日	令和8年度 MGR更新時集合講習	RCC文化センター (広島市)	MGR更新時集合講習
2月25日	保安セミナー	エールエールA館 (広島市)	JIMGAテキスト (新刊・改訂) セミナー

中国地域本部事務局長 柴田 巖



中国地域本部 支部

役割

各県との災害時における医療ガス等の確保・供給等に関する協定書に基づき、4支部会（岡山、広島、山口、山陰）を組織し、医療ガス関連および産業ガス関連の会員全てを対象として定期的な情報交換会を実施し県主催の防災訓練へも参加しています。

メンバー

岡山支部長 楠元 俊道	エア・ウォーター西日本(株)	山口支部長 平山 一喜	(株)平山商店
岡山副支部長 山本 敬史	大和酸素(株)	山口副支部長 山田 幸助	(株)特殊ガス商会
広島支部長 藤井 宗武	藤井商事(株)	山陰支部長 並河 元	山陰酸素工業(株)
広島副支部長 中村 孔保	(株)中村酸素		

■ 主な活動

2025年度は次のとおり開催しました。

1) 支部会

- ・広島支部会 RCC文化センター（広島市）参加者34名 6月26日
- ・山口支部会 KDDI維新ホール（山口市）参加者19名 7月2日
- ・岡山支部会 岡山国際交流センター（岡山市）参加者20名 7月9日
- ・山陰支部会 タウンプラザしまね（松江市）参加者18名 7月22日

2) 防災訓練及び災害時医薬品搬送／供給情報伝達訓練

- ・広島県（三次市にて模擬医療ガス受け渡し訓練実施） 11月27日～28日
- ・山口県（宇部市にて模擬医療ガス受け渡し訓練実施） 12月18日
- ・鳥取県（FAXやり取り訓練実施） 1月16日
- ・岡山県（選挙対応で中止） 1月22日



広島支部会の様子



山口支部会の様子



山陰支部会の様子



岡山支部会の様子

中国地域本部 教育研修部会 医療ガス技術WG

役割

医療ガス安全講習会（草の根講習会）を企画・運営する WG です。毎年、前回の反省を踏まえて討議し、講習内容も協議のうえ作成、更新し、構成員が交代で講師を務めています。

中国地域本部では、岡山、広島、山陰、山口の 4 会場（広島と山陰は同年）で各所 3 年ごとの開催です。

メンバー

WG長 ◎高田 久 藤井商事(株)
赤木 伸吾 エア・ウォーター西日本(株)
水引 慎也 山陰酸素工業(株)
近藤 正博 (株)中村酸素

原田 芳則 (株)平山商店

教育研修部会／◎：部会長

※会社名 50 音順

■ 主な活動

2025年度の講習会、セミナー、研修会等を次のとおり開催しました。

- ・医療ガス安全講習会（草の根講習会）：受講者83名（オルガホール／岡山市） 9月17日
- ・技術研修会／九州地区「医療ガス安全講習会」（鹿児島市）見学：参加者6名 11月26日



楠元本部長挨拶

※役職は開催当時のものです。



岡山県薬務課坂本様講演



講習会受講風景

医療ガス安全講習会

中国地域本部

教育研修部会 炭酸ガス技術WG

役割

炭酸ガス保安講習会を企画・運営する WG です。また、本部・炭酸ガス技術部会と連携し構成員事業所への技術・保安問題に関する情報を共有化し、構成員事業所の技術向上に努めています。

メンバー

WG長 ○宮田 仁 (株)レゾナック・ガスプロダクツ
 小林 靖昌 岩谷産業(株)
 佐藤 高幸 日本液炭(株)

教育研修部会／○：副部長
※会社名 50 音順

■ 主な活動

2025年度は講習会・セミナー・研修会等を次のとおり開催しました。

- ・炭酸ガス保安講習会（オンデマンドセミナー）本部主催 10月1日～30日
- ・第二回炭酸ガス保安講習会（オンデマンドセミナー）本部主催 3月10日～4月10日

中国地域本部

技術・保安部会（運営委員会）

役割

技術・保安部会は、技術・保安の活動計画を審議し、高圧ガス保安法令講習会や保安セミナー等を企画・運営する部会です。また、技術研修会の実施内容や規制改革事項の検討を行っています。

メンバー

部会長	◎辻中 章	日本酸素(株)	池田 浩史	日本エア・リキード(同)
副部会長	○赤松 隆	中国酸素(株)	佐藤 高幸	日本液炭(株)
	中渡瀬 久志	岩谷瓦斯(株)	☆稲田 文悟郎	日本酸素G&W(株)
	小林 靖昌	岩谷産業(株)	村中 達也	日ノ丸産業(株)
	小原 智	エア・ウォーター西日本(株) 下松	◇高田 久	藤井商事(株)
	吉藤 宏行	エア・ウォーター西日本(株) 西中国	森本 英明	リンクス(株)
	岡本 光生	オカモト産業(株)	◇宮田 仁	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
	向井 淳二	小原ガスセンター(株)	☆大野 剛	安浦アセチレン(株)
	◇☆西野 満	高圧ガス工業(株)		
	阿川 寿史	山陰酸素工業(株)		
	☆黒田 秀昭	中国アセチレン(株)		
	赤座 重喜	ツチダ産業(株)		
	南部 英明	(株)中村酸素		

運営委員会／◎：委員長、○：副委員長、◇：委員
アセチレンガス技術WG／☆：グループメンバー
※会社名 50 音順

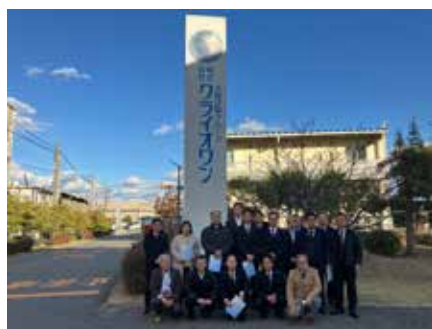
■ 主な活動

2025年度は講習会・セミナー・研修会等を次のとおり開催しました。

- ・高圧ガス保安法令講習会：受講者45名（エールエールA館／広島市）10月3日
- ・技術研修会：参加者15名（(株)クライオワン／堺市）12月5日
- ・保安セミナー：受講者39名(国際交流センター／岡山市）2月26日



高圧ガス保安法令講習会 講習会風景



技術研修会／
クライオワン(堺市)見学 集合写真



保安セミナー 講習会風景

中国地域本部

技術・保安部会 アセチレン技術WG

役割

アセチレンの保安全般を担い、地域防災訓練への参加やJIMGA ウェブサイトのアセチレン関連ページの内容について協会本部に改善提言するなど活発に保安活動を行っています。

メンバー

WG長 西野 満 高圧ガス工業(株)
黒田 秀昭 中国アセチレン(株)

稲田 文悟郎 日本酸素G&W(株)
大野 剛 安浦アセチレン(株)

※会社名 50 音順

■ 主な活動

2025年度は講習会・セミナー・研修会等を次のとおり開催しました。

・山口県防災訓練：参加者9名（下関市消防局／下関市）10月29日

※本防災訓練にて溶解アセチレンガス火災の消火実演を実施。実演の様子は「溶解アセチレンガス火災の消火実演」としてJIMGAウェブサイト動画資料のページに掲載しました。



山口県防災訓練 開会式風景



アセチレンガス隊メンバー



消火実演風景

中国地域本部

製造・保安部会 充填ガスWG

役割

充填ガス工場の保安・保全に関する知識向上とノウハウ習得を目的とした勉強会を行う WG です。また、当地域特有の災害対策（津波、高潮、土砂災害等）の事前対策検討や情報共有も行いリスク管理向上にも努めています。

メンバー

WG長	◎藤井 宗武	藤井商事(株)
副WG長	○磯田 光功	中国酸素(株)
	平松 大資	旭化成酸素(株)
	大下 幹人	岩谷瓦斯(株)
	赤木 伸吾	エア・ウォーター西日本(株)
	岡本 卓也	オカモト産業(株)
	藤澤 敏樹	小原ガスセンター(株)
	川崎 起樹	高圧ガス工業(株)
	並河 元	山陰酸素工業(株)
	瀧沢 修一	山陽酸素(株)
	藤浪 和彦	三和興産(株)
	木下 大輔	(株)ゼネラルガスセンター
	山本 敬史	大和酸素(株)

尾崎 弘治	田中酸素(株)
國廣 憲	中国アセチレン(株)
永山 久一朗	ツチダ産業(株)
堀田 啓市	(株)特殊ガス商会
小林 通匡	ニッキフッコー(株)
山脇 良介	広島高圧ガス(株)
岡田 吉昭	広島日酸(株)
桑原 大	村田(株)
大野 剛	安浦アセチレン(株)
松本 脩	リンクス(株)

製造・保安部会／◎：部会長、○：副部会長

※会社名 50 音順

■ 主な活動

2025年度の部会等を次のとおり開催しました。

・充填ガス部会：参加者16名（IG石田学園ビル／広島市）11月18日

中国地域本部

製造・保安部会 生産ガスWG

役割

生産ガス工場の保安・保全や老朽化対策に関する知識向上とノウハウ習得を目的とした勉強会を行うWGです。また、当地域特有の災害対策（津波、高潮、液状化等）の事前対策検討や情報共有も行いリスク管理向上にも努めています。

メンバー

WG長 ○尾崎 均 (株)JFEサンソセンター 倉敷
副WG長 ○芳村 健治 日本液炭(株) 宇部
松下 浩二 エア・ウォーター・ガスプロダクツ(株)
日下部 哲二 山陽エア・ケミカルズ(株)
江川 英樹 (株)JFEサンソセンター 福山
高山 孝治 周南酸素(株)

宇佐美 暢章 日本液炭(株) 水島
鈴木 浩二 福山液酸(株)
檜崎 昌哉 (株)水島オキシトン

製造・保安部会／○副部長
※会社名 50 音順

■ 主な活動

製造・保安部会および本WGの新設に向けた説明会を開催しました。

・生産ガスWG発足説明会：参加者15名（IG石田学園ビル／広島市）11月18日



説明会の様子

四国地域本部



1 役員一覧



地域本部長（代表）

太田 賀久

高松帝酸(株)
代表取締役会長



地域本部長（代行）

大橋 正明

四国アセチレン工業(株)
代表取締役社長

■副地域本部長

兵頭 修巳 四国日本酸素(株)
代表取締役社長

窪田 泰幸 高松帝酸(株)
松山事業所長

野村 卓弘 土佐酸素(株)
代表取締役社長

半田 孝雄 エア・ウォーター西日本(株)
中・四国支社 四国支店長

小笠原 宏範 イワタニ四国(株)
取締役産業ガス・機械営業部長

中村 圭 日本エア・リキード(同)
中四国支社(四国)

■幹事

一色 貴志 大和酸素工業(株)
代表取締役社長

山岸 鉄明 日本酸素(株)
中四国支社 四国支店長

篠原 宏子 北島酸素(株)
代表取締役社長

中野 正高 (株)楓商店
代表取締役社長

塚本 慶太郎 (株)阿波酸素
取締役

■会計監事

穴吹 朋士 四国酸素(株)
代表取締役社長

中岸 修平 (株)中岸商店
代表取締役社長

2 主な活動

2025年度四国地域本部における課題の第一は、高压ガスによる事故の撲滅でした。そのため会員および一般消費者に対し、他の業界団体と協力しながら高压ガス保安に関する啓発を図ってきました。具体的な活動として、高压ガス基礎講習会・医療ガス安全講習会の開催、防災訓練(災害時通報連絡訓練)、保安セミナーを実施しました。

また、四国で2回目の「高压ガス取扱/譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習」を実施しました。

関係団体(四国高压ガス協議会・四国高压ガス容器管理委員会)と連携し、放置容器、不明容器をなくす

活動を継続しています。

2026年度は、昨年度からの継続課題として、30年以内に高い確率で起こると言われる大地震などの自然災害に備えた保安体制について、所轄行政との協定に基づく対応マニュアル等の見直しを計画するとともに、講習会・セミナーを通じて保安に対する啓発活動を計画しています。

また、全国で毎年のように発生している高病原性鳥インフルエンザの防疫措置に対して、迅速かつ安全に炭酸ガスの供給が行えるよう、四国地域本部会員の連携に努めていきます。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
4月23日	地域本部幹事会	高松市	2026年度定時総会議案審議
5月19日	地域本部定時総会	高松市	2026年度定時総会議案審議
7月	地域本部正副本部長会議	高松市	定時総会議事録確認他
9月3日 9月17日	医療ガス安全講習会	高知市 松山市	医療ガス・供給機器の取り扱いについて
10月8日	JIMGA保安セミナー	高松市	安全統計資料ヒヤリハット・事故事例から学ぶ医療ガス・供給機器の取り扱いについて 高压ガスによる移動基準
12月	地域本部正副本部長会議	高松市	来年行事予定確認他
2月16日	MGR更新時集合講習	高松市	制度法令関係、医療ガス、疾病と治療
2月	三団体会議		四国高压ガス容器管理委員会 四国高压ガス協議会

四国地域本部事務局長 新井 成和



四国地域本部 医療ガス防災委員会

役割

大規模地震等の災害時に重要となる連絡体制の管理や、医療ガス容器および災害対策機材の備蓄確保、四国地域一斉防災訓練の実施等を通じた災害発生時の即応力の維持に努めています。

メンバー

委員長 半田 孝雄 エア・ウォーター西日本(株)
副委員長 斎藤 公司 高松帝酸(株)
充填所部会
清水 和美 四国日本酸素(株)
小西 優輔 北島酸素(株)
荒木 聖文 高松帝酸(株)
保井 清孝 四国アセチレン工業(株)
窪田 泰幸 高松帝酸(株)
芳野 照矢 松山酸素(株)

西岡 良 四国アセチレン工業(株)
矢野 卓也 土佐酸素(株)
田中 章弘 (有)田中酸素
真野 良太 (株)楓商店
小笠原 宏範 イワタニ四国(株)
山岸 鉄明 日本酸素(株)
中條 晃 エア・ウォーター西日本(株)
中村 圭 日本エア・リキード(同)

■ 主な活動

2025年度は、毎年度末に調査している緊急時通行車両の状況と緊急時の連絡先を、各支部が締結している協定書に基づき、各県の担当部署に報告しました。防災訓練内容については、県支部を中心に会員事業所の連絡体制の改善に取り組んでいます。

医療ガスの供給とは別に、「高病原性鳥インフルエンザ」への防疫対応も実施しています。2025年度は、香川県の備蓄用炭酸ガスボンベを利用し、(疫病)発生時に、四国地域本部会員会社が連携して、炭酸ガスボンベを迅速に供給しました。

■ 2026年度活動スケジュール

10月	医療ガス防災委員会	高松市	防災訓練の事前打ち合わせ
11月4日	防災訓練	四国全域	FAXとメールによる確認訓練



2025年度香川県からの感謝状



高病原性鳥インフルエンザ防疫対応の様子

四国地域本部 草の根講習委員会

役割

草の根講習会（医療ガス安全講習会）を企画し、各県2年ごとに医療関係者を対象に医療現場での医療ガスの安全確保を目的とした啓発活動を行っています。

メンバー

委員長	矢野 卓也	土佐酸素(株)	穴吹 朋士	四国酸素(株)
副委員長	窪田 泰幸	高松帝酸(株)	中條 晃	エア・ウォーター西日本(株)
	近藤 周	四国日本酸素(株)	保井 清孝	四国アセチレン工業(株)
	小西 優輔	北島酸素(株)	芳野 照矢	松山酸素(株)
	小澤 将人	(株)中岸商店	一色 貴志	大和酸素工業(株)
	荒木 聖文	高松帝酸(株)	田中 章弘	(有)田中酸素

■ 主な活動

2025年度は、9月に2会場（高松市・徳島市）で医療ガス安全講習会（草の根講習会）を開催しました。両県とも多数の医療機関の方々に受講していただきました。

2026年度は、「医療ガス＆設備の自然災害対策」、「アウトレットの取扱いと点検・酸素ボンベの取扱いと点検」を講習内容として9月3日と9月17日に2会場（高知市・松山市）で開催します。



2025年 香川県会場 講習会風景



2025年 徳島県会場 講習会風景

四国地域本部 技術・保安部会

役割

会員ならびに高圧ガス消費者に向けて地域特性に沿った情報発信を続け、行政に向けては高圧ガス保安に関する諸状況を改善するための要請を進め、技術面、保安面での地域貢献に取り組んでいます。

高圧ガス事故の撲滅を第一の課題とし、具体的な活動として、会員向けJIMGA保安セミナーを開催し、技術・保安の向上に取り組んでいます。

メンバー

部会長 中村 圭 日本エア・リキード(同)

<保安対策WG>

WG長 庄野 元樹 イワタニ四国(株)
清水 和美 四国日本酸素(株)
渡辺 雄太 日本酸素(株)
加藤 省吾 高松帝酸(株)
鈴木 利光 (株)レゾナック・ガスプロダクツ
水口 宏之 日本液炭(株)
古田 正彦 日本エア・リキード(同)
長谷川 優樹 小池酸素工業(株)
川崎 起樹 高圧ガス工業(株)

<充填技術WG>

WG長 濱口 健二 土佐酸素(株)
一色 貴志 大和酸素工業(株)
大野 伸悟 エア・ウォーター西日本(株)
樋笠 和樹 四国アセチレン工業(株)
衣斐 八束 (株)東予ガスセンター

<製造技術WG>

WG長 加藤 範一 四国液酸(株)
澤原 雅行 松山オキシトン(株)

<エアガス技術WG>

WG長 澤原 雅行 松山オキシトン(株)

<アセチレン技術WG>

WG長 片岡 良介 四国アセチレン工業(株)

■ 主な活動

2025年度は、高圧ガス事故の撲滅のため、保安セミナーを開催しました。講習内容としては「防災対策事例」「水素ガス消費基準」「ヒヤリハット 事故事例から学ぶ」と題して、協会技術員により9月に保安セミナーを開催しました。

また、「高圧ガス取扱／譲渡提供等における化学物質管理者の専門講習」を10月に松山市で開催しました。

2026年度は、昨年度の企画内容をベースに「保安セミナー」を高松市で開催します。



保安セミナー風景

四国地域本部 企画部会

役割

長期停滞容器回収WGの活動を通じ、容器管理の推進および長期停滞容器・不明容器・放置容器の回収をすることにより、高圧ガス事故の撲滅に取り組んでいます。

具体的な活動としては、関係団体と連携して全国一斉高圧ガス容器回収運動にも参画しています。

メンバー

部会長 大橋 正明 四国アセチレン工業(株)

<長期停滞容器回収推進WG>

WG長 大橋 正明 四国アセチレン工業(株)

岡崎 靖大 四国日本酸素(株)

荒木 耕二 四国アセチレン工業(株)

村川 健太 イワタニ四国(株)

小島 克典 土佐酸素(株)

■ 主な活動

2025年度は、不明容器の回収・処理の要領に関する、各エリアの事例・問題点の情報共有を行うための会議を開催しました。

2026年度は、前年度の課題としていた、全国一斉高

圧ガス容器回収運動の際などに、四国四県から発出されている容器管理指針の見直し検討など、容器管理の推進に継続して取り組んでいます。



2026年高圧ガス容器特別回収月間ポスター

九州地域本部



1 役員一覧



地域本部長
増沢 信一郎

日本酸素(株)
理事 九州支社長

■副地域本部長

宮嶋 寛幸 福豊帝酸(株)
代表取締役社長
本間 雄一 福岡酸素(株)
代表取締役社長

亀田 州弘 エア・ウォーター西日本(株)
九州支社長
日高 達也 日本エア・リキード(同)
九州支社長

■幹事

江藤 佳史 江藤酸素(株) 代表取締役社長	(長崎県代表) 中嶋 勝弥 福岡酸素(株) 長崎支社長
堀尾 志伸 岩谷産業(株) 上級理事 九州支社長	(大分県代表) 山本 和久 江藤酸素(株) 取締役副会長
木全 明典 西日本高圧ガス(株) 取締役会長	(大分県代表) 森 正浩 江藤酸素(株) 取締役部長
垣本 浩次 高圧ガス工業(株) 九州地区長	(熊本県代表) 今川 敬志 内村酸素(株) 代表取締役社長
山本 治雄 日本液炭(株) 九州支社長	(熊本県代表) 白瀬 嗣久 熊本医療ガス(株) 代表取締役社長
(福岡県東代表) 古川 博章 (株)エア・ガズ北九州 取締役顧問	(宮崎県代表) 国谷 将之 宮崎酸素(株) 代表取締役社長
(福岡県西代表) 細川 洋行 (株)フクヨウ 代表取締役社長	(鹿児島県代表) 内村 武志 サツマ酸素工業(株) 代表取締役
(佐賀県代表) 福島 徳治 福岡酸素(株) 伊万里支社 支社長	(沖縄県代表) 平良 和彦 (株)オカノ 代表取締役社長
(長崎県代表) 山崎 俊隆 (株)武田商事 代表取締役社長	

■会計監事

重留 修 (有)浪速酸素商会 代表取締役会長	福田 愛二郎 (株)キフネ 代表取締役社長
櫻田 啓一郎 (株)九酸 執行役員営業部長	大下 幹人 岩谷瓦斯(株) 理事

2 主な活動

2025年度も風水害を中心に災害が頻発しました。九州地方では、地理的条件や急峻な地形に加え、近年の気象変動の影響による集中豪雨により、毎年のように各地で災害が発生しています。加えて、トカラ列島の群発地震、霧島・新燃岳の7年ぶりの噴火、大分市佐賀関における大規模火災なども発生し、交通やインフラに大きな影響を及ぼしました。こうした状況の中、災害に備える重要性は一層高まっています。

高圧ガス保安セミナーは、「医療ガスおよび設備の自然災害対策の手引き」ほか2テーマを掲げ、開催しました。また、化学物質管理者の専門講習には多くの方にご受講いただきました。医療ガス安全講習会についても佐賀県および鹿児島県の2か所で開催し、多数の医療従事者の皆様にご参加いただき、継続的な開催を望む声も多く寄せられています。

さらに、放置容器の根絶に向けた取り組みについては、関係団体および関係機関と連携し継続的に推進す

るとともに、停滞容器の抑止や容器管理指針の周知・啓発活動の強化を図りました。全国一斉特別回収月間における回収実績は、放置容器48本、停滞容器5,842本となっています。

同時期には、販売事業所点検および消費事業所点検を、例年どおり経済産業省九州産業保安監督部の後援のもと実施しました。販売事業所102軒、消費事業所1,043軒の点検を行い、不適合箇所については改善指導を実施しました。また、会員から寄せられた点検データをもとに傾向分析を行い、その結果をフィードバックしています。

本年度も、各部会・WGにおいて自然災害の激甚化や社会環境の変化を踏まえ、安全の確保に向けた取り組みを一層強化します。講習会や点検活動を通じて現場の安全意識の向上を図るとともに、関係機関との連携をさらに深め、事故・災害の防止に努めます。

3 2026 年度主要行事日程

日付	行事名称	場所	行事概要
4月10日	幹事会	オリエンタルホテル福岡	総会議案書事前承認
5月15日	九州地域本部定時総会	オリエンタルホテル福岡	議案書審議
7月17日	第1回合同部会（充填ガス・技術保安部会、教育事業部会、災害対策部会）	オリエンタルホテル福岡	保安セミナー講義テーマ
9月11日	販売・事業所点検活動WG	オリエンタルホテル福岡	
11月18日	医療ガス安全講習会	てだこホール（浦添市）	沖縄県支部
11月24日	幹事会・会長懇談会	オリエンタルホテル福岡	
12月1日	医療ガス安全講習会	J:COMホルトホール大分	大分県支部
12月6日	MGR認定試験	福岡商工会議所	
1月6日	九州地域本部賀詞交歓会	オリエンタルホテル福岡	
1月28日	MGR更新時集合講習	福岡県自治会館	
2月19日	第2回合同部会	オリエンタルホテル福岡	
2月頃	高圧ガス保安セミナー	未定	
3月19日	幹事会	オリエンタルホテル福岡	総会議案書事前承認



2026年度定時総会 会場風景



増沢本部長



来賓：経済産業省九州産業保安監督部
檜福部長

九州地域本部事務局長 都田 泰史



九州地域本部 充填ガス 技術・保安合同部会

役割

関連する二つの部会を合同部会として運営し、課題解決に向けたWGを組織して活動を行います。また、規制改革に関する事項についても本部会で取り組みます。

本部会は、充填工場における保安および品質の確保、会員事業者が抱える技術的課題の検討ならびに販売事業者・消費者への高圧ガスに関する知識および安全な取扱方法の普及啓発を目的として活動しています。充填作業・検査、自主基準、防災対策等をテーマに、部会、講習会および事業所点検を通じて自主保安活動を推進するとともに、行政、関係団体およびJIMGA本部の各WGと連携して事業を進めます。

メンバー

<充填ガス部会>

部会長	宮嶋 寛幸	福豊帝酸(株)
副部会長	杉谷 英範	(株)朝日酸素商会
	福島 徳治	福岡酸素(株)
	浅尾 友哉	(株)武田商事
	石橋 猛	内村酸素(株)
	後藤 和昭	江藤酸素(株)
	浜砂 幸次	宮崎酸素(株)
	内村 泰久	サツマ酸素工業(株)
	浦崎 隼人	(株)オカノ

<技術保安部会>

部会長	亀田 州弘	エア・ウォーター西日本(株)
	澤田 正樹	日本酸素(株)
	野口 佳孝	岩谷産業(株)

長家 茂	福岡酸素(株)
松本 英明	西日本高圧ガス(株)
荒木 邦雄	北九州ガスセンター(株)
森 忠昭	日本エア・リキード(同)
大滝 英寛	日本液炭(株)
野見山 隆一郎	福豊帝酸(株)
福島 徳治	福岡酸素(株)
佐々木 健一	(株)武田商事
石橋 猛	内村酸素(株)
後藤 和昭	江藤酸素(株)
浜砂 幸次	宮崎酸素(株)
内村 泰久	サツマ酸素工業(株)
浦崎 隼人	(株)オカノ

■ 主な活動

部会を年2回開催し、講習会計画やJIMGA表彰候補者の選考を行うほか、全国一斉高圧ガス容器特別回収月間における回収運動および販売・事業所点検活動を実施しています。販売・事業所点検は、WGおよび各県支部を中心に、九州産業保安監督部の後援を受けた

自主保安活動として実施しています。また、保安セミナーや医療ガス安全講習会を開催するとともに、関係団体と連携して容器管理の適正化や長期滞留容器の回収促進に取り組み、事故防止と保安意識の向上を図っています。

九州地域本部 教育事業部会

役割

教育事業部会は、会員事業者の安全確保と高圧ガスに係る知識・技術の向上を目的に、高圧ガス保安セミナーや医療ガス安全講習会の企画・運営、保安教育・啓発活動を行っています。また、福岡県消防保安課の依頼を受けた部会委員が保安技術アドバイザーとして講習会等に参加し、自主保安人材の育成に取り組んでいます。

メンバー

部会長	森 忠昭	日本エア・リキード(同)	上川床 篤人	(株)セントラルユニ
	角山 義樹	岩谷瓦斯(株)	澤田 正樹	日本酸素(株)
	野口 佳孝	岩谷産業(株)	大滝 英寛	日本液炭(株)
	後藤 和昭	江藤酸素(株)	長家 茂	福岡酸素(株)
	今里 政登	エア・ウォーター西日本(株)	菰田 敬幸	福岡酸素(株)
	荒木 邦雄	北九州ガスセンター(株)	野見山 隆一郎	福豊帝酸(株)

■ 主な活動

2025年度は、「基礎知識の習得と安全な取扱い」をテーマに医療ガス安全講習会を開催しました。

- ・佐賀県 10月21日 佐賀市文化会館イベントホール
- ・鹿児島県 11月26日 ホテル自治会館（鹿児島県市町村自治会館）

また、「～命を守るインフラを止めない～」をテーマとした高圧ガス保安セミナーを2月5日に福岡県自治会館で開催しました。さらに、福岡県主催の保安技術継承講座（12月18日・糸島市）へ講師を派遣したほか、県の要請により高圧ガス取扱事業所4事業所へ保安教育アドバイザーを派遣しました。



佐賀県業務課
越智主任薬剤師



医療ガス安全講習会：佐賀県会場風景



佐賀県消防保安室
山田主事



医療ガス安全講習会：鹿児島県会場風景



主催者挨拶
宮嶋副本部長



保安セミナー会場風景



保安セミナー
受講者募集案内

九州地域本部 災害対策部会

役割

自然災害や感染症等の災害リスクに備え、医療ガス・産業ガスの安定供給体制の確保を目的として活動します。災害対策に関する調査・検討、関係機関との連携強化、情報共有・啓発活動を通じて、会員事業者の災害対応力向上を図ります。

メンバー

部会長 堀尾 志伸 岩谷産業(株)
 宮嶋 寛幸 福豊帝酸(株)
 野見山 隆一郎 福豊帝酸(株)
 福島 徳治 福岡酸素(株)
 佐々木 健一 (株)武田商事
 石橋 猛 内村酸素(株)

亀田 州弘 エア・ウォーター西日本(株)
 大滝 英寛 日本液炭(株)
 後藤 和昭 江藤酸素(株)
 浜砂 幸次 宮崎酸素(株)
 内村 泰久 サツマ酸素工業(株)
 浦崎 隼人 (株)オカノ

九州地域本部

技術・保安部会 溶解アセチレン技術WG

役割

溶解アセチレン技術WGは、非アスベスト化促進から安全な取り扱い方の周知活動等までアセチレン全般の保安活動を行っています。全国一斉高圧ガス容器特別回収月間における回収運動では、最終集積場所2事業所を含む保管場所23事業所で一時保管を行い、所有者不明アセチレン容器および内容物不明容器は定期的にCRC西日本にて廃棄処理を行っています。

メンバー

WG長	荒木 邦雄	北九州ガスセンター(株)	澤田 正樹	日本酸素(株)
	野口 佳孝	岩谷産業(株)	森 忠昭	日本エア・リキード(同)
	後藤 和昭	江藤酸素(株)	松本 英明	西日本高圧ガス(株)
	翁長 健	(株)おきさん		

九州地域本部

技術・保安部会 炭酸ガス技術WG

役割

炭酸ガスの安全な取り扱いと技術・保安の向上を目的として活動します。本部炭酸ガス技術部会と連携し、技術・保安情報や事故事例、ヒヤリハット事例等の共有を行うとともに、会員が抱える課題について検討を行います。また、会員事業者および炭酸ガス消費者を対象とした炭酸ガス保安講習会の企画・運営を担い、経済産業省九州産業保安監督部をはじめとする関係機関の協力を得ながら、炭酸ガスの安全利用と知識・技術の向上に努めます。

メンバー

WG長	大滝 英寛	日本液炭(株)	野口 佳孝	岩谷産業(株)
	翁長 健	(株)おきさん	村田 眞信	(株)レゾナック・ガスプロダクツ
	田中 伸一	福岡酸素(株)	松原 義人	エア・ウォーター・グリーンデザイン(株)

九州地域本部

技術・保安部会 販売・消費事業所点検活動WG

役割

九州地域本部で独自に実施している販売事業所と消費事業所の保安点検活動です。九州産業保安監督部の後援のもと、WGを中心に県支部や会員各社、九州高圧ガス容器管理委員会、九州高圧ガス流通保安連合会と連携し、自主保安活動を実施しています。

メンバー

WG長	森 忠昭	日本エア・リキード(同)	野見山 隆一郎	福豊帝酸(株)
	野口 佳孝	岩谷産業(株)	福島 徳治	福岡酸素(株)
	今里 政登	エア・ウォーター西日本(株)	佐々木 健一	(株) 武田商事
	荒木 邦雄	北九州ガスセンター(株)	飯沼 由博	内村酸素(株)
	澤田 正樹	日本酸素(株)	野尻 祐二	江藤酸素(株)
	松本 英明	西日本高圧ガス(株)	谷口 修	宮崎酸素(株)
	大滝 英寛	日本液炭(株)	内村 泰久	サツマ酸素工業(株)
	田中 伸一	福岡酸素(株)	翁長 健	(株)おきさん

■ 主な活動

2025年度は、10～11月の2か月間にわたり、点検指導員232名、消費事業所860軒のご協力のもと、1,035件（1事業所当たり平均1.2件）の改善指導を実施しました。今年度も「教育訓練」、「各種講習会」、「設備点検」

を重点項目として取り組むとともに、各県が発行する「容器管理指針」の周知を通じて、停滞容器の発生抑止に向けた啓発活動を推進します。

会員企業一覧 (50 音順)

会員法人数 731 社 2026 年 7 月 1 日現在

正会員

株式会社 I E E
アイ・エヌ・ジェイガスセンター株式会社
株式会社アイ・エム・シー
株式会社愛岐酸素
会津ガス株式会社
アイ・テック・サービス株式会社
株式会社相場商店
株式会社アイビージャパン
株式会社アイメッド
葵産業株式会社
秋酸工業株式会社
秋田液酸工業株式会社
株式会社アコー
旭化成酸素株式会社
朝日産業株式会社
株式会社朝日酸素商会
株式会社旭製作所
株式会社 A D E K A
株式会社アポロ月山
尼崎水素株式会社
合資会社天草酸素
株式会社荒川七衛商店
有限会社荒木商店
株式会社阿波酸素
有限会社あわじ瓦斯販売
安藤酸素工業有限会社
五十嵐医科工業株式会社
株式会社イキ
石川金属工業株式会社
株式会社石原製作所
株式会社石松商会
株式会社泉産業
株式会社市川総合ガスセンター
市村酸素株式会社

伊藤忠工業ガス株式会社
株式会社イノメディックス
茨石商事株式会社
株式会社茨城ガスサービス
茨城ガスセンター株式会社
イビデンケミカル株式会社
株式会社伊万里高压ガスセンター
有限会社医療アシスト
岩井産業株式会社
株式会社いわき共同ガスセンター
株式会社いわきサンソセンター
岩国酸素株式会社
株式会社イワサワ
岩谷瓦斯株式会社
イワタニ熊本ガスセンター株式会社
岩谷産業株式会社
イワタニ四国株式会社
イワタニ福岡ガスセンター株式会社
イワタニ北陸ガスセンター株式会社
岩手工業株式会社
岩手酸素株式会社
有限会社石見商会
因の島ガス株式会社
株式会社ウエキコーポレーション
株式会社植野ガス
有限会社ウエノ商会
株式会社上村産業
ウエルディングガス九州株式会社
ウエルテック株式会社
内田商事株式会社
有限会社内田熔材店
内村ガス工業株式会社
内村酸素株式会社
宇野酸素株式会社

株式会社エアーマディックス
エア・ウォーター株式会社
エア・ウォーター・ガスプロダクツ株式会社
エア・ウォーター・グリーンデザイン株式会社
エア・ウォーター産業・医療ガス株式会社
エア・ウォーター西日本株式会社
エア・ウォーター東日本株式会社
エア・ウォーター防災株式会社
エア・ウォーター・ライフソリューション株式会社
株式会社エア・ガシズ北九州
エア・ケミカルズ株式会社
エア・リキード工業ガス株式会社
株式会社エイ・エム・シー
エイフク株式会社
エー・エム・メディカル株式会社
株式会社エキカ
株式会社エキサン
株式会社エス・イー・アレックス
エスケイシリンダー株式会社
江藤酸素株式会社
有限会社恵那酸素
エナジー・ワン株式会社
エネックスジャパン株式会社
株式会社エバ
江場酸素工業株式会社
株式会社エバホームケアサービス
株式会社エフエスナゴヤ
株式会社エフエスユニ
株式会社エム・ジー大阪
株式会社大岡酸素商会
大阪ガスリキッド株式会社
大阪車輛工業株式会社
株式会社大阪パッケージガスセンター
大谷酸素株式会社

株式会社大玉溶材
株式会社大牟田高压ガスセンター
株式会社大森器械店
株式会社オカノ
オカモト産業株式会社
岡本商事株式会社
岡谷酸素株式会社
株式会社おきさん
オキサン
有限会社隠岐酸素
OxyCare Japan株式会社
オキシケアマネジメント有限会社
株式会社オキシテック
株式会社オクムラ商会
有限会社小野商事
小原ガスセンター株式会社
オブリック株式会社
尾鷲石川商工株式会社
株式会社カインドガス
株式会社楓商店
カガク興商株式会社
鹿児島オキシトン株式会社
鹿児島酸素株式会社
鹿児島溶材株式会社
春日井ガスセンター株式会社
株式会社ガス研
有限会社ガスタ松原
株式会社加藤酸素
金子運送有限会社
株式会社カネコ商会（青森県）
株式会社カネコ商会（新潟県）
有限会社加納商店
カミマル株式会社
川口総合ガスセンター株式会社

川崎オキシトン株式会社
川瀬産業株式会社
株式会社カワムラ
管機械産業株式会社
関西医療株式会社
カンサン株式会社
関東アセチレン工業株式会社
関東液酸株式会社
関東酸素工業株式会社
関東電化工業株式会社
株式会社K i s t
北関東東洋株式会社
北関東日酸株式会社
北九州オキシトン株式会社
北九州ガスセンター株式会社
北島酸素株式会社
北日本アセチレン株式会社
北日本産商株式会社
北日本酸素株式会社
有限会社きどころ商店
木原鎔材株式会社
岐阜エア・ウォーター株式会社
岐阜酸素株式会社
株式会社キフネ
株式会社君津サンソセンター
株式会社九酸
九州工業ガス株式会社
九州酸素株式会社
株式会社九州サンソセンター
有限会社九州電気酸素商会
九州福祉医療サービス株式会社
株式会社九州北部ガスセンター
九州冷熱株式会社
協亜ガス工業株式会社

協栄興業株式会社
協業組合北部ガスセンター
共同ガス株式会社
共同高圧ガス工業株式会社
株式会社共同酸器
共同炭酸株式会社
京都帝酸株式会社
共立医科器械株式会社
協和ガス株式会社
有限会社共和酸素商会
有限会社協和商会
協和商工株式会社
株式会社キョーエイ
近畿医療設備株式会社
株式会社キンキ酸器
近畿酸素株式会社
近畿炭酸株式会社
株式会社工藤酸素店
有限会社クボタ商会
熊本医療ガス株式会社
熊本液酸株式会社
熊本オキシトン株式会社
熊本酸素株式会社
株式会社クリオ・エアー
久留米熔接器具工業所
呉ガスセンター株式会社
株式会社黒木酸素商会
クロスウィルメディカル株式会社
クロックス株式会社
株式会社ケア・テック
有限会社K S
株式会社ケイ・エム・シー
京葉帝酸株式会社
K G K サービス株式会社

気仙沼酸素株式会社
ケミカルジャパン株式会社
株式会社県央ガスセンター
コイケ酸商株式会社
小池酸素工業株式会社
株式会社小池メディカル
高圧ガス工業株式会社
株式会社神戸サンソ
甲村酸素
株式会社公和通商
株式会社郡山酸素商会
株式会社コールド・エアー・プロダクツ
小篠酸素株式会社
小松精機株式会社
古宮酸素株式会社
近藤商事株式会社
サーラエナジー株式会社
株式会社西海総合ガスセンター
埼京日酸株式会社
有限会社西郷マル平
株式会社サイサン
株式会社サウスウェイ
サカ中産業株式会社
相模アセチレン株式会社
相模原液酸株式会社
有限会社佐川酸素
株式会社佐々啓
サツマ医療株式会社
サツマガス工業株式会社
サツマ酸素工業株式会社
株式会社佐藤酸素
株式会社ザ・トーカイ
有限会社サト商会
山陰酸素工業株式会社

株式会社三櫻
株式会社三喜商会
株式会社サンキメディカル
有限会社三共酸素商会
株式会社サンケミ
三興産商株式会社
三光商事株式会社
株式会社三光堂
サンコウメディカル株式会社
株式会社 S a n k o M e d i c a l
株式会社サンメディカル
株式会社サンモルト
山陽エア・ケミカルズ株式会社
山陽酸素株式会社
山陽電子工業株式会社
サンリン株式会社
株式会社三和ガス商会
三和興産株式会社
株式会社ジーシー東海
J F E コンテナー株式会社
株式会社 J F E サンソセンター
滋賀カーバイド株式会社
四国アセチレン工業株式会社
四国液酸株式会社
四国酸素株式会社
四国日本酸素株式会社
四国溶材株式会社
静岡液酸株式会社
静岡ガスセンター株式会社
静岡酸素株式会社
株式会社シマキュウ
株式会社島子商店
島田酸素株式会社
株式会社ジャパンヘリウムセンター

周南酸素株式会社
株式会社商起産業
城東日酸株式会社
荘内ガス株式会社
城南共同酸素株式会社
上毛天然瓦斯工業株式会社
昭和酸素株式会社
株式会社ジョーサン
株式会社シルベックス
新鋭工業株式会社
神鋼エア・ウォーター・ガス株式会社
伸光工業株式会社
新光酸商株式会社
新相模酸素株式会社
進誠メディカル株式会社
株式会社新東
株式会社神野正文商店
新洋酸素株式会社
株式会社シンワ
杉浦高压株式会社
杉浦産業株式会社
杉本工業株式会社
株式会社鈴木商館
鈴木製菓株式会社
株式会社鈴商総合ガスセンター
株式会社ステリテック
住友精化株式会社
製鉄オキシトン株式会社
西部特機工業株式会社
株式会社世田谷酸素商事
株式会社ゼネラルガスセンター
株式会社セルフ
仙台アセチレン株式会社
株式会社仙台サンソセンター

セントラル硝子株式会社
株式会社セントラルユニ
泉北酸素株式会社
株式会社相互物産
株式会社ソエダ
十合刈谷酸素株式会社
株式会社ソノダ
株式会社第一医療器
第一開明株式会社
株式会社タイガーマディカルガス
株式会社タイガー薬品
大協物産株式会社
ダイキン工業株式会社
株式会社大興
株式会社大合商会
株式会社大同商会
大日本アガ株式会社
株式会社ダイビングシステムサービス
太平産業株式会社
株式会社大平洋ガスセンター
太平熔材株式会社
大丸エナウィン株式会社
株式会社大明
大洋化学工業株式会社
株式会社大洋サンソ
大洋酸素株式会社
株式会社大和
大和酸素株式会社
大和酸素工業株式会社
大和酸素販売有限会社
株式会社大和商会
大和熔材株式会社
有限会社高雄商店
株式会社高田太郎商店

高千穂化学工業株式会社
株式会社高橋栄商店
有限会社高橋酸素
高浜酸素株式会社
高松帝酸株式会社
高山産業株式会社
株式会社田口興産
株式会社武田商事
タケモト商会株式会社
立川酸素株式会社
有限会社立花商事
タツミ産業株式会社
有限会社田中酸素
田中酸素株式会社
田中館ガス店
田邊工業株式会社
株式会社筑豊商会
知多高压ガス株式会社
知多炭酸株式会社
株式会社千葉サンソセンター
千葉日酸株式会社
株式会社中央医科酸器
株式会社中岸商店
中京医療株式会社
中京産商株式会社
中国アセチレン株式会社
中国コイケ株式会社
中国酸素株式会社
中部液酸株式会社
株式会社中部自動車整備工場
中部冷熱株式会社
株式会社千代田
有限会社津機工
ツチダ産業株式会社

株式会社鶴崎サンソセンター
株式会社ティーエムエアー
帝人ファーマ株式会社
帝人ヘルスケア株式会社
東亜合成株式会社
東亜産業株式会社
東亜テクノガス株式会社
東遠ガス溶材株式会社
東海アセチレン株式会社
東海液酸株式会社
東海ガスユナイテッド株式会社
東海総合ガスセンター株式会社
東海溶材株式会社
東京液化酸素株式会社
東京ガスケミカル株式会社
東京高压山崎株式会社
株式会社東京酸器
東京酸素株式会社
東京酸素窒素株式会社
東京炭酸株式会社
東京ホームケア株式会社
株式会社東酸
東曹ダイスイ株式会社
東部酸素株式会社
東部ネットワーク株式会社
東邦アセチレン株式会社
東邦岩手株式会社
東邦酸素工業株式会社
東邦福島株式会社
東邦北海道株式会社
東邦冷熱株式会社
東北酸素株式会社
堂本商事株式会社
東洋高压ガス株式会社

東洋工器株式会社
東陽実業株式会社
東洋商事株式会社（北海道）
東洋商事株式会社（千葉県）
株式会社東予ガスセンター
東横化学株式会社
一般社団法人徳洲会
株式会社特殊ガス商会
土佐酸素株式会社
栃木共同アセチレン株式会社
有限会社栃木高压ガス
苫小牧共同酸素株式会社
苫小牧埠頭株式会社
株式会社巴商会
豊田ガスセンター株式会社
株式会社トリケミカル研究所
直江津アセチレン株式会社
長岡商事株式会社
株式会社中尾酸素
長崎液酸株式会社
長崎酸素株式会社
有限会社長門商会
長野液酸工業株式会社
中野酸工株式会社
株式会社中村酸素
中山商事株式会社
株式会社ながよう
名古屋ガスセンター株式会社
名古屋興酸株式会社
名古屋酸素株式会社
株式会社名古屋サンソセンター
名古屋日酸株式会社
株式会社ナック
浪速酸素株式会社

有限会社浪速酸素商会
株式会社南九オキシコ
株式会社ナンブ
南予プロパン株式会社
新潟アイ・ジー・エス株式会社
新潟液酸株式会社
新潟ガス工業株式会社
新潟高压ガス株式会社
新潟水素株式会社
新潟熔材株式会社
西川産業株式会社
西日本イワタニガス株式会社
株式会社西日本オキシテック
西日本高压ガス株式会社
株式会社西日本酸器
有限会社西村酸素販売
ニッキフッコー株式会社
株式会社日協堂医療器
日興酸素株式会社
株式会社ニッコーコーポレーション
日産化学株式会社
日酸 T A N A K A 株式会社
日成溶材株式会社
日鉄ケミカル & マテリアル株式会社
日東高压株式会社
日東高压化学工業株式会社
日東物産株式会社
日本酸素株式会社
日本酸素エンジニアリング株式会社
日本酸素 G&W 株式会社
日本酸素 J F P 株式会社
日本酸素東関東株式会社
日本酸素北海道株式会社
日本酸素メディカルエンジニア株式会社

日本酸素メディカルサイト株式会社
日本炭酸瓦斯株式会社
日本ヘリウム株式会社
日本医療株式会社
日本エア・リキード合同会社
日本液炭株式会社
日本化学工業株式会社
日本ガスケミ株式会社
日本ガスコム株式会社
株式会社日本高压瓦斯
日本メガケア株式会社
日本ルフト株式会社
有限会社布川酸素商会
沼津酸素工業株式会社
ネクスト・ワン株式会社
根室ガス販売株式会社
株式会社ネリキ
有限会社野田酸素商会
株式会社延岡高压ガスセンター
有限会社野村酸素
株式会社ハイドロエッジ
博多共同酸素株式会社
株式会社萩原酸素商会
函館酸素株式会社
ハシダ技研工業株式会社
株式会社ハシモト
橋本酸素商会
株式会社パスカルメディカ
長谷川酸素株式会社
八戸液酸株式会社
八戸共同酸素株式会社
有限会社八戸青電舎
株式会社ババ
株式会社馬場酸素

株式会社ハマイ
株式会社濱田気工
有限会社濱野産業
株式会社浜松エア・サプライ
ハヤシカネエネルギー株式会社
林酸素株式会社
はらガス産業株式会社
株式会社原田商店
東日本イワタニガス株式会社
東日本高压株式会社
東日本メディカルガス株式会社
株式会社東三河総合ガスセンター
光酸素株式会社
肥後水産有限会社
株式会社日立商事
有限会社日田プロパンガス商会
日出男商会
日之出酸素株式会社
日ノ丸産業株式会社
美唄ガス株式会社
株式会社百一酸素
Hyogo Gas Supply Center 株式会社
株式会社平野酸素商会
株式会社平山商店
株式会社広川高压ガスセンター
広島高压ガス株式会社
広島酸素株式会社
広島日酸株式会社
有限会社広島溶材
琵琶商事株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
フォトニクス株式会社
福岡酸素株式会社
福島液酸株式会社

株式会社福島オーソー
株式会社福島共同ガスセンター
福島酸素株式会社
有限会社福島熔材工業所
有限会社福田酸素商会
フクダライフテック関西株式会社
フクダライフテック関東株式会社
フクダライフテック北東北株式会社
フクダライフテック九州株式会社
フクダライフテック京滋株式会社
フクダライフテック四国株式会社
フクダライフテック常葉株式会社
フクダライフテック中国株式会社
フクダライフテック中部株式会社
フクダライフテック東京株式会社
フクダライフテック兵庫株式会社
フクダライフテック北信越株式会社
フクダライフテック北海道株式会社
フクダライフテック南東北株式会社
フクダライフテック横浜株式会社
福豊帝酸株式会社
福山液酸株式会社
株式会社フクヨウ
有限会社房生商会
富士アセチレン工業株式会社
藤井医療器株式会社
株式会社富士医科精器
藤井商事株式会社
藤井物産株式会社
藤岡熔材株式会社
フジオックス株式会社
富士酸素株式会社
富士酸素工業株式会社
株式会社富士商会

藤田産業株式会社
藤田酸素工業株式会社
富士見興業株式会社
株式会社藤村商店
株式会社富士山
フジヤマ酸素株式会社
株式会社伏山酸素商会
藤原酸素商店
豊前高圧ガス株式会社
福興商事株式会社
有限会社船川石油店
株式会社平和酸素商会
株式会社宝山産業
北越アセチレン株式会社
北酸株式会社
北酸高圧瓦斯株式会社
北陸イワタニガス株式会社
北陸エア・ケミカルズ株式会社
北陸液化産業株式会社
北陸液酸工業株式会社
北良株式会社
株式会社星医療酸器
株式会社細谷地
北海道アセチレン株式会社
本多酸素株式会社
本田商會株式会社
本田溶材
舞鶴大同ガス株式会社
株式会社榎原プロパン商会
株式会社マスコール
株式会社増田医科器械
株式会社まちづくり公社
松田石油株式会社
有限会社松原産業

株式会社松原商店
株式会社松本薬品
松山オキシトン株式会社
松山酸素株式会社
マリヤ医科興業株式会社
有限会社マルオ商事
株式会社丸協酸素商会
マル商ガス株式会社
株式会社丸大工機商会
株式会社マルホン
丸由工材株式会社
株式会社まんぼう
株式会社三浦溶材
三国液酸株式会社
水沢ガス株式会社
株式会社水島オキシトン
有限会社ミズノ
株式会社ミタス
道端熔材株式会社
三井化学株式会社
株式会社ミツウロコヴェッセル東北
株式会社緑屋酸素
株式会社南九州ガスセンター
宮崎酸素株式会社
宮野医療器株式会社
株式会社ミヤノメディックス
株式会社宮原酸素
宮原酸素株式会社
三好産業有限会社
有限会社椋木商会
有限会社むつ酸素
村田株式会社
株式会社ムラタ
明王丸商事株式会社

有限会社メディカル技研
株式会社メディカルサカイ
株式会社メディカル・リキッド
株式会社メドックス
株式会社モテキ
株式会社モリ
森本鉄工有限会社
守屋酸素株式会社
森脇産業株式会社
合資会社八重山自動車商会
株式会社八神製作所
安浦アセチレン株式会社
山一資材株式会社
山内酸器株式会社
山形液酸株式会社
山形高压ガス株式会社
山形酸素株式会社
山口酸素株式会社
株式会社山国商会
ヤマザキ産業株式会社
山澤酸素株式会社
山下医科器械株式会社
山正酸素株式会社（青森県）
山正酸素株式会社（福島県）
株式会社ヤマックス
株式会社大和サンソ
山梨東海株式会社
有限会社山原商会
山脇酸素株式会社
UBE株式会社
株式会社ユタカ
ユニオンテック株式会社
ユニオンメディカル株式会社
株式会社ユミヤマ

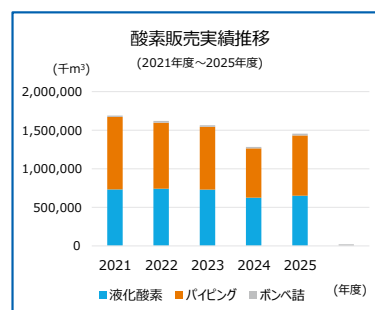
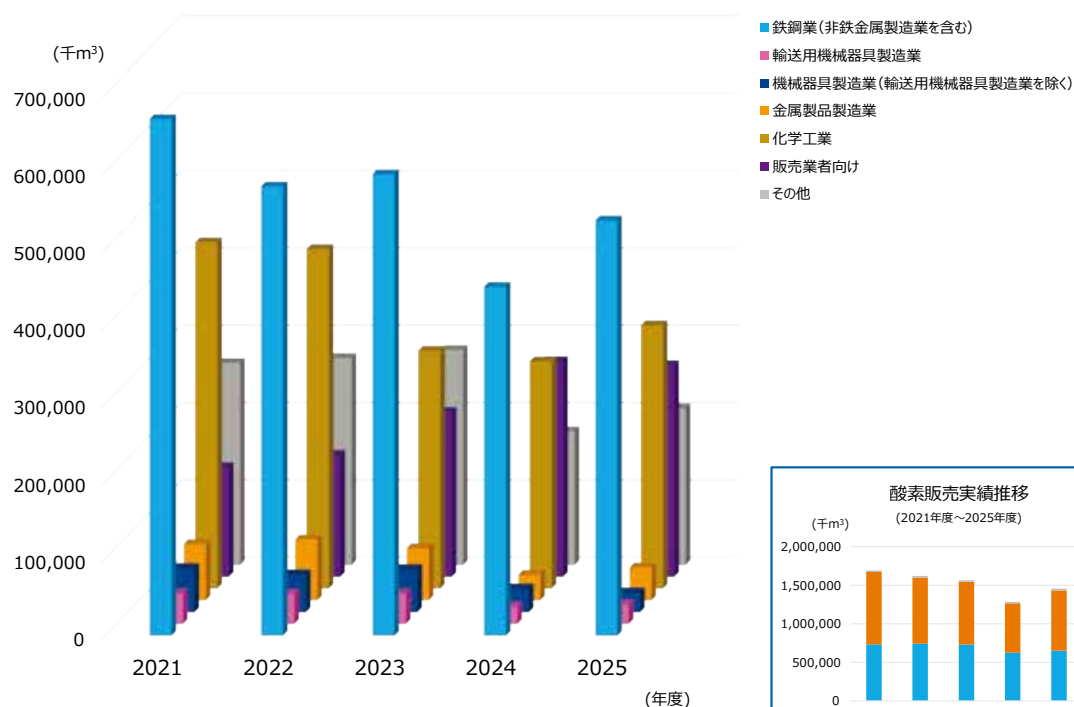
横浜ケミカル株式会社
有限会社横山酸素店
吉住酸素工業株式会社
ヨシダ高圧株式会社
株式会社吉田酸素
有限会社吉富酸素商会
吉安商事株式会社
四日市オキシトン株式会社
株式会社両備エネシス
リンクス株式会社
株式会社レゾナック
株式会社レゾナック・ガスプロダクツ
株式会社若井商店
和歌山酸素株式会社
株式会社和光産業商会
株式会社渡辺商会
渡辺プロパンガス株式会社
株式会社渡商会

賛助会員

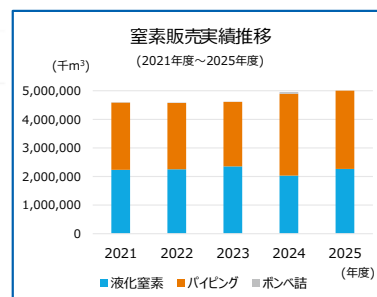
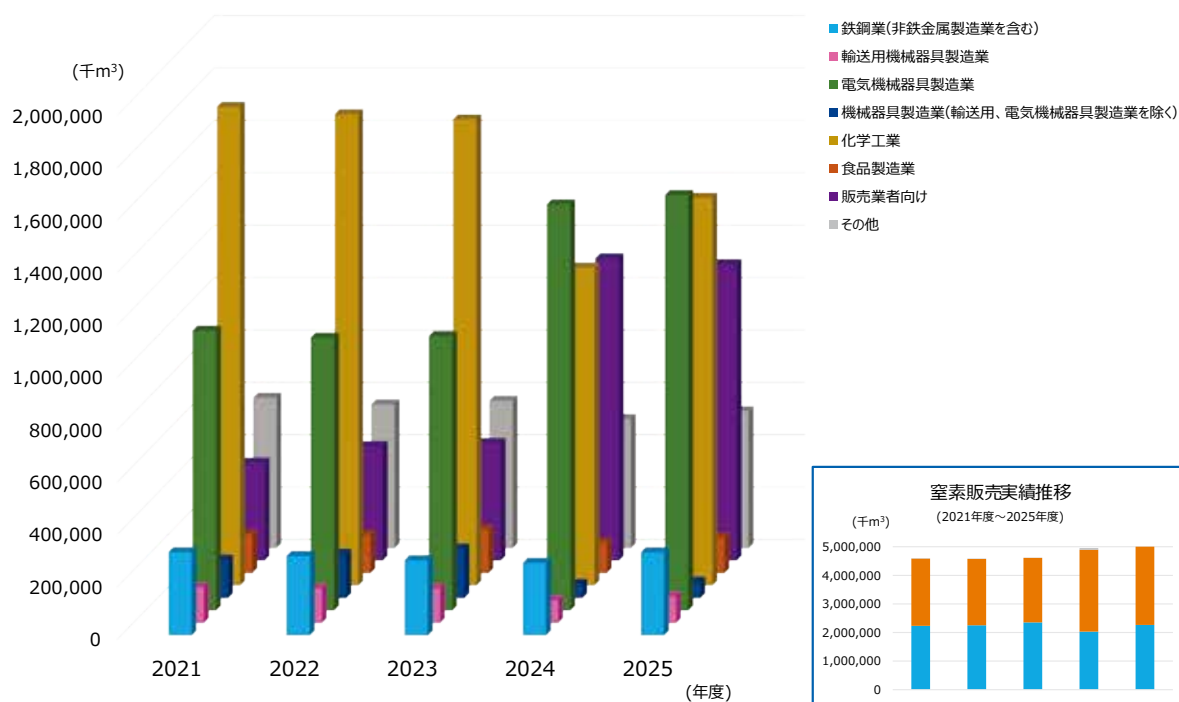
イハラサイエンス株式会社
イワタニガスエンジニアリング株式会社
エア・ウォーター・エンジニアリング株式会社
エーテック株式会社
一般財団法人エンジニアリング協会
大阪薬研株式会社
一般財団法人化学物質評価研究機構
ガス保安検査株式会社
株式会社クライオワン
特別民間法人高圧ガス保安協会
高圧昭和ボンベ株式会社
高圧容器工業会
株式会社コムフェイス
株式会社C R C 西日本
株式会社ジェック東理社
神鋼エアテック株式会社
住友重機械工業株式会社
住友精密工業株式会社
一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会
超低温機器協会
株式会社千代田精機
デンカ株式会社
東洋電化工業株式会社
日本酸素A T I 株式会社
日本高圧ガス容器バルブ工業会
株式会社ニヤクコーポレーション
フクダ電子株式会社
株式会社フジキン
ベッカーエアテクノ株式会社
株式会社ベンカン機工
株式会社宮入バルブ製作所
未来工業株式会社

統計データ（JIMGA ウェブサイトに会員向けに掲載している統計資料を基にグラフ化しています。）

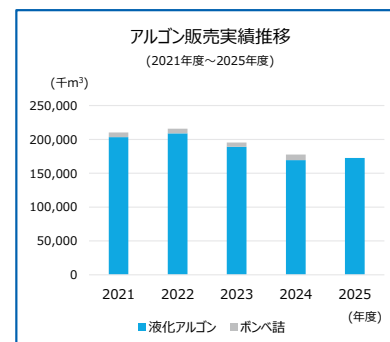
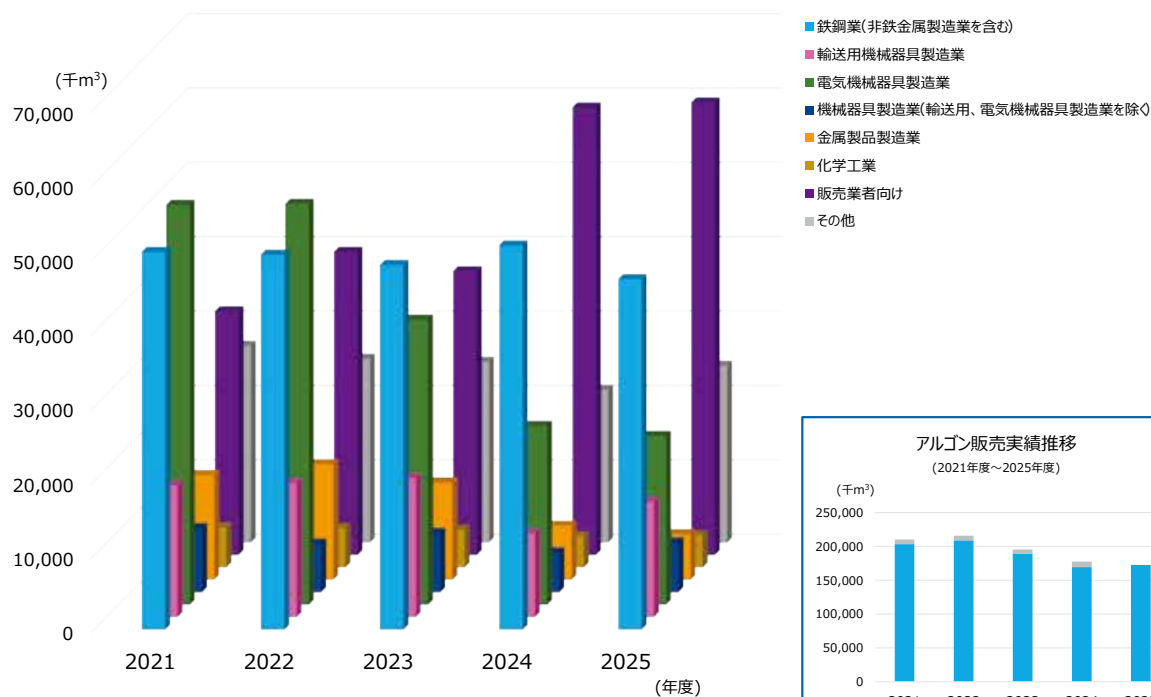
酸素 業種別販売実績推移（2021 年度～2025 年度）4 月～3 月



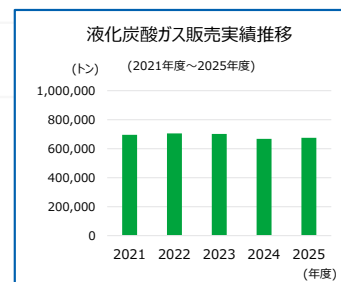
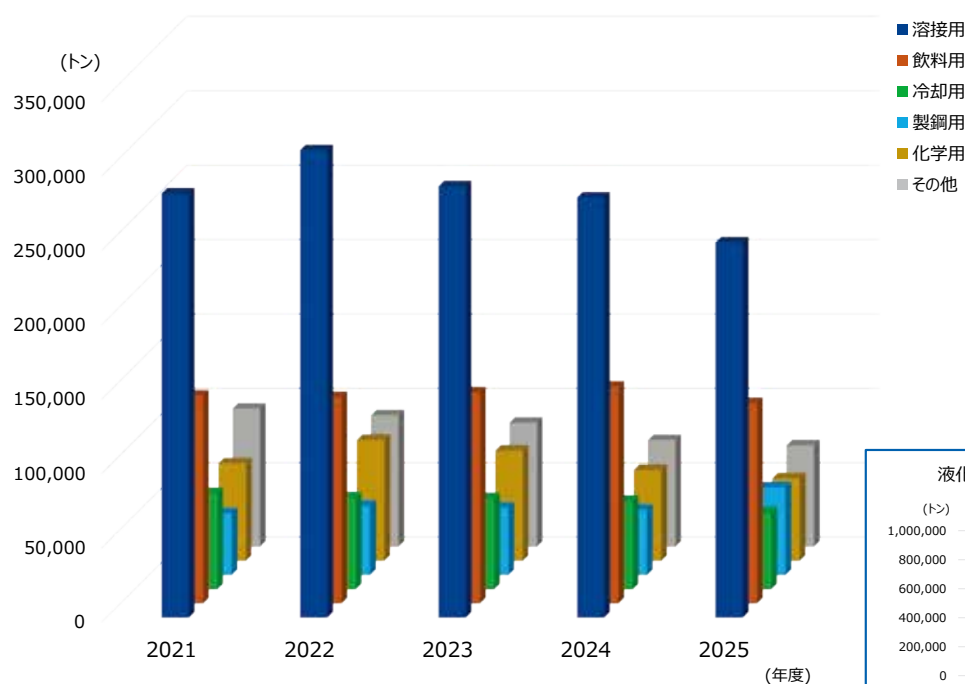
窒素 業種別販売実績推移（2021 年度～2025 年度）4 月～3 月



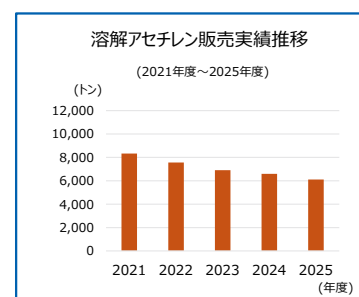
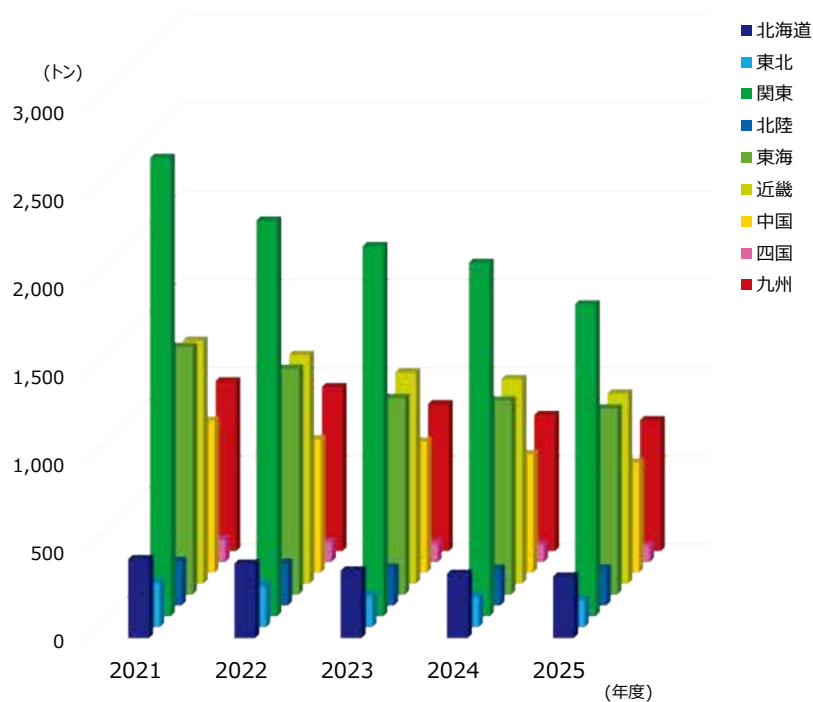
アルゴン 業種別販売実績推移 (2021年度～2025年度) 4月～3月



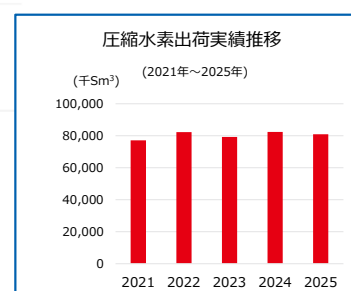
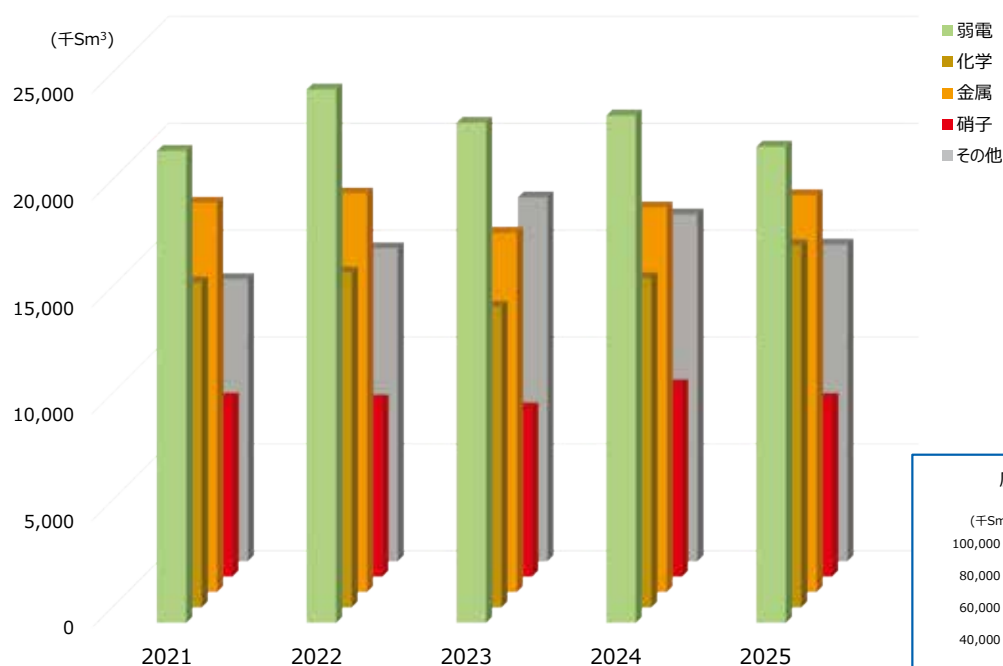
液化炭酸ガス 用途別出荷実績推移 (2021年度～2025年度) 4月～3月



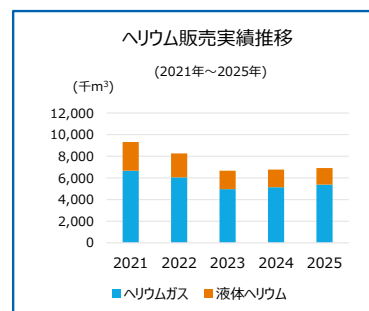
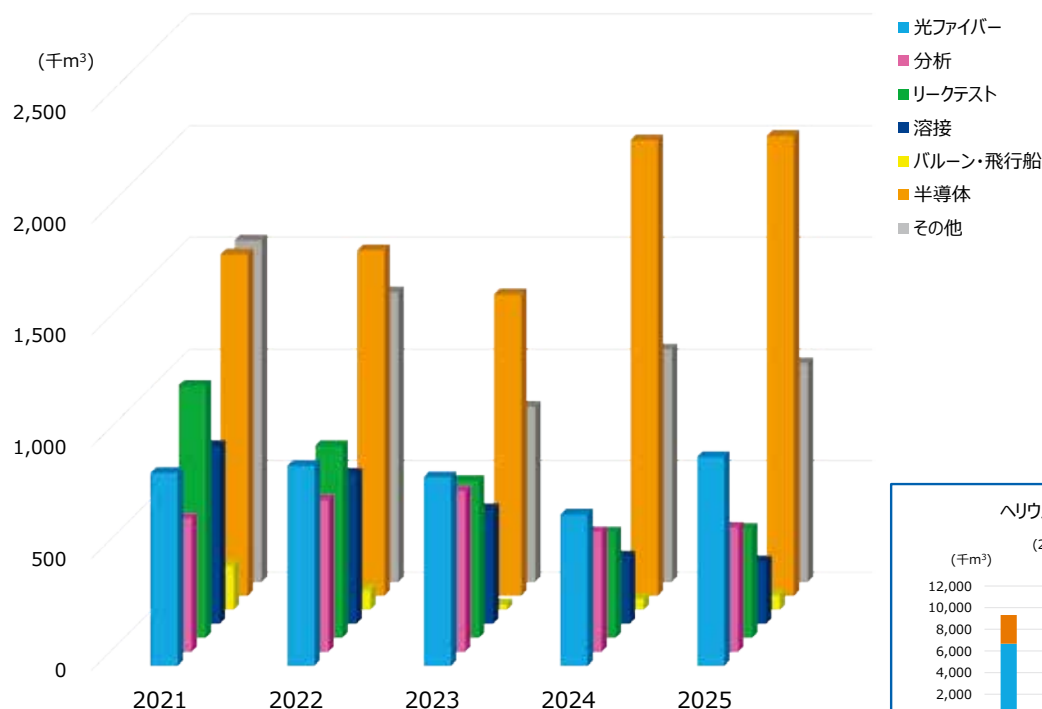
溶解アセチレン 地区別販売実績推移 (2021 年度～2025 年度) 4 月～3 月



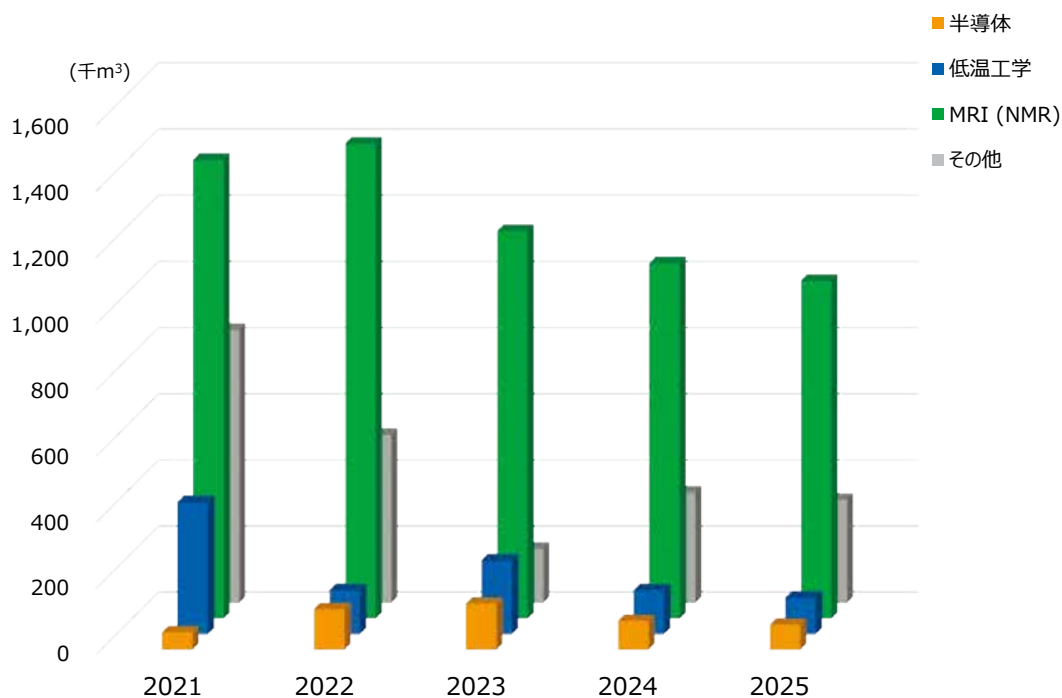
圧縮水素 分野別出荷実績推移 (2021 年～2025 年) 1 月～12 月



ヘリウムガス 用途別販売実績推移 (2021年～2025年) 1月～12月



液体ヘリウム 用途別販売実績推移 (2021年～2025年) 1月～12月

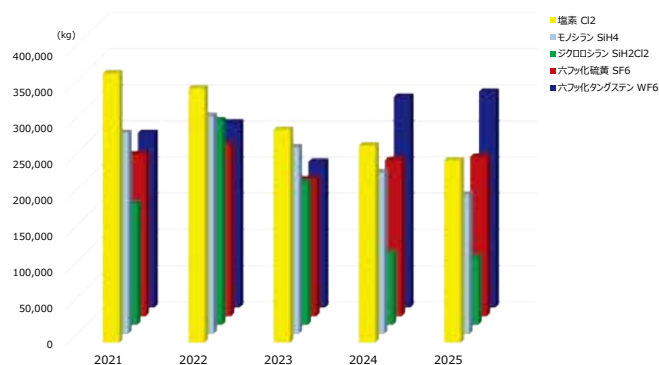


半導体材料ガス等 ガス別販売実績推移 (2021年～2025年) 1月～12月

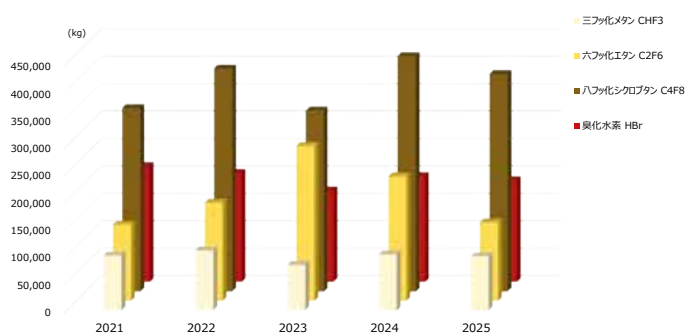
半導体材料ガス等ガス別販売実績推移Ⅰ (2021年～2025年)



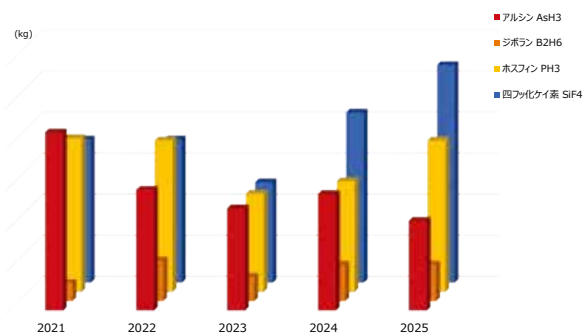
半導体材料ガス等ガス別販売実績推移Ⅱ (2021年～2025年)



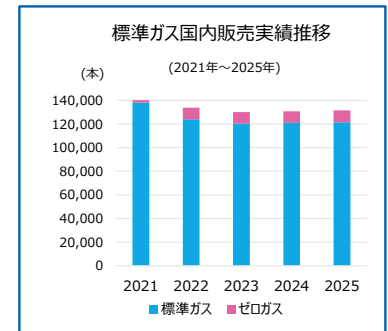
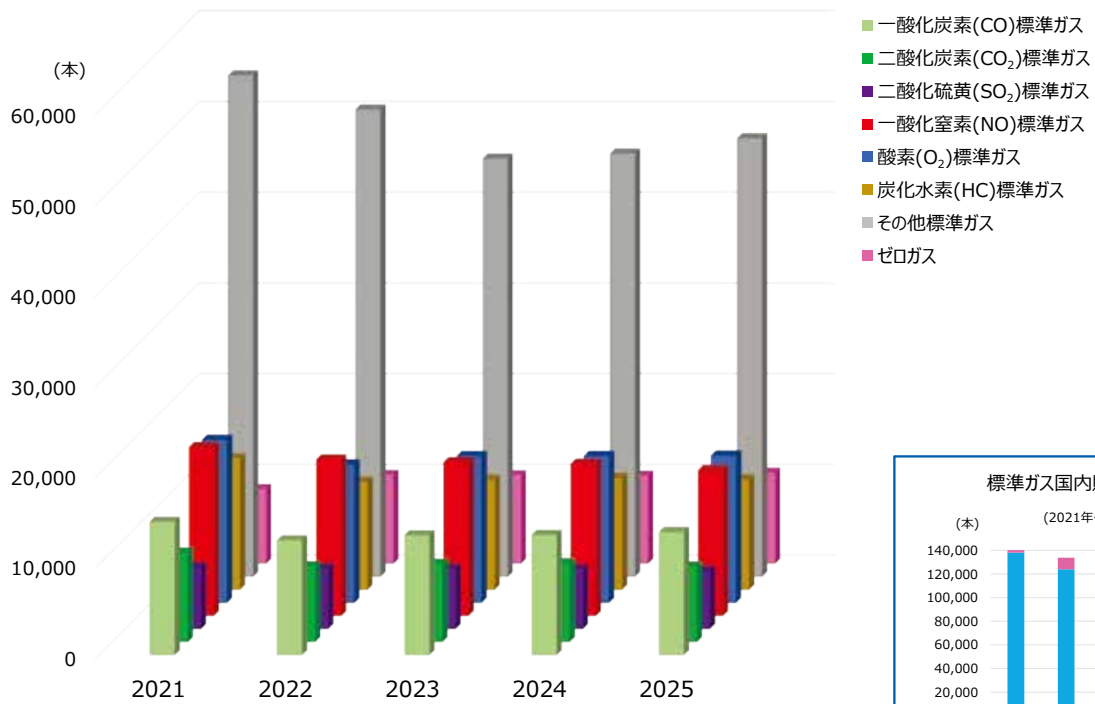
半導体材料ガス等ガス別販売実績推移Ⅲ (2021年～2025年)



半導体材料ガス等ガス別販売実績推移Ⅳ (2021年～2025年)



標準ガス 国内販売実績推移 (2021年～2025年) 1月～12月



編集後記

令和八年熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

本レポートの作成にご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

この原稿を執筆している八月上旬、窓の外からは厳しい陽射しと蝉しぐれが聞こえてきます。毎年のように記録を更新する酷暑に、気候変動が「今そこにある現実」であることを実感せざるを得ません。

そんな中、自宅の向かいにお住まいのご夫婦は、今も毎日欠かさず「打ち水」をされています。その前を通りかかるたびに心がすっとするのですが、気化熱による涼やかさ以上に、異常ともいえる気象の中、日々変わらずご自身のなすべきことを淡々とこなす、その姿勢に心和む

思いがします。

テレビをつければ、日々戦争や災害のニュースが飛び込んできます。しかし、こんな時代だからこそ、当協会が掲げる「モノづくりを支え命を守る、インフラがある。」という言葉が静かに囁みしめたいと思います。どのような事態であっても、多様な産業や医療の現場を支えるため、一つひとつの課題に知恵を絞り、誠実に自分たちの役割を果たしていく。そういった姿勢が、これまで以上に大切になっているのではないのでしょうか。

本レポートが、当協会の活動へのご理解を深め、皆様の事業の一助となれば幸いです。

JIMGA 広報委員長 揚 鋼一郎

JIMGA REPORT 2026

発行日 2026 年 9 月

発行所 一般社団法人 日本産業・医療ガス協会

〒105-0014 東京都港区芝3丁目43-15 芝信三田ビル4階

TEL 03-6665-8210

<https://www.jimga.or.jp/>

発行人 揚 鋼一郎

印刷 株式会社サンワ

©2026 Japan Industrial and Medical Gases Association



JIMGAウェブサイトをご利用ください！

JIMGAウェブサイトでは、会員会社の役員・従業員の方であれば、ご自分のメールアドレスで、ユーザー登録をすることで会員限定コンテンツを閲覧できるようになっています。ユーザー登録方法は下記のとおりですので、早速ユーザー登録をしてみましょう！



JIMGAウェブサイト

！ ユーザー登録にあたっての注意点

本登録方法は、所属されている会社に専用ドメイン(例えばJIMGAであれば“@jimga.or.jp”)がある場合のみ有効です。所属会社に専用ドメインがない場合は下記の方法では登録できませんので、JIMGA本部までお問合せください。

ユーザー登録手順

- 1 JIMGAウェブサイト(<https://www.jimga.or.jp/>)にアクセスし、画面右上にある「会員ログイン」をクリックします。
- 2 画面右側にある「新規ユーザー登録」をクリックします。
- 3 利用規約を読み、「上記に同意する」にチェックをつけて、「ユーザー仮登録へ進む」をクリックします。
- 4 会社名欄に所属する企業名を入力して、「検索」をクリックします。
- 5 検索結果から、会員企業・事業所を選択し、「選択」をクリックします。
- 6 選択した企業の専用ドメインが表示されますので、自分のメールアドレスと同じドメインを選んで「選択」をクリックします。
- 7 自分のユーザー名(メールアドレスの@より前の部分)を入力し、「送信」をクリックします。
- 8 JIMGAからメールが届きますので、メールに記載されているURLをクリックします。
- 9 ユーザー本登録手続画面でパスワード、姓名、姓名フリガナ等を入力し、「内容を確認」をクリックします。
- 10 内容確認画面に表示されている項目でよければ、「登録する」をクリックすると本登録が完了します。以降はメールアドレスと設定したパスワードで会員ログインすることができます。

さあ、JIMGAウェブサイトをご活用ください！

